

目 次

ロータリーの目的・四つのテスト	
1. 国際ロータリー会長プロフィール	1
2. 2025年 国際協議会 会長エレクトメッセージ講演(要旨)	2
3. 2025年 国際協議会 会長エレクトメッセージ講演(対訳)	4
4. ロータリーのビジョン声明	9
5. ロータリーの中核的価値観	10
6. ロータリー行動計画	11
7. 2025年国際協議会報告	12
8. ガバナープロフィール	19
9. ガバナーから国際ロータリー第2840地区会員の皆様へ	20
10. 2025-2026年度会長メッセージのスピーチ(要約)	22
11. 第4期地区戦略計画(2023-2026年)	24
12. 地区運営方針	25
13. クラブ優秀賞並びにガバナー賞へのエントリーのお願い	27
14. 地区組織図	30
15. 地区委員会委員名簿	32
16. 一般会計収支予算書(案)	34
17. その他委員会活動費の内訳書(案)	36
18. 地区役員名簿	37
19. ガバナースタッフ名簿	41
20. クラブ会長・幹事名簿	42
21. 地区組織編成と活動指針	46
22. 委員会事業計画	55
ガバナー指名委員会	56
地区運営連絡会議	57
地区財務委員会	58
ガバナー事務所管理運営委員会	61
地区ラーニング・管理運営委員会	63
RLI推進委員会	64
地区戦略計画委員会	65
地区行動計画推進委員会	66
審議会立法案検討委員会	68
危機管理委員会	69
ロータリーの友地区委員会	70
ロータリー財団監査委員会	71
ロータリー財団委員会	71
ポリオプラス・資金推進委員会	76

資金管理・平和フェロシップ委員会	79
地区補助金委員会	80
グローバル補助金委員会	84
会員組織強化委員会	87
DEI推進委員会	88
公共イメージ・ICT推進委員会	89
国際大会推進委員会	91
職業奉仕・国際奉仕・地域社会奉仕委員会	93
青少年交換委員会	94
インターアクト委員会	97
RYLA・学友委員会	100
ローターアクト委員会	102
米山記念奨学委員会	104
23. 地区主要行事予定表	107
24. ガバナー公式訪問要領	110
25. ガバナー公式訪問日程表	111
26. IA・RA・RYLA輪番表	113
27. ロータリーとポリオ根絶活動	114
28. 歴代国際ロータリー会長・テーマ一覧	117
29. 歴代ガバナー・ガバナー補佐ほか一覧	118
30. ガバナー事務所管理運営規定及びマニュアル・業務分担表B	122
31. クラブ現況報告書記載順序(例)	125
32. クラブ現況指標	126
33. 世界のロータリー・2023-2024年度RI財務報告	128
34. 多様性・公平さ・インクルージョンへのロータリーのコミットメント	130
35. ロータリー関係事務所一覧	131
36. クラブ事務局一覧	132
37. クラブ例会一覧	133
38. ガバナー事務所案内図	134

マリオ・セザール・マルティンス ・デ・カマルゴ

2025-26 年度会長

Santo André ロータリークラブ
ブラジル、サンパウロ

印刷業界のビジネス・コンサルタントであり、父親が設立した印刷会社 Gráfica Bandeirantes の元取締役。彼のリーダーシップのもと、同社はブラジルや南米のクライアントに印刷物を提供するサプライヤーに成長。

軍学校に通い、ロータリー青少年交換プログラムで米国ミネソタ州セントポールの高校を卒業。ドイツのオフエンバッハにある印刷機メーカー、MAN Roland で1年間のインターンシップを経験した後、Fundación Getulio Vargas' São Paulo School of Business Administration より学士号を取得。また、サン・ベルナルド・ド・カンポ法科大学より法学士号を取得。



ブラジルのグラフィック技術協会やブラジル印刷産業協会（ABIGRAF）の会長など、数多くの専門家団体を率いた経験を有する。また、全国産業連盟のサンパウロ州産業連盟（FIESP）代表理事、FIESP 副会長、ラテンアメリカ印刷産業連盟副会長も歴任。フロリダ印刷協会から「Printing Leader of the Americas」賞、NPES（印刷・出版・加工技術サプライヤー協会）から「Global Presidential Print Award」を受賞。

1980 年、23 歳でロータリーに入会。理事と管理委員を歴任し、ブラジルで 4 番目の RI 会長として就任。RI ラーニングファシリテーター、Avoidable Blindness（回避可能な失明）タスクフォースのゾーンコーディネーター、健康問題のタスクフォース中南米コーディネーター、RI 会長代理、規定審議会代表議員など数多くの役割を歴任。また、RI 会員増強委員会、ロータリー財団プログラム財務委員会、国際ポリオプラス委員会にも貢献。

ロータリーの世界的な活動に感銘を受けており、「超我の奉仕によって、ロータリーは、私が知る限り、他に類を見ない独自の世界的アイデンティティを築き上げた。私たちは皆、世界を広げてくれる団体に所属していることを忘れてはならない」と話す。

2020 年のコロナ禍の初期に、二つの目標に着手（一つはロースクール卒業 38 年後の司法試験合格のための勉強、もう一つはイタリア語の勉強）。歴史や伝記の本を読むことと、おいしいワインを味わうことも趣味とする。ロータリー財団特別功労賞受賞者。

ロータリー財団特別功労賞を受賞。デニース夫人と共に、メジャードナー、ロータリー財団ベネファクター。

2025年 国際協議会 会長エレクトメッセージ要旨

(出典：My Rotary)



RI 次期会長がロータリー会員の力について語る 文：Etelka Lehoczky

国際ロータリーのマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ会長エレクトは、2月10日、米国フロリダ州オーランドで開かれたロータリー国際協議会で、「地球上で最も有能なボランティアのチーム」を拡大する計画の概要を示し、成長、奉仕、つながりを大切にして「よいことのために手をとりあおう」と会員に呼びかけました。

「ロータリーの最大の財産は、その歴史でも、プロジェクトでも、比類のない世界的広がりでもありません。それは会員です」。こう述べたデ・カマルゴ氏は、ロータリーのパートナー団体がロータリー会員の「並外れた献身」を称賛したことに触れ、次のように続けました。「外部団体からそう認められたことで、ロータリーが世界に与えることのできる最大の贈り物は、その会員であるという私の理解が深まりました」

サンパウロ（ブラジル）のサントアンドレ・ロータリークラブに所属するデ・カマルゴ氏は、新たな視点を模索し、世界の地域社会でのロータリーの奉仕を強化することの重要性を強調しました。その上で、成長のための「不可欠な3つの柱」として、革新、継続性、パートナーシップを挙げました。

革新しながらも一貫した伝統を築く

世界がいかに急速に変化しているかを指摘したデ・カマルゴ氏は、革新を呼びかけました。

「テクノロジー、社会の期待、経済状況は常に変化しており、ロータリーもそれに合わせて進化しなければなりません。……革新こそが、変化するこの世界に私たちが適応する手段なのです」

これを実現する重要な方法の一つは、さまざまなクラブモデルを採用し、推進することだと、デ・カマルゴ氏は言います。衛星クラブ、分野特化別クラブ、法人クラブ、パスポートクラブなど、さまざまな方法でロータリーを体験することができます。自身の妻が 50 人近くの会員を擁する衛星クラブの設立に助力したことに触れ、「将来のロータリー会員はどこにでもいます。私たちは、そこに赴いて彼らを見つける必要があります」と語りました。

また、リーダーシップの継続性の重要性を強調しました。過去 18 カ月間に多くの場所を視察してその必要性を目の当たりにしたデ・カマルゴ氏は、ガバナーが前任者の取り組みを土台とし、プログラムや戦略を中断することなく継続させることが地区の発展につながると話しました。

ナイジェリアでの井戸建設、大洪水の被災者を支援するパキスタンでの取り組み、子どもたちの命を救う医療を提供するインドでのロータリー補助金プログラムを挙げたデ・カマルゴ氏は、次のように述べました。「継続性とは、画一性ではなく、連携です。地区リーダー同士の連携し、自分の“ガバナー一年度”を越えてロータリーを思い描けば、長期的な成功の土台が築かれます」

パートナーシップの力

デ・カマルゴ氏は、ロータリー会員は単独でも大きな成果をあげられるが、仲間と協力すれば世界を変えることさえ可能だと述べました。その上で、ポリオ根絶に向けたロータリーの歴史的な取り組みは、ゲイツ財団、世界保健機関、UNICEF（国連児童基金）などのパートナーと連携して行われてきたことを指摘。これらのパートナー団体がなかったら、ロータリーが同様のインパクトをもたらすことはできなかつただろう、と述べました。さらに、入会への関心を高め、クラブを活性化させるために、さまざまな形でのパートナーシップを模索するよう提案しました。

事業者団体、専門職団体、学術機関などと協力することで、ロータリーは職業や考え方の多様性を取り入れながら新会員を増やすことができる、とデ・カマルゴ氏。「奉仕と参画というロータリーの価値観を共有する職業人に働きかけることで、世界でよいことをするロータリーの力を拡大できます」

ロータリーのすべての功績と成長は、究極的に会員にかかっている、と述べたデ・カマルゴ氏は、会員の入会促進と維持に力を入れることで、今後も長年にわたって地域社会に変化を生み出すロータリーの強さと力が高まると語りました。

「分断されがちな世界において、ロータリーは団結と希望の光となります。私たちのプロジェクトは、人種、ジェンダー、性別、思想、経済的背景の異なる人びとを結びつけ、世界でよいことをするという共通の目的で私たちを一つにします。……よいことのために手を取りあえるロータリーを築き、すべての人にとってより明るい未来を実現させましょう」

2025-26 PRESIDENTIAL MESSAGE ADDRESS

2025-26年度 会長メッセージのスピーチ

Mário César Martins de Camargo Rotary International President-elect

10 February 2025

Good morning, bom dia, buenos días, bonjour, buongiorno, Guten Morgen, o-HAI-yo go-zai-mas, JO-un ah-CHIM im-ni-da, esteemed governors and leaders of Rotary.

Last year, we gathered here to address the governors-elect of 2024-25. At that time, I spoke as the president-nominee of Rotary International, highlighting membership growth as our organization's top priority, most valuable asset, and greatest challenge.

昨年はこちらに、2024-25年度ガバナーにお集まりいただきました。その際、私は国際ロータリーの会長ノミネーとして、会員増強を私たちの組織の最優先事項であり、最も価値ある資産であり、最大の課題であると強調しました。

Today, as I stand before you as president-elect, I am more convinced than ever that our collective focus on membership is essential to securing Rotary's future.

そして今日、会長エレクトとして皆さんの前に立っている今、ロータリーの未来を確かなものにするには、組織全体で会員増強に力を注ぐことが不可欠であると、これまで以上に確信しています。

Rotary's greatest asset is not our history, our projects, or even our unmatched global reach. It is our members — the best-qualified team of volunteers on the planet. I learned this lesson early on, during the Atlanta convention, when a representative from one of our polio partners praised the extraordinary dedication of our members. That recognition from an outsider deepened my understanding: Rotary's greatest gift to the world is its people.

ロータリーの最大の財産は、その歴史でも、プロジェクトでも、比類のない世界的広がりでもありません。それは会員です。会員は、地球上で最も有能なボランティアのチームです。私は、アトランタ国際大会で、ポリオ根絶のパートナー団体を代表する人物が、ロータリー会員の並外れた献身を称賛したのを聞いて、このことを学びました。外部団体からそう認められたことで、ロータリーが世界に与えることのできる最大の贈り物は、その会員であるという私の理解が深まりました。

Today, I want to share our road map to membership growth and revitalization, guided by three essential pillars: innovation, continuity, and partnership. These principles are not just strategies. They are a call to action to rejuvenate Rotary, to attract new voices and perspectives, and to strengthen our service to communities worldwide.

本日は、会員増強と活性化に向けたロードマップについてお話ししたいと思います。このロードマップは、革新、継続性、パートナーシップという、不可欠な三つの柱に基づいています。これらの原則は単なる戦略ではありません。ロータリーを活性化し、新たな声や考え方を取り入れ、世界中の地域社会への奉仕を強化するための行動の呼びかけです。

The world is changing, often at a dramatic pace. Technology, social expectations, and economic conditions evolve constantly, and Rotary must evolve with them. As Giuseppe Tomasi di Lampedusa wrote in “Il gattopardo” [“The Leopard”], “For everything to stay the same, everything must change.”

世界は、劇的なペースで変化しています。テクノロジー、社会の期待、経済状況は常に変化しており、ロータリーもそれに合わせて進化しなければなりません。トマーシ・ディ・ランペドゥーサが『山猫』で書いたように、「すべてを同じままに保つには、すべてを変えなければならない」のです。

Innovation is how we adapt to this changing world. It’s not just about welcoming younger members but also engaging senior individuals seeking purpose and connection.

革新こそが、変化するこの世界に私たちが適応する手段なのです。若い会員を迎え入れるだけでなく、目的やつながりを求める年配の方々にも参加していただく必要があります。

At 68 years old, I know firsthand how fulfilling it is to find a community of peers.

68歳の私は、仲間たちのコミュニティを見つけることがどれほど充実したものであるかを、身をもって知っています。

Consider the example of my home club, Santo André, a thriving legacy club with 150 members. My wife, Denise, helped charter a satellite club, creating a space for almost 50 remarkable women to lead in their own way.

私の所属クラブであるサント・アンドレ・ロータリークラブは、150人の会員を擁する活気と伝統のあるクラブです。妻のデニースは、衛星クラブの結成に助力し、50人近い素晴らしい女性たちが自分らしくリーダーシップを発揮できる場を創り出しました。

Satellite clubs, cause-based clubs, enterprise clubs, and passport clubs are examples of the flexibility we need to attract a diverse audience. While these models may not work everywhere, they offer us the opportunity to reach future Rotarians outside our traditional frameworks. Future Rotary members are out there. We must meet them where they are.

衛星クラブ、分野特化型クラブ、法人クラブ、パスポートクラブなどは、多様な人びとを惹きつけるために必要な柔軟性の例です。これらのモデルがどこでも通用するわけではありませんが、従来の枠組みにとらわれずに未来のロータリアンに働きかける機会をもたらしめます。将来のロータリー会員は必ずどこかにいます。私たちは、そこに赴いて彼らを見つける必要があります。

During my travels — more than six laps around the globe in the past 18 months — I’ve observed that the healthiest districts share one critical feature: consistent, united leadership. Districts thrive when governors build on their predecessors’ efforts, ensuring programs and strategies continue seamlessly year after year. Conflict at the top, by contrast, is a time bomb that often results in declining membership.

この18カ月間で地球を6周以上した旅の中で、最も健全な地区には、一貫し、団結したリーダーシップという重要な特徴があることに気づきました。ガバナーが前任者の努力を基盤とし、プログラムや戦略が毎年途切れることなく継続されるようにすることで、地区は発展します。一方、トップにおける不和は、時限爆弾のようなものであり、これが会員数の減少という結果を引き起こすことがあります。

Let me share some inspiring moments from this journey. In Nigeria's District 9141, I saw the incredible impact of building wells and commissioning school chairs in underserved areas. In Pakistan, I visited Smart Villages, where Rotary helped populations affected by the devastating 2022 floods move from survival to a better future.

この旅から得た感動的な瞬間をいくつかご紹介しましょう。ナイジェリアの第 9141 地区では、サービスの行き届いていない地域に井戸を建設したり、学校に椅子を寄贈したりすることの素晴らしいインパクトを目の当たりにしました。パキスタンでは、2022 年の壊滅的な洪水の被災者が、ただ生き延びるだけの生活からより良い未来へと移行できるよう、ロータリーが支援しているスマートビレッジを訪れました。

In Mumbai, India, I met children receiving lifesaving care through a Rotary grant for congenital heart disease, and in another region, I witnessed ambulances lined up outside a palliative care hospital, each bearing The Rotary Foundation logo, supporting breast cancer detection, dental care, and eye exams.

インドのムンバイでは、ロータリーの補助金で先天性心臓病の治療を受けている子どもたちに会いました。また、別の地域では、緩和ケア病院の外に、がん検診、歯科治療、眼科検診を支援するロータリー財団のロゴが入った救急車が並んでいるのを目にしました。

In Lampung, Indonesia, Denise and I had the privilege to witness a microeconomic transformation for 700 families, to multiply farmers' family incomes on rice paddies.

インドネシアのランプンで、デニスと私は、700 世帯の経済が小規模ながら変化し、米を生産する農家の収入が増えるのを目にする機会に恵まれました。

Continuity is not about uniformity; it's about alignment. When district leaders work together, envisioning Rotary beyond their governor year, they set the stage for long-term success. Rotary already faces the unique challenge of annual leadership transitions. Let's not make it harder by fragmenting our efforts. Instead, let's build a legacy of collaboration that future leaders can build upon.

継続性とは、画一性ではなく、連携です。地区リーダー同士が連携し、自分の“ガバナー年度”を越えてロータリーを思い描けば、長期的な成功の土台が築かれます。ロータリーはすでに、毎年リーダーが交代するという独特な課題に直面しています。これ以上、私たちの努力を分散させて、状況をさらに難しくしてはなりません。むしろ、未来のリーダーがさらに発展させていけるような協力の遺産を築いていきましょう。

Rotary's history with polio eradication teaches us an invaluable lesson: Alone, we can achieve great things, but together, we can change the world. Partnerships with organizations like the Gates Foundation, WHO, and UNICEF have been instrumental in our US\$23 billion investment over 40 years to eliminate polio. We would never have made this much progress alone.

ロータリーがポリオ根絶活動で培ってきた歴史は、私たちに貴重な教訓を与えてくれます。単独でも大きな成果を上げることができますが、力を合わせれば、世界を変えることができます。ゲイツ財団、WHO、UNICEF といった団体とのパートナーシップは、230 億ドルを投じて 40 年以上取り組んできたポリオ根絶活動において極めて重要な役割を果たしました。ロータリーが単独でこれほどまでに大きな進展を遂げることはできなかったでしょう。

So why not apply this lesson to membership growth? Partnering with business associations, professional organizations, and academic institutions can help us attract quality members while embracing diversity in professions and perspectives. Such partnerships eliminate the false dilemma of quantity versus quality. By reaching out to professionals who share our values of service and engagement, we can expand Rotary's capacity to do good in the world.

それならば、会員増強にもこの教訓を活かすべきではないでしょうか。ビジネス団体、専門職団体、教育機関などと協力することで、ロータリーは職業や考え方の多様性を取り入れながら、質の高い会員を引き付けることができます。このようなパートナーシップは、「量か質か」という誤った二者択一を排除します。奉仕と参画というロータリーの価値観を共有する職業人に働きかけることで、世界でよいことをするロータリーの力を拡大できます。

Ultimately, all our achievements, projects, and partnerships depend on our members. Membership growth is not just about numbers. It's about renewing our collective strength and ensuring our mission endures.

最終的には、私たちのすべての成果、プロジェクト、パートナーシップは会員にかかっています。会員増強とは単に数字を増やすことではなく、集合体としての私たちの力をさらに高め、ロータリーの使命を継承していくことです。

First, we must acknowledge that no one lives forever. The only hedge against aging clubs is the constant admission of new members.

まず、誰も永遠には生きられないと認識しなければなりません。クラブの高齢化に対する唯一の策は、絶えず新会員を迎え入れることです。

Second, our capacity for service grows with our membership. More members mean more hands to help and more resources to invest in our communities.

第二に、会員数が増えれば奉仕の力も広がります。会員が増えるということは、奉仕に参加する人が増え、地域社会にさらに多くのリソースを投入できることを意味します。

Third, succession planning is critical. Clubs either grow or dwindle. There is no such thing as stable membership.

第三に、後継者育成計画が重要です。クラブは成長するか、衰退するかのいずれかであり、安定した会員基盤というものはありません。

We must make recruitment and retention a core value, passing it from one generation of Rotary members to the next. By doing so, we ensure that Rotary remains vibrant and impactful for decades to come.

私たちは、会員の勧誘と維持を、ロータリー会員の世代から世代へと受け継がれる中核的価値観としなければなりません。そうすることで、ロータリーが今後数十年にわたって活気とインパクトを維持できるのです。

Rotary members are people of action. We don't wait for change to happen; we make it happen.

ロータリー会員は行動人です。私たちは変化が起こるのを待つのではなく、自ら変化を起こします。

And what do people of action do? We unite for good.

行動人とは、何をするのでしょうか。私たちは、よいことのために手を取りあいます。

And that is our presidential message for 2025-26: Unite for Good!

これが、2025-26年度の会長メッセージです：「よいことのために手を取りあおう」

In a world often divided, Rotary stands as a beacon of unity and hope. Our projects bring together people of all races, religions, genders, ideologies, and economic backgrounds, uniting us in a shared purpose: to do good in the world. Rotary inspires us to be better people, to serve others, and to create a lasting impact.

分断されがちな世界において、ロータリーは団結と希望の光となります。私たちのプロジェクトは、人種、ジェンダー、性別、思想、経済的背景の異なる人びとを結びつけ、世界でよいことをするという共通の目的で私たちを一つにします。ロータリーは、より良い人間となり、人びとに奉仕し、末長いインパクトをもたらすよう、私たちを鼓舞します。

As you leave this room today, I urge you to focus on learning the best strategies for growing Rotary in your districts. Rotary has invested a great amount of time and money in this assembly, not for speeches and fanfare, but to equip you with the tools to lead effectively. Our return on this investment will be measured not in dollars but in the new members we welcome, the innovative clubs we create, and the lives we change through service.

本日この会場を後にする際には、地区でロータリーを成長させるための最善の戦略を学ぶことに焦点を当ててください。ロータリーは、この協議会に多大な時間と資金を投じてきましたが、それはスピーチや派手な演出のためではなく、皆さんが効果的にリーダーシップを発揮するための手段を身につけていただくためです。この投資から得られる見返りは、金銭で測られるものではなく、新会員の入会数、革新的なクラブの創設、奉仕を通じて人々の人生に変化をもたらすことによって測られるでしょう。

And as you carry out this mission, don't forget one of Rotary's greatest joys: making friends around the world and having fun.

そして、この使命を遂行するにあたり、ロータリーの最大の喜びの一つ、すなわち、世界中に友人をつくり、楽しむことを忘れないでください。

Together, let's embrace this journey of growth, service, and connection. Let's build a Rotary that unites for good and ensures a brighter future for all.

成長、奉仕、つながりの旅路を共に歩いていきましょう。よいことのために手を取りあえるロータリーを築き、すべての人にとってより明るい未来を実現させましょう。

Thank you.



ロータリーのビジョン声明

私たちは世界で、地域社会で そして自分自身の中で 持続可能な良い変化を生むために 人びとが手を取り合って 行動する世界を目指しています

ポリオ根絶まであと一步のところまできたロータリーは、次なる課題に取り組む心構えができています。より多くの仲間を迎え入れ、より大きなインパクトをもたらし、世界に変化を生み出すための新たなビジョンの実現に向けて、行動を起こす時が来ています。

国際ロータリーとロータリー財団のビジョンを達成するため、今後5年間の活動を方向づける4つの優先事項が定められました。

ロータリーの戦略的優先事項と目的

より大きなインパクトをもたらす

- ポリオを根絶し、残された資産を活用する
- ロータリーのプログラムおよびロータリーが提供する体験に焦点を当てる
- 活動成果を挙げ、それを測る能力を高める

参加者の基盤を広げる

- 会員基盤と参加者の基盤を広げ、多様化する
- ロータリーへの新しい経路を創り出す
- ロータリーの開放性とアピール力を高める
- インパクトとブランドに対する認知を築く

参加者の積極的なかかわりを促す

- クラブが会員の積極的参加を促せるよう支援する
- 価値を提供するため、参加者中心のアプローチを開発する
- 個人的／職業的なつながりを築くための新たな機会を提供する
- リーダーシップ育成およびスキル研修の機会を提供する

適応力を高める

- 研究と革新、および進んでリスクを負うことへの意思を奨励する文化を築く
- ガバナンス、構造、プロセスを合理化する
- 意思決定における多様な考え方を育むために、ガバナンスを見直す

ロータリーの中核的価値観

今日の世界は、1905年の世界と同じではありません。人口動態が変わり、変化のスピードが加速し、テクノロジーによってつながりや奉仕の新たな機会が生まれています。不変なのは、ロータリーを定義づける下記の価値観に対するニーズです。

親睦
高潔性
多様性
奉仕
リーダーシップ

過去を敬い、未来を見据えながら、私たちは進化を遂げ、ロータリーを時代に即した組織とするだけでなく、繁栄させることができます。



rotary.org/actionplan

ロータリー行動計画



私たちは世界で、地域社会で
そして自分自身の中で
持続可能な良い**変化を生むために**
人びとが**手を取り合って**
行動する世界を目指しています

より意義あるつながりを育み、奉仕を通じてより持続可能な変化をもたらすためにロータリーを導くのが、私たちの戦略計画である「ロータリー行動計画」です。この行動計画の四つの優先事項を指針とすることで、より健全なクラブをつくり、すべての人が積極的に参加できる体験を提供し、行動を通じて持続的な変化を生むために人びとを結びつけるという国際ロータリーとロータリー財団のビジョンを実行することとなります。

より大きな
インパクト
をもたらす

- ポリオを根絶し、残された遺産を活用する
- ロータリーのプログラムおよびロータリーが提供する体験に焦点を当てる
- 活動成果を挙げ、それを測る能力を高める

参加者の
基盤を
広げる

- 会員基盤と参加者の基盤を広げ、多様化する
- 参加者がロータリーを体験する新しい方法を創り出す
- クラブの柔軟性とアピール力を高める
- インパクトとブランドに対する理解を築く

参加者の積極的な
かかわりを
促す

- クラブが会員の積極的参加を促せるよう支援する
- 個々の参加者をよりよく理解し、サポートする
- 個人的／職業的なつながりを築く新たな機会を提供する
- リーダーシップ育成とスキル開発のための学びの機会を提供する

適応力を
高める

- 研究と革新、およびリスクをいとわない文化を築く
- ガバナンス、構造、プロセスを合理化する
- 意思決定におけるより多様な考え方を育む

2025年 国際協議会 報告

国際ロータリー第 2840 地区

2025-2026 年度 ガバナー 竹中 隆

国際協議会とは、

目 的： 毎年国際協議会を開催するものとする。その目的は、ガバナーエレクトに、ロータリー教育を行い、運営上の任務を指導し、鼓舞激励し、さらに、出席しているエレクトや他の人に、次年度のロータリープログラムや活動の実施方法を討議・計画する機会を与えることである。

出席義務： ガバナーエレクトは国際協議会に出席することが義務とされる。各ガバナーが、その地区における RI の役員として効果的に行動し、かつ RI 役員としてガバナーに期待されているクラブの指導、指揮、および助言を行うためには、この基本的経験と研修が不可欠である。

各ガバナーは、ガバナー候補者全員および地区内の全クラブに対し、次のことを強調すべきである。ガバナーエレクトはガバナーとして必要な準備をするためガバナーエレクトラーニングセミナーと国際協議会に出席しなければならない。また、候補者が両会合にその全期間出席でき、かつ実際出席するのでなければ指名は承認されない。RI 会長エレクトは、理事会に代わり、やむを得ない事情を考慮した上で出席を免除することができる。この場合、ガバナーエレクトは事務総長が提供する代替研修に出席することが条件とされる。

日 程： 2025年2月10日（月）から2月13日（木）

開催場所：アメリカ合衆国フロリダ州オーランド ローゼン・シングル・クリーク



プログラム：

2月9日（日）

18：00-19：30 歓迎レセプション

2月10日（月）

9：00-10：00 開会本会議：世界へのチケット

世界の仲間と共にこれから出発する国際協議会の旅は、デ・カマルゴ会長エレクトの会長メッセージについて知り、次年度への期待を膨らませる時となります。また、ロータリーの隅々まで学び、私たちの旅の針路を定める機会でもあります。



10：45-12：00 分科会：行動計画を前進させる

1. 2025-26年度の会長メッセージを活用し、会員の意欲を引き出す
2. クラブがロータリーでの体験に対する会員の満足度を高めるための枠組みとして行動計画を活用できるよう支援する
3. ロータリーでの体験の一環としてリーダーシップ育成の利点を明確に説明する

12：15-14：00 会長エレクトとの写真撮影／昼食会

14：15-15：15 第2回本会議：新たな地平線を発見しよう

ロータリーの旅路において、ロータリーがどんな団体で、どんな活動をしているのかを、どのように人びとに示すことができるでしょうか。このセッションでは、新クラブの設立、ロータリーの価値の共有、公共イメージ強化のためのストーリーテリングの重要性について学びます。

15：45-17：15 分科会：ロータリーの価値を共有する

1. 地区内で新クラブ結成の機会を見つける
2. ロータリーの活動を一般の人びとに広く知ってもらうことが、なぜ参加者の基盤拡大につながるのかを説明する（公共イメージ）

3. ロータリーの価値をさまざまな人に伝えるためのメッセージを作成する

18:00-21:30 **ビュッフェ形式の夕食とネットワーキング行事**

2月11日(火)

9:00-10:00 **第3回本会議：ロータリーでの旅路をより充実させる**

有意義な形でかかわってもらうことが、参加者に最高の体験をしてもらう一番の方法です。このセッションでは、ロータリー内外の専門家から、ずっとロータリーとかかわり続けてもらうために参加を促進する方法を学びます。

10:30-12:00 **分科会：クラブでの体験**

1. 会員満足度につながる第一の要素である、クラブでの体験の重要性を説明する(退会防止)
2. 会員の入会と積極的参加を促すため、クラブが自分たちの文化を評価し、調整できるよう支援する
3. 若い世代の人びとの参加を促す方法を見つける

14:15-15:15 **第4回本会議：リーダーシップを新たな高みへ**

ロータリアンとローターアクターは、冒険を続けるだけでなく、道を切り開きます。このセッションでは、リーダーとして飛躍する方法や、リーダーとなることで得られる恩恵について考えます。リーダーシップの機会は、ロータリーからあなたへの贈り物、そして次年度にあなたがロータリーに与える贈り物でもあります。

15:45-17:15 **ワークショップ：インクルージョンのためのワークショップ**



インクルージョンのためのコーチング

このセッションはワークショップ形式で行います。まず、あなたが協議会で使用している言語のラベルが付いたテーブルを選びます。ワークショップでは、各テーブルで個人または少人数グループで以下のアクティビティに取り組みます。このセッションでは、記載された時間を目安に次のアクティビティへと進んでください。

1. リーダーとしての自身を理解し、計画や意思決定にほかの人にどのように参加してもらうかを理解する
2. クラブでの体験のどの要素がインクルーシブで親しみやすい文化を生み出すかを特定する

18:30-21:30 **ブラジル晚餐舞踏会**

2月12日(水)

9:00-10:00 **第5回本会議：ロータリーのインパクトを知る**

成果あふれる奉仕プロジェクトを組み立てることは、理想的な目的地に至るための地図を描くようなものです。このセッションでは、パートナー探し、インパクトと持続可能性を高めるための計画、ロータリーのレガシー構築など、途上で実行すべき重要な事柄について取り上げます。

10:30-12:00 **分科会：奉仕のインパクト**

1. プロジェクトのインパクトを測定することが不可欠である理由を説明する
2. 結果、成果、インパクトに焦点を当てた持続可能なプロジェクトを立案するための手順を会員が決定できるよう援助する
3. 奉仕活動の成果とインパクトに焦点を当てたストーリーテリングの機会を見つける

チームの構築とパートナーの育成

奉仕プロジェクトは、ロータリー内部のグループである「地区リソースネットワーク」のメンバーやパートナークラブと地区、ならびにロータリー外部のグループである地域団体や政府機関、さらにロータリーの奉仕のパートナーであるアショカ、ハビタット・フォー・ヒューマニティ、平和部隊、シェルターボックスなどとの協力を通じて強化できます。

地区リソースネットワーク（地区国際奉仕委員長が率いる、技術的知識やプロジェクト計画スキルを持つメンターのグループ）は、プロジェクトを強化するためにプロジェクト計画者とロータリー内外の専門家をつなぎます。地区リソースネットワークは、ロータリー行動グループやロータリー財団専門家グループ（Cadre）のメンバーとロータリー学友などで構成されます。

最終的な状況を思い描いて始める

持続可能性とは、プロジェクトの実施期間終了後も成果が現地で長期的に維持され、地域社会の継続的なニーズに応じていけることを指します。より大きなインパクトをもたらすためのカギは、持続可能なプロジェクトを立案することです。トイレトンのチームは、プロジェクトの教育、モニタリング、評価システムを確立しました。

インパクトについてのストーリーを語る

私たちは、世界中の人びとにロータリーのインパクトを知ってもらいたいと考えています。

あなたの役職に与えられた機会を生かし、ロータリーのインパクトについて人びとに伝えることにより、新しい参加者、パートナー団体、寄付者の関心を引き

付けることができます。あなたがトイレトンのプロジェクトのリーダーになったと想像してください。あなたはプロジェクトを完了し、すべての目標を達成しました。次に行うべきことは、プロジェクトの成功について人びとにストーリーを伝えることです。

14 : 15-15 : 15 **第 6 回本会議：グローバルに活動し、地元地域を活性化する**

ロータリーの奉仕活動を飛行機にたとえるなら、ロータリー財団はそのエンジンです。財団のプログラムを通じて、クラブと地区がより大きく、よりよい目的地に到達することが可能となります。このセッションでは、ロータリー補助金、2025-26 年度の目標、ファンドレイジングの重要性、ポリオ根絶の取り組みについて詳しく学びます。

15 : 45-17 : 15 **分科会：世界でよいことをしよう**

1. ポリオ根絶活動の支援継続に対する意欲をクラブから引き出す
2. ロータリー補助金を活用して、地区やクラブが奉仕活動を拡大できるように支援する
3. 財団のファンドレイジング（寄付推進）の取り組みを支援するための機会やリソースを特定する



成功に向けた計画を立てる：DDF

ロータリー財団は、地域社会に好ましい変化を起こすプロジェクトやプログラムに資金を提供するために、地区が地区財団活動資金（DDF）を利用できるようにしています。2020-21 年度以前から繰り越された DDF に加え、ガバナー年度に利用可能な新しい DDF を全額使用する計画を立てましょう。DDF は、2026 年 6 月 30 日まで、地区の裁量で、ポリオプラス、ロータリー平和センター、恒久基金、災害救援基金、国際財団活動資金（WF）のいずれかに再配分することができます。2026 年 7 月 1 日より、5 年を超えて未使用である DDF は国際財団活動資金（WF）に充てられます。

17:30-19:00 文化ショーケース



19:00-21:00 世界の食レセプション&ディナー

2月13日(木)

9:10-10:00 第7回本会議：困難な道乗り越える

どんな旅でも変化はつきものであり、そこで欠かせないのがレジリエンス（立ち直る力）です。素晴らしい講演者が、革新性の文化の重要性および変化への抵抗を乗り越える方法を説明し、ロータリー内の対立を解消するための方法を紹介します。

・カルガリー国際大会の紹介

10:30-12:00 分科会：CDSからの地域支援

14：15-15：30 分科会：次年度に向けて

16：00-17：15 分科会：ロータリーシニアリーダーとの地域セッション

18：30-21：00 閉会セッション&晩餐会：旅立ちのとき

ロータリー最大の冒険に出発する 때가 来ました。ロータリーリーダーから最後の言葉を聞き、協議会で私たちが達成したことを祝いましょう。

・台北国際大会の紹介

協議会コホートプログラム

国際協議会で初の試みとして、すべての地区ガバナーエレクトとローターアクターが国際的なコホート（5～6人のガバナーエレクトまたはローターアクターのグループ）に振り分けられます。このコホートの仲間とともに、学んでいることを話し合い、次年度の計画を立てていただきます。1日1回はコホートで集まるようにしましょう。朝食や昼食のとき、あるいは夕方やコーヒー休憩のときなど、どのようなタイミングでもかまいません。パートナーとともに国際協議会に参加している場合は、ぜひ一緒にグループにご参加ください。

国際ロータリー第2840地区

2025-2026年度 ガバナー プロフィール

竹中 隆

(高崎北ロータリークラブ)

生年月日 1961年12月24日
住 所 群馬県高崎市
職 業 株式会社 竹中組 代表取締役社長
学 歴 早稲田大学 政治経済学部 卒業
公 職 2014年～ 群馬経済同友会 幹事
2019年～ 一般社団法人 高崎法人会 監事
2021年～ 一般社団法人 群馬県経営者協会 常任評議員
2023年～ 一般社団法人 群馬ニュービジネス協議会 副会長



ロータリー歴

【クラブ】 1996年7月 高崎北ロータリークラブ 入会
2012-2013年度 高崎北ロータリークラブ 幹事
2017-2018年度 高崎北ロータリークラブ 会長
【地 区】 2004-2005年度 社会奉仕・環境保全委員会 委員
2010-2011年度 IT委員会 委員
2011-2012年度 地区副幹事(安藤ガバナー年度)
2019-2020年度 国際大会推進委員会 副委員長
2020-2021年度 国際大会推進委員会 委員長
2021-2022年度 公共イメージ委員会 委員長
2022-2023年度 国際大会推進委員会 委員長
2023-2024年度 ガバナーノミネー
地区戦略計画委員会委員、地区三役員連絡会議議員
2024-2025年度 ガバナーエレクト
地区運営連絡会議副議長
地区戦略計画委員会副委員長、会員組織強化委員会副委員長

ロータリー財団 メジャードナー

ガバナーから国際ロータリー第2840地区会員の皆様へ

国際ロータリー第 2840 地区

2025-2026 年度 ガバナー 竹中 隆

組織において、その継続と発展は共通した課題だと考えます。その組織が、組織を構成するメンバー、存在する地域から必要とされ続けなければ、消滅する可能性が常にあります。

ロータリーも例外ではありません。クラブの会員にとって魅力ある活動、クラブが存在する地域にとって価値あると認められる活動を通じて、必要な存在であり続けなくてはなりません。そのためには、普遍的な価値を守り、時代の趨勢に対応する知恵を見出し、変化を受け入れなければなりません。

ロータリーが求め続けてきた普遍的な価値とは、何でしょうか。改めて、“ロータリーの目的”を確認すると、

“ロータリーの目的”は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること

とあります。

このロータリーの目的と、ロータリアン一人ひとりの心に問いかける“四つのテスト”、ロータリーの中核的価値観を土台として、ロータリーのビジョン声明、並びにその中に示された優先事項と目的の達成を希求しつつ、変化することで、必要とされる組織であり続けることを目指しましょう。

変化に対しては、何をどのように、何を目標に、変えていくかの視点が必要です。必要と思われる変化を見つけ出し、それに向けて計画的に推進するための行動計画に基づいた戦略、指標作りが重要だと考えます。

2025-2026 年度、地区内会員の皆様には、語る、語り合うことを意識してロータリー活動をしていただきたいと考え、地区スローガンを「**ロータリーを語ろう**」とさせていただきます。

会員の皆様に、誰と、何を語っていただきたいかは、

- ・ロータリアン同士では、ロータリーの守ってきたものとは？どう変わっていくのか？
- ・クラブでは、何を大切にするのか？これからクラブをどうしていくのか？
- ・外に向かっては、ロータリーの理念、奉仕活動

です。

その目的は

- ・ロータリアン同士、クラブでは、共通の価値観の醸成、将来に向けた方針の共有、確認
- ・外に向かっては、公共イメージの向上、地域における良い評判の形成

でしょうか。

ガバナーの役割と何でしょう。

ロータリー章典（19.010. ガバナーの具体的な任務と責務）によると

- ・ RI 理事会の定めた規定を順守する。
- ・ ロータリアンの利益と RI の目的のために奉仕する。

とあります。

加えて、私は「地区内のクラブ、会員を“鼓舞する”」ことにあると考えます。

地区内クラブの活動の充実、地区内会員のクラブライフ、ロータリーライフの充実のために、クラブ奉仕があるように、私は、ロータリアンへの奉仕を献身的に行います。ロータリーの価値の向上、会員のクラブ、ロータリーへの帰属意識の強化、会員自身の中でのロータリーの優先順位、プライオリティーの向上のために、RI の方針を、分かりやすく、丁寧に説き続けます。

マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ 2025-26 年度会長は、2025 年国際協議会で次のメッセージを発信されました。

「Unite for good」「よいことのために手を取りあおう」

あわせて、「ロータリー会員は行動人です。私たちは変化が起こるのを待つのではなく、自ら変化を起こします。行動人とは、何をするのでしょうか。私たちは、よいことのために手を取りあいます。」と、定義されました。

マリオ会長エレクトは、メッセージの中で会員増強に注力することを強調され、いくつかのキーワードを示されました。「革新」「継続性」「パートナーシップ」です。

ロータリーも、会社や他の組織と同様に、その発展には、変革、改革が必要です。戦略的な計画を立て、実践し、検証する。その実行のプロセスを常に意識することが重要であり、それには、マネジメントも不可欠であり、マネジメントに必要なツールやメソッド、視点を取り入れなければなりません。効果的な戦略を立案するには、マーケティングも必要かもしれません。

ロータリーの組織は単年度制です。しかし、クラブの会長やガバナーが以前の活動を全て否定するような選択をすることは誤りだと思います。事業達成に向けた事業主体（クラブ）の統一された意思、決意に裏付けられた次代に引き継ぐべきものがあるはずです。それらを組織内で醸成し、蓄積する必要があると考えます。

革新と継続は表裏一体であり、正に「不易流行」であります。あわせて、継続のための変革には、新しい価値観、新しい血も必要であるため、常に組織の新陳代謝も意識しなくてはなりません。

パートナーシップが、地区の運営だけでなくクラブの運営にも重要であると考えます。ネットワークの構築と言い換えてもいいかもしれません。現在の活動をクラブや地区内の他の部門、外部の組織と連携、協力することで、より効果的な成果を得られるはずです。

ロータリーを取り巻く様々な変化を受け入れ、革新し、皆で手を取り合って、活動を通じ地域にインパクト（ロータリーの活動によってもたらされる長期的で好ましい変化）を与えようではありませんか。

2025-2026年度会長メッセージのスピーチの要約

国際ロータリー第 2840 地区

2025-2026 年度 ガバナー 竹中 隆

マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ 2025-2026 年度会長は、2025 年国際協議会でメッセージを発信されました。

「Unite for good」「よいことのために手を取りあおう」

あわせて、「ロータリー会員は行動人です。私たちは変化が起こるのを待つのではなく、自ら変化を起こします。行動人とは、何をするのでしょうか。私たちは、よいことのために手を取りあいます。」と、定義されました。

ロータリーが世界に与えることのできる最大の贈り物は、その会員であり、ロータリーの未来を確かなものにするには、組織全体で会員増強に力を注ぐことが不可欠であると、会員増強に最大の重点を置くことを表明しました。

そして、会員増強と活性化に向けた「不可欠な3つの柱」に基づくロードマップを共有したいとされ、その「不可欠な3つの柱」とは、「革新」・「継続性」・「パートナーシップ」とし、これらの principles（行動の基本となるもの）は、単なる戦略ではなく、ロータリーを活性化し、新たな声や考え方を取り入れ、世界中の地域社会への奉仕を強化するためへの「行動の呼びかけ」であると強調しました。

革新

革新こそが、若い会員を迎え、繋がりを求める人々を engage（引き入れる）手段であると述べられました。様々なクラブモデル（衛星クラブ、分野特化別クラブ、法人クラブ、パスポートクラブ）を採用し、推進することにより、将来のロータリアンに働きかける機会になる柔軟性の必要を説かれました。

継続性

ロータリーは、毎年リーダーが交代するという独特な課題に直面しており、継続性が不可欠であり、継続性とは、画一性ではなく、alignment（連携）である。長期的な成功のために、Collaboration（協力）の遺産を築くことが重要であるとされました。

パートナーシップ

ポリオ根絶活動におけるパートナーの存在、力を合わせたことによる progress（ゆっくりしているが着実な進捗）を得られ、仲間と協力すれば世界を変えることさえ可能なことを学びました。

ポリオ根絶活動から得たことを会員増強にも生かすべきであり、ビジネス団体、専門職団体、教育機関などと協力し、奉仕と参画というロータリーの価値観を共有する職業人に働きかけることで、世界でよいことをするロータリーの capacity（力）を拡大できると説かれました。

会員増強

会員増強とは単に数字を増やすことではなく、集合体としての私たちの力をさらに renewing (高め)、ロータリーの使命を継承していくことだとし、そのために

- ・クラブの高齢化に対する唯一の策は、絶えず新会員を迎え入れること
- ・後継者育成計画が重要

であり、会員数が増えれば奉仕の capacity (力) が広がるとの好循環を期待されました。そして、会員の勧誘と維持は、ロータリー会員の世代から世代へと受け継がれる中核的価値観でなければならず、それにより、ロータリーが今後数十年にわたって活気とインパクトを維持できると結論付けました。

団結と希望

ロータリーのプロジェクトは、人種、ジェンダー、性別、思想、経済的背景の異なる人びとを結びつけ、世界でよいことをするという共通の目的で私たちを一つにします。さらに、ロータリーは、私たちが、より良い人間となり、人びとに奉仕し、末長いインパクトをもたらすよう、私たちに inspire (鼓舞) するとロータリーの価値を示されました。

最後に、これらの使命を遂行するにあたり、楽しむことの必要性を説かれ、よいことのために手を取りあえるロータリーを築き、すべての人にとってより明るい未来を実現させるよう呼びかけられました。

国際ロータリー第2840地区 第4期 戦略計画(2023-2026年)

【前文】

これまで第2840地区では、第1期戦略計画「クラブを元気にしよう」(2013-2016年)、第2期戦略計画「魅力あるクラブをつくろう」(2017-2020年)、第3期戦略計画「地域社会とともに生きる元気で魅力あるクラブを実現する」(2020-2023年)に取り組み、大きな成果をあげてきました。

そして、いま私たちは、ロータリーの基本である「ロータリーのビジョン声明」(RI2019年)「(私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています)」に示された優先事項の達成を目指すとともに、地区やクラブが策定する行動計画にしたがって、ロータリーライフを楽しみながら奉仕活動をしていきたいと考えています。

ポール・ハリスは言っています(1911年)。

「ロータリアンは言葉より行動に心を惹かれます」

さあ、ともに行動しましょう。

【地区のビジョン】

「誰もが歓迎され、尊重され、大切にされるクラブ作りの推進」

いまロータリーは、変化をしつづける国際社会や地域社会のニーズに適応するための能力を備えなければなりません。そのためには、地区やクラブがDEI(Diversity多様性、Equity公平さ、Inclusionインクルージョン)を培い、持続可能な良い変化を生み、人々が手を取り合って行動する世界を実現することが大切だと考えます。

【行動計画】

1. 「より大きなインパクトをもたらす」

- ・私たちは、財団補助金などを活用してよりインパクトのある奉仕活動を行ない、ロータリーの公共イメージの向上を得て、クラブの活性化を図ります。
- ・私たちは、ロータリー財団や米山記念奨学会への寄付の必要性を理解し協力します。
- ・ロータリー財団への支援
年次基金への寄付1人 150ドル以上
ポリオプラスへの寄付1人 30ドル以上
- ・米山記念奨学会への支援 1人 16,000円以上

2. 「参加者の基盤を広げる」

- ・私たちは、地区やクラブ行事への積極的な参加、他クラブとの交流や共同作業とそれによる充実感を共有して、会員の満足度を高め会員基盤の拡大や退会防止に努めます。
- ・私たちは、DEIを実践した魅力的で楽しいクラブ作りを推進します。

3. 「参加者の積極的なかわりを促す」

- ・私たちは、高潔性の価値観にしたがい、常に高い職業倫理を掲げてロータリアンとしての品格の向上を目指します。
- ・私たちは、各界のリーダーであることを自覚して、ロータリー行事に積極的に参加し、ロータリアンとしての成長を果たします。
- ・私たちは、ロータリークラブ、ローターアクトクラブの参加者の連携を推進します。

4. 「適応力を高める」

- ・ロータリーのプログラムとロータリーが提供する体験を検証し、リアルまたはバーチャルでのつながりを大切にして、会合、学習、奉仕プロジェクトの効果を高めます。
- ・ロータリーの重点分野での成果を目指し、さまざまな奉仕プロジェクトがより良い効果を上げられるように努めます。

国際ロータリー第2840地区 2025-2026年度 地区運営方針

ガバナー、地区としては、

1. クラブの視点、会員の視点の理解、共有し、クラブや会員にとって、価値ある存在となるよう双方向の情報交換を行い、地区運営に反映いたします。
2. ローターアクトクラブを含む、新クラブの設立に取り組みます。
3. ロータリーへの信頼が高まり、ロータリーの高い価値観が評価され続けるよう、ロータリーのリブランディングを目指した計画の策定をいたします。
4. 現在、財団系委員会で提供していますが、クラブ、地区の事業の立案、実施に資する情報ツールとして「地区リソースネットワーク」の開設の検討に着手します。

クラブに対しては、

1. クラブ戦略計画の実践を通じて
 - ・クラブを継続させるために必要な会員規模、予算規模の確認
 - ・クラブを発展させるために必要な基盤の拡大に向けての方針の策定
 - ・クラブで実施している奉仕活動が、クラブ、会員、地域にとって価値ものであるかの検証
 - ・価値ある奉仕を実行するために必要な資金確保のための財団寄付等の目標設定
 - ・会員を増強するために、地域における良い評判形成の方策の検討
 - ・クラブ戦略計画のロータリーの行動計画に基づいたブラッシュアップ、更新
 - ・クラブの将来へ向けた目標、目的のクラブ全会員での共有
 - ・ロータリー以外の協力者とのパートナーシップの構築
 - ・クラブの成果、実績課題解決のプロセスの蓄積
 - ・会員の家族のクラブ事業への参加促進
 - ・クラブ優秀賞の受賞
 - ・ロータリー財団補助金の活用を働きかけます。これらは、クラブ全会員が認める手続きを経ることが重要です。
2. 1のクラブ全員が共有したこれらの目標を、3-Year Rolling Goals、クラブセントラル等をツールとして推進すること、クラブ行動計画推進者による進捗状況の確認を促します。

会員には、以下のことをお願いします。

1. 各会員の活動の記録、目標設定、進捗の確認ツールとしての My Rotary への登録
2. My Rotary のラーニングセンターによるロータリー知識、情報の取得
3. 自身のロータリー、クラブへの帰属意識の再確認、強化
4. 家族のクラブ事業への参加

ガバナー補佐には、以下のことをお願いします。

1. クラブと地区の懸け橋となり、クラブの発展、継続を支えること
2. クラブへの依頼事項を、分かりやすく、丁寧に伝えることと合わせて、それらをクラブと共に推進すること
3. 新クラブ設立に向けた、分区内の情報の収集

クラブ優秀賞並びにガバナー賞へのエントリーのお願い

クラブの活動を一層活発なものにしていただく目標の一つとして、クラブ優秀賞獲得へ向けた登録、ガバナー賞への挑戦をお願いします。

クラブ優秀賞

クラブ優秀賞（旧「ロータリー賞」）は、各年度のクラブの優れた取り組みを表彰するものです。クラブ優秀賞の目標に向けた取り組みは、クラブで会員の参加を促し、より大きなインパクトをもたらし、地域社会におけるクラブの存在意義を保ち、効率的に運営するための一助となります。人びとを温かく迎え、参加を促すクラブは、会員によりよい体験を提供できるだけでなく、ロータリーの価値観を反映していると言えます。クラブがクラブ優秀賞の目標に取り組むことで、ロータリーの力強さを保ち、次世代にとってふさわしい文化を育むことができます。

ロータリークラブ、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブは、ロータリーとクラブを強化することを目的とした各種目標を達成することで、クラブ優秀賞を受賞することができます。目標には、会員増強、持続可能なプロジェクトにおける会員の積極的参加、ロータリー財団への寄付、地域社会でのロータリーの認識向上、戦略計画の更新などが含まれます。

・クラブ優秀賞（ロータリークラブ）

クラブ優秀賞の目標は、ロータリークラブ・セントラルから確認できます。クラブ優秀賞を達成するには、すべての目標を確認してその中から少なくとも半分を選択し、それらを達成した上で、ロータリークラブ・セントラルからその達成をご報告ください。

達成はすべて、2026年6月30日までにロータリークラブ・セントラルから報告する必要があります。

ロータリークラブ・セントラルを開いたら、「目標設定・確認センター」をクリックし、年度を選び、「すべて」をクリックしてください。

目標	目標の詳細
会員増強	ロータリー年度末までに達成したいクラブ会員総数
会員と参加促進	会員とその他の参加者のニーズがクラブ細則に反映されている
奉仕活動への参加	本ロータリー年度にクラブの奉仕活動に参加する会員の数
新会員の推薦	本ロータリー年度に新会員を推薦する現会員の数
ロータリー行動グループへの参加	本ロータリー年度に少なくとも1つのロータリー行動グループのメンバーとなっている会員の数
リーダーシップ育成への参加	本ロータリー年度にリーダーシップ養成プログラム／活動に参加する会員の数
地区大会への参加	地区大会に出席する会員の数

目標	目標の詳細
ロータリー親睦活動グループへの参加	本ロータリー年度にロータリー親睦活動グループのメンバーとなっている会員の数
地区研修への参加	地区で行われる研修／セミナー／協議会などに出席するクラブ委員会委員長の数
年次基金への寄付	本ロータリー年度のクラブと会員によるロータリー財団年次基金への寄付総額
ポリオプラス基金への寄付	本ロータリー年度のクラブと会員によるロータリー財団ポリオプラス基金への寄付総額
大口寄付	本ロータリー年度に寄せられる一括 10,000 ドル以上の寄付の件数
遺贈友の会会員	遺産計画を通じてロータリー財団に 10,000 ドル以上の寄付を誓約することを、初めて本ロータリー年度にロータリー財団に通知する個人・夫婦の数
ベネファクター	遺言またはそのほかの遺産計画に財団恒久基金を指定して寄付することをロータリー財団に通知または恒久基金に 1,000 ドル以上を寄付して、新たにベネファクターとなる個人・夫婦の数
奉仕プロジェクト	本ロータリー年度にクラブが実施する奉仕プロジェクトの数
ローターアクトクラブ	本ロータリー年度にクラブがスポンサーする新ローターアクトクラブと既存ローターアクトクラブの数
インターアクトクラブ	本ロータリー年度にクラブがスポンサーする新インターアクトクラブと既存インターアクトクラブの数
来訪する青少年交換学生	本ロータリー年度にバーチャルまたは対面形式でクラブが受け入れる青少年交換学生の数
派遣する青少年交換学生	本ロータリー年度にバーチャルまたは対面形式でクラブが派遣する青少年交換学生の数
RYLA 参加者	本ロータリー年度に直接対面式またはバーチャル形式でクラブが支援する RYLA (ロータリー青少年指導者養成プログラム) 参加者の数
クラブ戦略計画	クラブにはクラブ独自の戦略計画 (長期計画) があるか
インターネット上の存在感	インターネット上にあるクラブの情報は現在の活動を正確に反映しているか
親睦のための活動	本ロータリー年度、例会以外に親睦を目的としてクラブが実施した活動の回数
ウェブサイトとソーシャルメディアの更新	本ロータリー年度中、クラブのウェブサイトとソーシャルメディアアカウントを月に何回更新するか

目標	目標の詳細
クラブのプロジェクトのメディア掲載	本ロータリー年度にクラブのプロジェクトを取り上げるメディア記事の数
ロータリー作成の公式推進用資料の使用	本ロータリー年度に地域社会でロータリーを紹介するために、国際ロータリーから提供される広告と公共奉仕資料(ブランドリソースセンターから入手可能な放送用ビデオ、印刷広告、その他の公式資料) 使用した回数

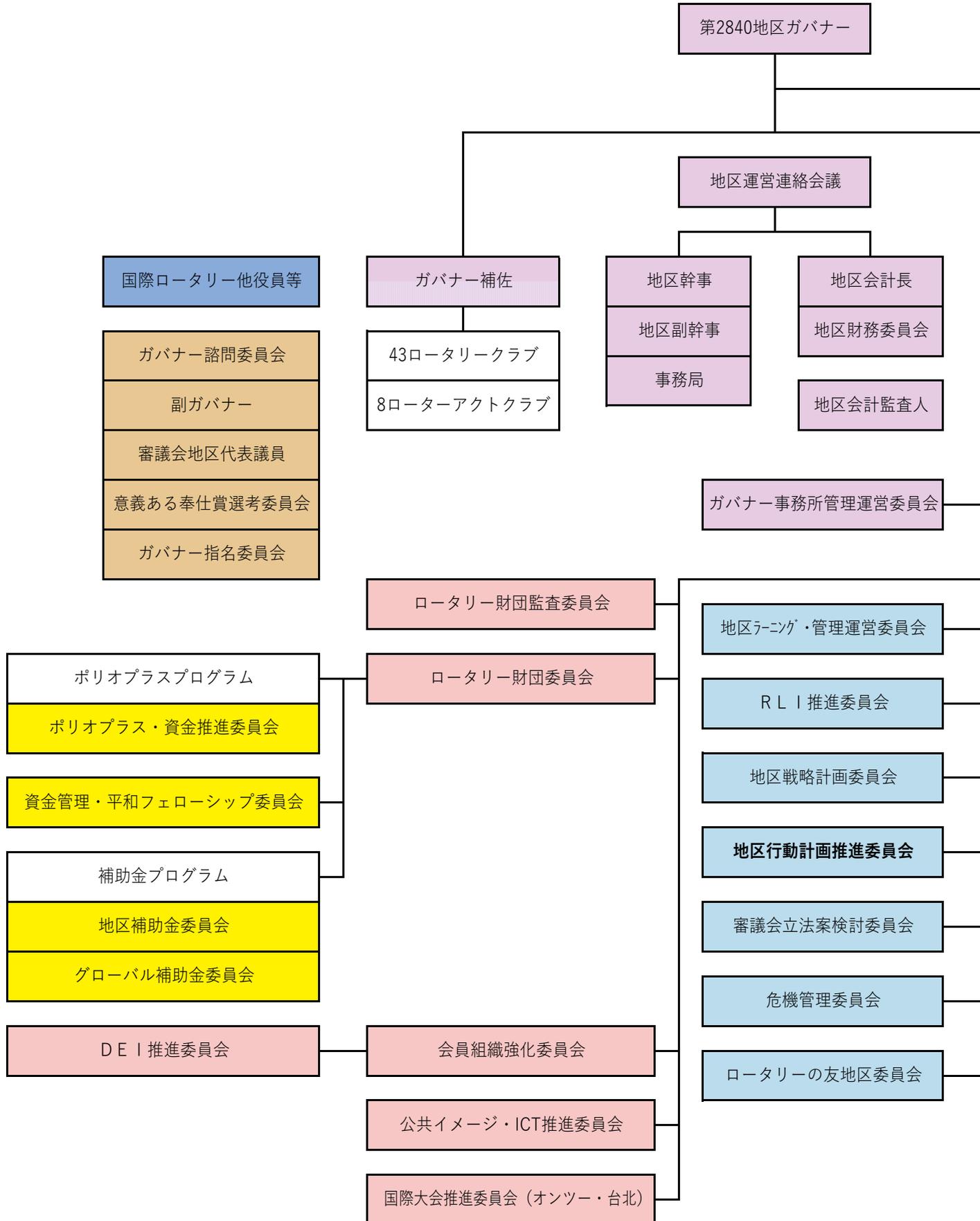
ガバナー賞

2025-2026 年度に実施されました各クラブの事業の中から、特に国際社会や地域社会への貢献、公共イメージの向上、クラブの会員基盤強化に寄与されました事業に対しましてガバナー賞の贈呈をさせていただきます。

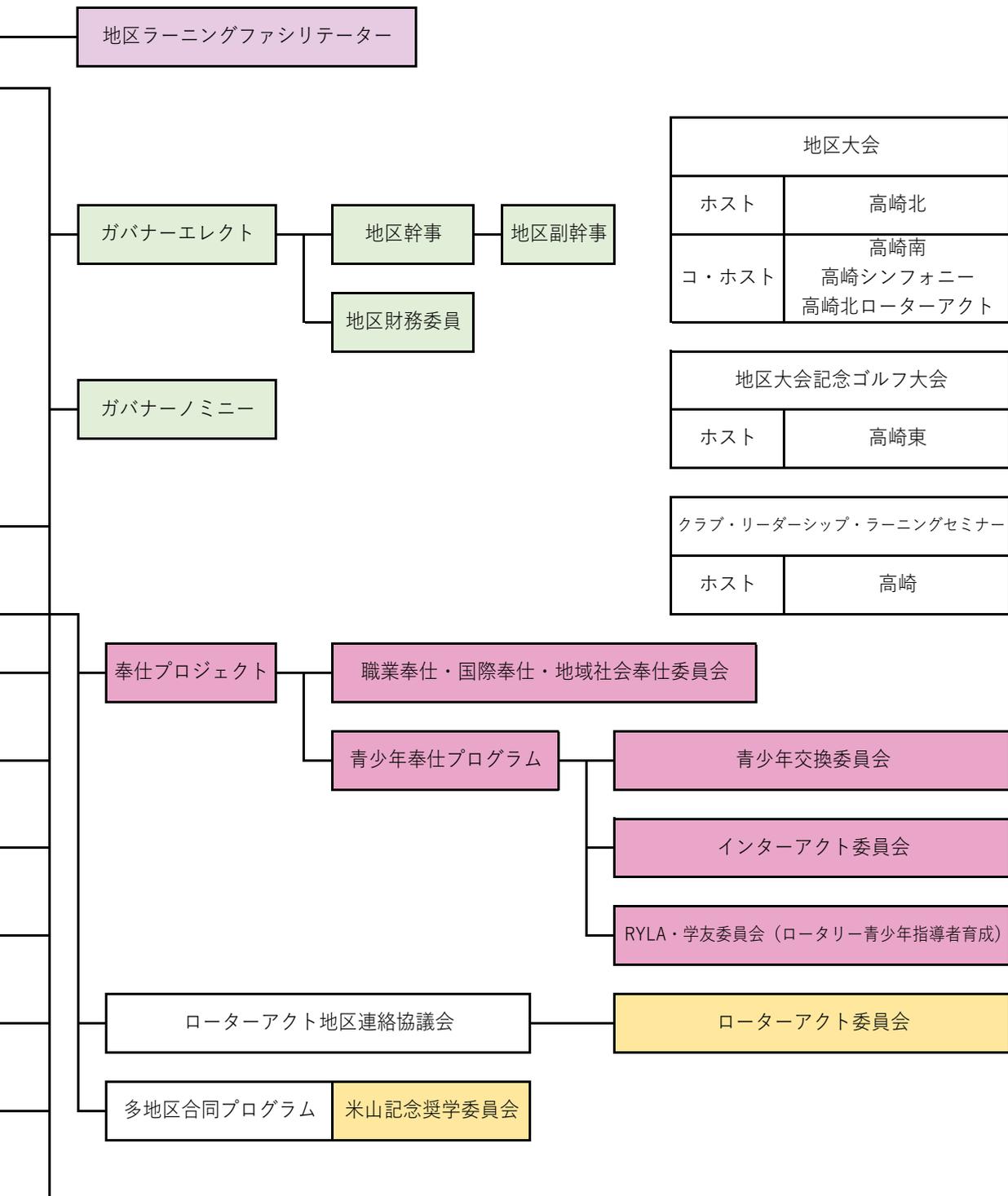
最終的な締め切りを 2026 年 6 月 10 日とさせていただきますが、2025 年 8 月 31 日までに、所定のエントリー用紙にて予めエントリーしていただき、その目標の達成に向かって、活発なクラブ活動をお願い申し上げます。

≪ガバナー賞≫	I 奉仕活動部門	最優秀賞・優秀賞
	II 公共イメージ向上部門	最優秀賞・優秀賞
	III 会員基盤向上部門	最優秀賞・優秀賞

2025-2026年度 国際ロータリー



第2840地区 地区組織図



国際ロータリー他役員等	
国際ロータリー第1地域ロータリーコーディネーター	田中 久夫(高崎)
国際ロータリー第1地域ロータリーコーディネーター補佐	中野 正美(太田)
RLI日本支部委員長	本田 博己(前橋)
(一社)ロータリーの友事務所編集担当理事	本田 博己(前橋)
(公財)ロータリー米山記念奨学会常務理事	田中 久夫(高崎)
(公財)ロータリー米山記念奨学会評議員	森田 高史(伊勢崎)

ガバナー諮問委員会
清 章司(藤岡)
森田 均(渋川)
山崎 學(高崎南)
曾我 隆一(前橋)
横山 公一(沼田)
松倉 紘洋(富岡)
牛久保哲男(伊勢崎)
福田 一良(前橋西)
安藤震太郎(高崎北)
疋田 博之(桐生)
本田 博己(前橋)
竹内 正幸(太田)
生方 彰(沼田中央)
田中 久夫(高崎)
宮内 敦夫(館林)
森田 高史(伊勢崎)
山田 邦子(前橋)
足立 進(前橋東)
中野 正美(太田)
保坂 充勇(沼田)
森 末廣(桐生)
担) 堤 謙治(高崎北)
副ガバナー
森 末廣(桐生)
審議会地区代表議員
代 本田 博己(前橋)
補 足立 進(前橋東)
意義ある奉仕賞選考委員会
長) 竹中 隆(高崎北)
副) 森 末廣(桐生)
保坂 充勇(沼田)
中野 正美(太田)
足立 進(前橋東)

ガバナー指名委員会
長) 足立 進(前橋東)
副) 中野 正美(太田)
山田 邦子(前橋)
保坂 充勇(沼田)
森 末廣(桐生)
ガバナー補佐
第1 小磯 正康(前橋中央)
第2A 青山 豊(桐生西)
第2B 鷹巣 修(伊勢崎南)
第3 関口 朋克(高崎セントラル)
第4A 大谷 恒雄(太田南)
第4B 原 精一(館林レニアム)
第5 赤井 幸夫(沼田中央)
第6 和田 雅之(碓氷安中)
地区運営連絡会議
長) 竹中 隆(高崎北)
副) 三好 建正(安中)
森 末廣(桐生)
ガバナーミニ()
樋口 哲雄(高崎北)
後藤 圭一(桐生)
櫻井 正晴(安中)
平田 稔(高崎北)
松島 宏明(桐生)
小坂橋 桂(安中)
担) 堤 謙治(高崎北)

- ・代 代表
- ・補 代表補欠
- ・前 前年度
- ・次 次年度
- ・ア) アドバイザー
- ・長) 委員長又は議長
- ・副) 副委員長又は副議長
- ・署) 署名人
- ・担) 担当副幹事

地区ガバナー
竹中 隆(高崎北)
地区ラーニングファシリテーター
田中 久夫(高崎)
地区幹事
代 樋口 哲雄(高崎北)
次 櫻井 正晴(安中)
前 後藤 圭一(桐生)
地区副幹事
橋谷 晋治(高崎北)
廣神 壮郎(高崎北)
堀込 敏彦(高崎北)
堀口 晋吾(高崎北)
井上 智太(高崎北)
小林 晴彦(高崎北)
小池 達哉(高崎北)
近藤 利弘(高崎北)
久保 満(高崎北)
串田 洋介(高崎北)
宮川 秀彦(高崎北)
大畑亜樹夫(高崎北)
大井田健一(高崎北)
須永 正儀(高崎北)
高野 由博(高崎北)
堤 謙治(高崎北)
事務局
入山こず江
佐藤由紀恵
地区会計長
平田 稔(高崎北)
地区財務委員会
2年 平田 稔(高崎北)
1年 松島 宏明(桐生)
3年 小坂橋 桂(安中)
地区会計監査人
清水 英也(高崎東)
ガバナー事務所管理運営委員会
長) 森田 高史(伊勢崎)
副) 足立 進(前橋東)
樋口 哲雄(高崎北)
平田 稔(高崎北)
後藤 圭一(桐生)
櫻井 正晴(安中)
ガバナーミニ地区幹事()

地区ラーニング・管理運営委員会
長) 田中 久夫(高崎)
副) 森田 高史(伊勢崎)
副) 中野 正美(太田)
森 末廣(桐生)
三好 建正(安中)
ガバナーミニ()
新井 良和(伊勢崎)
君島 准逸(高崎ソフィエ)
飯田 知義(大泉)
津久井 功(沼田)
担) 堀込 敏彦(高崎北)
RLI推進委員会
ア) 竹内 正幸(太田)
長) 関口 俊介(高崎)
副) 原 敬(伊勢崎)
田島 敏之(高崎北)
木下 康彦(沼田)
担) 堀込 敏彦(高崎北)
地区戦略計画委員会
長) 田中 久夫(高崎)
副) 保坂 充勇(沼田)
副) 森 末廣(桐生)
副) 三好 建正(安中)
竹中 隆(高崎北)
ガバナーミニ()
樋口 哲雄(高崎北)
櫻井 正晴(安中)
担) 高野 由博(高崎北)
地区行動計画推進委員会
長) 田中 久夫(高崎)
副) 保坂 充勇(沼田)
副) 森 末廣(桐生)
副) 三好 建正(安中)
竹中 隆(高崎北)
ガバナーミニ()
小磯 正康(前橋中央)
青山 豊(桐生西)
鷹巣 修(伊勢崎南)
関口 朋克(高崎セントラル)
大谷 恒雄(太田南)
原 精一(館林レニアム)
赤井 幸夫(沼田中央)
和田 雅之(碓氷安中)
担) 高野 由博(高崎北)

審議会立法案検討委員会
ア) 曾我 隆一(前橋)
長) 本田 博己(前橋)
副) 足立 進(前橋東)
中野 正美(太田)
小磯 正康(前橋中央)
青山 豊(桐生西)
鷹巣 修(伊勢崎南)
関口 朋克(高崎セントラル)
大谷 恒雄(太田南)
原 精一(館林レニアム)
赤井 幸夫(沼田中央)
和田 雅之(碓氷安中)
担) 井上 智太(高崎北)
危機管理委員会
長) 森田 均(渋川)
副) 足立 進(前橋東)
新井 聡(前橋西)
関口 知義(前橋)
小澤 健一(高崎)
荻原 靖規(太田)
矢内 良春(伊勢崎南)
担) 井上 智太(高崎北)
ロータリーの友地区委員会
長) 関 真一(沼田)
副) 後藤 圭一(桐生)
樋口 哲雄(高崎北)
担) 小池 達哉(高崎北)

第2840地区 地区委員会委員名簿

ロータリー財団監査委員会

長) 中野 正美 (太 田)
副) 清水 英也 (高崎東)

ロータリー財団委員会

ア) 森田 高史 (伊勢崎)
長) 小林 洋樹 (前 橋)
副) 石井 英智 (前橋南)
水石 清治 (沼 田)
金井 利明 (伊勢崎中央)
唐沢 健二 (中之条)
石川 好男 (太 田)
小林 匡美 (高崎南)
片桐 正人 (前橋 RAC)
担) 堤 謙治 (高崎北)

ポリオプラス・資金推進委員会

長) 水石 清治 (沼 田)
副) 町田 久 (渋 川)
隅谷 智 (群馬境)
柳生 由幸 (碓氷安中)
担) 橋谷 晋治 (高崎北)

資金管理・平和フェロシップ委員会

長) 金井 利明 (伊勢崎中央)
副) 上柿 敬一 (伊勢崎中央)
副) 福島 敬仁 (伊勢崎南)
署) 町田 久 (渋 川)
署) 隅谷 智 (群馬境)
担) 小林 晴彦 (高崎北)

地区補助金委員会

長) 唐沢 健二 (中之条)
副) 草刈 晋一 (桐生赤城)
菊川 善明 (前 橋)
石井 英智 (前橋南)
下田 仁 (伊勢崎)
六本木 裕 (伊勢崎中央)
江畑 晴彦 (高 崎)
小此木能信 (高 崎)
植村 仁 (太 田)
山本 樹 (館 林)
原 直道 (渋 川)
渡邊 仁基 (藤岡南)
片桐 正人 (前橋 RAC)
担) 橋谷 晋治 (高崎北)

グローバル補助金委員会

長) 石川 好男 (太 田)
副) 菊池 千恵 (前 橋)
Randolph 留利子 (桐 生)
吉田 尚弘 (伊勢崎中央)
小河原義光 (高 崎)
芳子ビューエル (高崎ソフオーネー)
担) 近藤 利弘 (高崎北)

会員組織強化委員会

長) 中野 正美 (太 田)
副) 三好 建正 (安 中)
小磯 正康 (前橋中央)
青山 豊 (桐生西)
鷹巢 修 (伊勢崎南)
関口 朋克 (高崎ソフオーネー)
大谷 恒雄 (太田南)
原 精一 (碓氷レニアム)
赤井 幸夫 (沼田中央)
和田 雅之 (碓氷安中)
担) 須永 正儀 (高崎北)

DEI推進委員会

ア) 山田 邦子 (前 橋)
長) 佐藤 貴江 (高 崎)
副) 星野 麗日 (桐生南)
下田 恭子 (伊勢崎中央)
高橋寿美江 (高崎ソフオーネー)
春山 和久 (渋川みどり)
三澤 俊之 (安 中)
中澤 翔 (沼田 RAC)
担) 廣神 壮郎 (高崎北)

公共イメージ・ICT推進委員会

長) 前田 修 (前 橋)
副) 田嶋 宏樹 (前橋南)
副) 安部 良憲 (伊勢崎)
野村 雅弘 (前橋西)
佐藤 敬 (前橋北)
天田 朝憲 (高 崎)
茂木 光男 (高崎東)
和田 忠治 (太田南)
長柄 光則 (館 林)
龍見 進 (藤 岡)
飯塚もも子 (高崎北 RAC)
担) 大畑亜樹夫 (高崎北)

国際大会推進委員会

長) 川鍋 太志 (高崎南)
金井 裕 (高 崎)
竹内 一晋 (高崎南)
井汲 憲治 (高崎ソフオーネー)
須田棕音子 (伊勢崎中央)
担) 高野 由博 (高崎北)

奉仕プロジェクト

職業奉仕・国際奉仕・地域社会奉仕委員会

ア) 山田 邦子 (前 橋)
長) 石原 保幸 (前橋東)
副) 島田 涉 (前橋南)
副) 高橋 昭紀 (沼田中央)
戸塚 和昭 (前橋東)
高井俊一郎 (高 崎)
深澤 秀治 (太田南)
担) 大井田健一 (高崎北)

青少年奉仕プログラム

ア) 保坂 充勇 (沼 田)

青少年交換委員会

長) 新井 聡 (前橋西)
副) 久保 貴則 (伊勢崎)
副) 久保 文孝 (伊勢崎中央)
小中 和子 (前 橋)
小暮 健一 (前橋西)
吉井 宏文 (高 崎)
飯島 芳臣 (高崎ソフオーネー)
前原 信之 (太田中央)
荒木千津子 (館 林)
宇田 榮二 (渋 川)
中山 雅之 (安 中)
担) 小林 晴彦 (高崎北)

インターアクト委員会

長) 関口 知義 (前 橋)
副) 田原 明美 (伊勢崎南)
坂田 晴彦 (桐生南)
牧野 英輔 (高 崎)
担) 久保 満 (高崎北)

RYLA・学友委員会

長) 小澤 健一 (高 崎)
副) 藤澤 真史 (桐生赤城)
村上 大樹 (伊勢崎東)
担) 堀口 晋吾 (高崎北)

ローターアクト委員会

長) 萩原 靖規 (太 田)
副) 青山 豊 (桐生西)
古澤 泰明 (前橋南)
青木 亮太 (前橋南)
佐野 和穂 (伊勢崎 RAC)
担) 堤 謙治 (高崎北)

米山記念奨学委員会

ア) 竹内 正幸 (太 田)
長) 矢内 良春 (伊勢崎南)
副) 川嶋 潤 (前橋東)
副) 西田俊太郎 (沼 田)
副) 森岡 敦史 (富岡中央)
荒川 優 (前橋西)
田嶋 景姫 (前橋東)
大友 一之 (桐 生)
由井 政喜 (伊勢崎)
高沢 克治 (伊勢崎中央)
堀川 恵子 (伊勢崎中央)
小保方由紀子 (高 崎)
島田 光貴 (太 田)
齊藤 一則 (館 林)
古池 好幸 (沼田中央)
小林 政貴 (渋川みどり)
川島 博 (安 中)
静 朋人 (碓氷安中)
黒澤 秋彦 (富岡かぶら)
担) 大井田健一 (高崎北)

ガバナーエレクト

三好 建正 (安 中)

ガバナーノミニ

地区幹事

櫻井 正晴 (安 中)

地区財務委員

小坂橋 桂 (安 中)

地区副幹事

相川 北斗 (安 中)
新井 祥文 (安 中)
飯島 岳史 (安 中)
大谷 栄義 (安 中)
小日向和博 (安 中)
日下部 有 (安 中)
川島 博 (安 中)
久保 直彦 (安 中)
坂上 順一 (安 中)
櫻井 誠 (安 中)
佐藤 宗孝 (安 中)
高橋 豊 (安 中)
田村 光三 (安 中)
萩原 永史 (安 中)
前島 正樹 (安 中)
松岡 将之 (安 中)
三澤 俊之 (安 中)

収支予算書(案)

国際ロータリー第2840地区・自2025年7月1日 至2026年6月30日

(単位:円・人)

部	科 目		本年度予算案①		前年度予算額②	増減額①-②	金額	人数	備 考
	款	項	款	項					
収入の部	1.	地区事業資金	10,677,800		9,920,000	757,800	5,260	2,030	一人当たり分担金合計 5,260円
		(1) 青少年交換資金		3,248,000	3,000,000	248,000	1,600	2,030	(1,500+100) × 2,030人
		(2) インターアクト振興資金		2,842,000	2,600,000	242,000	1,400	2,030	(1,300+100) × 2,030人
		(3) ローターアクト振興資金		1,258,600	1,140,000	118,600	620	2,030	(570+50) × 2,030人
		(4) RYLA活動資金		1,258,600	1,240,000	18,600	620	2,030	620 × 2,030人
		(5) 公共イメージ振興基金		1,461,600	1,440,000	21,600	720	2,030	720 × 2,030人
		(6) 米山記念奨学生振興資金		406,000	300,000	106,000	200	2,030	(150+50) × 2,030人
		(7) 寄付金収入その他		203,000	200,000	3,000	100	2,030	
		2. 地区活動資金	25,375,000		25,820,000	△ 445,000	12,500		一人当たり分担金合計 12,500円
		(1) 地区大会開催資金		8,120,000	9,060,000	△ 940,000	4,000	2,030	(4,530-530) × 2,030人
		(2) ガバナー他活動資金		17,255,000	16,760,000	495,000	8,500	2,030	(8,380+120) × 2,030人
		3. 地区事務所運営資金等	15,631,000		15,440,000	191,000	7,700		一人当たり分担金合計 7,700円
		(1) 地区事務所運営・地区積立預金資金		15,631,000	15,440,000	191,000	7,700	2,030	7,700 × 2,030人
		4. その他	1,110,000		1,110,000	0	25,460		一人当たり分担金合計 25,460円
	(1) R I 助成金		1,100,000	1,100,000	0			参考 前年度分担金合計 25,590円	
	(2) 受取利息		9,000	9,000	0				
	(3) 雑収入		1,000	1,000	0				
	当年度収入合計 (A)	52,793,800	52,793,800	52,290,000	503,800				
	前年度繰越収支差額 (※1)	9,969,050		6,724,638	△ 6,724,638				
	収入合計 (B)	62,762,850	52,793,800	59,014,638	△ 6,220,838				
支出の部	1.	地区事業資金	10,474,800		9,720,000	754,800			
		(1) 青少年交換事業		3,248,000	3,000,000	248,000			交換学生授業料、歓送迎会費用他
		(2) インターアクト振興事業		2,842,000	2,600,000	242,000			年次大会、台湾交流歓迎会・さよならパーティ他
		(3) ローターアクト振興事業		1,258,600	1,140,000	118,600			年次大会、他地区合同行事、他地区年次大会登録料他
		(4) RYLA活動事業		1,258,600	1,240,000	18,600			
		(5) 公共イメージ振興事業		1,461,600	1,440,000	21,600			上毛新聞掲載費用等
		(6) 米山記念奨学生親睦事業		406,000	300,000	106,000			米山奨学生親睦費用
		2. 地区活動資金	25,635,000		26,220,000	△ 585,000			
		(1) ガバナー活動費		18,565,000	18,570,000	△ 5,000			
		① 地区大会開催費		8,120,000	9,060,000	△ 940,000			地区大会開催費用
		② ガバナー公式訪問補助金		430,000	450,000	△ 20,000			10,000円 × 43クラブ
		③ インターアクト年次大会協力金		150,000	150,000	0			年次大会協力金
		④ ローターアクト年次大会協力金		175,000	175,000	0			年次大会協力金
		⑤ 各種セミナー開催費		2,520,000	2,230,000	290,000			会場費、看板、音響等
		⑤-1 地区リーダーシップセミナー		120,000	120,000	0			登録料有り
		⑤-2 新会員セミナー		50,000	20,000	30,000			登録料有り
		⑤-3 R財団セミナー		0	0	0			登録料有り
		⑤-4 米山記念奨学セミナー		50,000	30,000	20,000			登録料有り
		⑤-5 RLI研修セミナー		650,000	620,000	30,000			登録料有り
		⑤-6 IM研修セミナー		800,000	640,000	160,000			100,000円 × 8分区
		⑤-7 補助金管理セミナー		250,000	200,000	50,000			登録料有り
		⑤-8 DEIフォーラム		150,000	150,000	0			登録料有り
		⑤-9 危機管理セミナー		50,000	30,000	20,000			
		⑤-10 クラブ活性化ワークショップ		250,000	220,000	30,000			登録料有り
	⑤-11 環境保全実践活動費		150,000	200,000	△ 50,000				
	⑥ 地区会合費		850,000	680,000	170,000			会場費他	
	⑥-1 ガバナー補佐会議		100,000	50,000	50,000				
	⑥-2 ガバナー補佐・委員長合同会議		150,000	80,000	70,000				
	⑥-3 現新地区役員合同会議		500,000	450,000	50,000				
	⑥-4 幹事会		50,000	50,000	0				
	⑥-5 財務委員会		50,000	50,000	0				

支 出 の 部	⑦ ガバナー活動費		1,850,000	1,850,000	0		
	⑦-1 各種会合登録費		600,000	600,000	0	各クラブ周年行事、IM、RYLA他会合登録料等	
	⑦-2 各種表彰費		350,000	350,000	0	地区大会における表彰費用等	
	⑦-3 その他ガバナー活動費		900,000	900,000	0	各クラブ訪問、その他行事の登録料等	
	⑧ ガバナー補佐活動費		1,880,000	1,575,000	305,000	40,000円×43クラブ+20,000円×8RAクラブ	
	⑨ 報告書作成費		250,000	200,000	50,000	年次報告書の作成	
	⑩ R I関係各種登録料		100,000	100,000	0	財団地域セミナー、RYLA研究会等費用	
	⑪ 委員会活動費		2,240,000	2,100,000	140,000	会場費等	
	⑪-1 ガバナー諮問委員会		550,000	500,000	50,000		
	⑪-2 その他委員会活動費(※2)		1,690,000	1,600,000	90,000	各委員会会合費	
	(2) ガバナーエレクト活動費		6,900,000	7,550,000	△ 650,000		
	① 国際協議会		1,000,000	800,000	200,000	参加費用他	
	② 国際大会		500,000	800,000	△ 300,000	参加費用他	
	③ ガバナー補佐会議		350,000	350,000	0	会場費他	
	④ ガバナー補佐・委員長合同会議		300,000	300,000	0	会場費他	
	⑤ 委員会事業計画協議会		50,000	50,000	0	会場費他	
	⑥ 地区チーム・ラーニングセミナー		400,000	400,000	0	会場費他	
	⑦ 会長エレクト次年度幹事ラーニングセミナー		1,000,000	900,000	100,000	登録料有り 会場費他	
	⑧ クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー		800,000	800,000	0	登録料有り 会場費他	
	⑨ クラブ管理運営セミナー		100,000	100,000	0		
	⑩ 印刷費		1,400,000	1,400,000	0	会員必携、PELS・SELS印刷費用他	
	⑪ 地区バッチ製作費		100,000	750,000	△ 650,000	製作費 (同一バッチ使用)	
	⑫ 各種会合登録費		500,000	500,000	0	各クラブ訪問、周年行事等	
	⑬ その他ガバナーエレクト活動費		400,000	400,000	0		
	(3) ガバナーノミニ活動費		170,000	100,000	70,000		
	① 印刷費		20,000	20,000	0	名刺他	
	② その他ガバナーノミニ活動費		150,000	80,000	70,000	各種登録料他	
	3. 地区事務所運営資金		15,980,900	15,980,900	15,532,000	448,900	
	(1) 全国組織分担金		1,278,900	1,230,000	48,900		
	① ガバナー会議運営協力金		466,900	430,000	36,900	230円 2,030人	
	② 日本青少年交換他地区合同機構維持協力金		406,000	400,000	6,000	200円 2,030人	
	③ ロータリー文庫協力金		406,000	400,000	6,000	200円 2,030人	
	(2) ガバナー事務所運営費		14,702,000	14,302,000	400,000		
① 会議費		200,000	200,000	0			
② 労務費		7,600,000	7,300,000	300,000	事務局人件費		
③ 地区HP・月信関係費		1,200,000	1,100,000	100,000	HP、ガバナー月信、掲載費用他		
④ 地区補助金申請・報告システム保守費		400,000	400,000	0	地区補助金申請・報告メンテナンス費用他		
⑤ 旅費交通費		300,000	300,000	0	事務局員通勤手当他		
⑥ 通信費		700,000	700,000	0	電話、INT手数料、郵送料他		
⑦ 事務所賃貸料		1,452,000	1,452,000	0	事務所賃借料、駐車料		
⑧ 水道光熱費		400,000	400,000	0	電気、水道料金等		
⑨ 印刷費		2,000,000	2,000,000	0	複合機カウンター料他印刷費用		
⑩ 事務用品費		200,000	200,000	0	用紙代他		
⑪ 雑費		250,000	250,000	0	警備保障、新聞、振込料他		
4. 予備費		103,100	103,100	218,000	△ 114,900		
(1) 予備費		103,100	218,000	△ 114,900			
5. 地区積立預金支出		600,000	600,000	600,000	0		
(1) 規定審議会補助金積立預金支出		300,000	300,000	0			
(2) 災害対策積立預金		300,000	300,000	0			
当年度支出合計 (C)		52,793,800		52,290,000	503,800		
当年度収支差額 (A) - (C)		0		0	0		
次年度繰越収支差額		9,969,050		6,724,638	3,244,412		
合計		62,762,850		59,014,638	△ 6,220,838		

(※1) 前期繰越収支差額は未確定であり、2024年6月30日残高を記載しております。

(※2) その他委員会活動費の内訳書(案)参照

その他委員会活動費の内訳(案)

国際ロータリー第2840地区・自2025年7月1日 至2026年6月30日

(単位：円)

委員会	本年度予算	前年度予算	増減額
1 ガバナー指名委員会	30,000	30,000	0
2 地区ラーニング・管理運営委員会	50,000	50,000	0
3 危機管理委員会	20,000	20,000	0
4 審議会立法案検討委員会	20,000	20,000	0
5 地区運営委員会	20,000	20,000	0
6 ガバナー事務局管理運営委員会	20,000	20,000	0
7 地区戦略計画委員会	20,000	20,000	0
8 地区行動計画推進委員会	20,000	0	20,000
9 R L I 推進委員会	20,000	20,000	0
10 ロータリーの友地区委員会	30,000	20,000	10,000
11 会員組織強化委員会	30,000	30,000	0
12 D E I 推進委員会	70,000	50,000	20,000
13 公共イメージ・ICT	100,000	100,000	0
14 国際大会推進委員会	50,000	50,000	0
15 青少年奉仕プロジェクト委員会	250,000	210,000	40,000
① 職業奉仕・国際奉仕・地域社会奉仕委員会	30,000	30,000	0
② 青少年交換委員会	120,000	100,000	20,000
③ インターアクト委員会	70,000	50,000	20,000
④ R Y L A ・学友委員会	30,000	30,000	0
16 ローターアクト委員会	70,000	50,000	20,000
17 米山記念奨学委員会	150,000	150,000	0
18 ロータリー財団委員会	700,000	720,000	△ 20,000
① ポリオプラス・資金推進委員会	100,000	100,000	0
② 資金管理・平和フェロシップ委員会	50,000	70,000	△ 20,000
③ 地区補助金委員会	430,000	430,000	0
④ グローバル補助金委員会	120,000	120,000	0
19 ロータリー財団監査委員会	20,000	20,000	0
合 計	1,690,000	1,600,000	90,000

第2840地区 2025－2026年度 地区役員名簿

	ガバナー
	たけ なか たかし 竹 中 隆 (高崎北RC)
	TEL : 027-322-2893 FAX : 027-322-4466

	ガバナー 諮問委員会委員
	うしく ぼ てつ お 牛久保 哲 男 (伊勢崎RC)
	E-mail:goldfinger.007@docomo.ne.jp

	ガバナー 諮問委員会委員
	きよし あき つぐ 清 章 司 (藤岡RC)
	TEL : 0274-22-3981 FAX : 0274-22-8841

	ガバナー 諮問委員会委員
	ふく だ かず よし 福 田 一 良 (前橋西RC)
	TEL : 027-221-6868 FAX : 027-221-7444

	ガバナー 諮問委員会委員・危機管理委員会委員長
	もり た ひとし 森 田 均 (渋川RC)
	TEL : 027-224-8860 FAX : 027-224-8134

	ガバナー 諮問委員会委員
	あん どう しん たろう 安 藤 震太郎 (高崎北RC)
	TEL : 027-364-7110 FAX : 027-364-7130

	ガバナー 諮問委員会委員
	やま ぎき まなぶ 山 崎 學 (高崎南RC)
	TEL : 027-347-1177 FAX : 027-347-2850

	ガバナー 諮問委員会委員
	ひき た ひろ ゆき 疋 田 博 之 (桐生RC)
	TEL : 0277-44-3040 FAX : 0277-44-4560

	ガバナー 諮問委員会委員・審議会立法案検討委員会アドバイザー
	そ が りゅう いち 曾 我 隆 一 (前橋RC)
	TEL : 027-221-2424 FAX : 027-221-2311

	ガバナー 諮問委員会委員・審議会地区代表議員・審議会立法案検討委員長
	ほん だ ひろ き 本 田 博 己 (前橋RC)
	TEL : 027-251-8960 FAX : 027-253-8960

	ガバナー 諮問委員会委員
	よこ やま こう いち 横 山 公 一 (沼田RC)
	TEL : 0278-22-0387 FAX : 0278-22-7464

	ガバナー 諮問委員会委員・RLI推進委員会アドバイザー・米山記念奨学委員会アドバイザー
	たけ うち まさ ゆき 竹 内 正 幸 (太田RC)
	TEL : 0276-45-1408 FAX : 0276-48-5595

	ガバナー 諮問委員会委員
	まつ くら こう よう 松 倉 紘 洋 (富岡RC)
	TEL : 0274-63-7284 FAX : 0274-62-0972

	ガバナー 諮問委員会委員
	うぶ かた あきら 生 方 彰 (沼田中央RC)
	TEL : 0278-22-5555 FAX : 0278-24-1620

第2840地区 2025－2026年度 地区役員名簿

	地区ラーニングファシリテーター・ガバナー諮問委員会委員・地区ラーニング・管理運営委員会委員長・地区戦略計画委員会委員長・地区行動計画推進委員会委員長
	た なか ひさ お 田 中 久 夫(高崎RC)
	TEL：027-364-3500 FAX：027-364-3501

	副ガバナー・ガバナー諮問委員会委員・意義ある奉仕賞選考委員会副委員長・ガバナー指名委員会委員・地区運営連絡協議員・地区ラーニング・管理運営委員会委員・地区戦略計画委員会副委員長・地区行動計画推進委員会副委員長
	も り す え ひ ろ 森 末 廣(桐生RC)
	TEL：0277-40-2621 FAX：0277-32-5051

	ガバナー諮問委員会委員
	み や う ち あ つ お 宮 内 敦 夫(館林RC)
	TEL：0276-82-1499 FAX：0276-82-0784

	ガバナーエレクト・地区運営連絡協議副議長・地区ラーニング・管理運営委員会委員・地区戦略計画委員会副委員長・地区行動計画推進委員会副委員長・会員組織強化委員会副委員長
	み よ し けん せい 三 好 建 正(安中RC)
	TEL：027-385-6136 FAX：027-385-0534

	ガバナー諮問委員会委員・地区ラーニング・管理運営委員会副委員長・ロータリー財団委員会アドバイザー・ガバナー事務所管理運営委員会委員長
	も り た た か し 森 田 高 史(伊勢崎RC)
	TEL：0270-25-1441 FAX：0270-24-8237

	ガバナー諮問委員会委員・ガバナー指名委員会委員・DEI推進委員会アドバイザー・職業奉仕・国際奉仕・地域社会奉仕委員会アドバイザー
	や ま だ く に こ 山 田 邦 子(前橋RC)
	TEL：027-234-6001 FAX：027-234-6011

	ガバナー諮問委員会委員・審議会地区代表補欠議員・意義ある奉仕賞選考委員会委員・ガバナー指名委員会委員長・ガバナー事務所管理運営委員会副委員長・審議会立法案検討委員会副委員長・危機管理委員会副委員長
	あ だ ち す す む 足 立 進(前橋東RC)
	TEL：027-231-9612 FAX：027-234-9308

	ガバナー諮問委員会委員・意義ある奉仕賞選考委員会委員・ガバナー指名委員会副委員長・地区ラーニング・管理運営委員会副委員長・審議会立法案検討委員会委員・ロータリー財団監査委員会委員長・会員組織強化委員会委員長
	な か の ま さ み 中 野 正 美(太田RC)
	TEL：0276-37-5800 FAX：0276-37-5813

	ガバナー諮問委員会委員・意義ある奉仕賞選考委員会委員・ガバナー指名委員会委員・地区戦略計画委員会副委員長・地区行動計画推進委員会副委員長・青少年奉仕プログラムアドバイザー
	ほ さ か み つ お 保 坂 充 勇(沼田RC)
	TEL：0278-24-1871 FAX：0278-23-1335

第2840地区 2025 - 2026年度 地区役員名簿

	第1分区分区ガバナー補佐・地区行動計画推進委員会委員・審議会立法案検討委員会委員・会員組織強化委員会委員
	こ いそ まさ やす 小 磯 正 康 (前橋中央 RC)
	TEL : 027-252-8553 FAX : 027-252-8649

	第2分区分区Aガバナー補佐・地区行動計画推進委員会委員・審議会立法案検討委員会委員・会員組織強化委員会委員
	あお やま ゆたか 青 山 豊 (桐生西 RC)
	TEL : 0277-72-1221 FAX : 0277-72-1256

	第2分区分区Bガバナー補佐・地区行動計画推進委員会委員・審議会立法案検討委員会委員・会員組織強化委員会委員
	たか す おさむ 鷹 巣 修 (伊勢崎南 RC)
	TEL : 0270-25-0606 FAX : 0270-25-6200

	第3分区分区ガバナー補佐・地区行動計画推進委員会委員・審議会立法案検討委員会委員・会員組織強化委員会委員
	せき ぐち とも かつ 関 口 朋 克 (高崎セントラル RC)
	TEL : 027-362-5836 FAX : 027-363-4824

	第4分区分区Aガバナー補佐・地区行動計画推進委員会委員・審議会立法案検討委員会委員・会員組織強化委員会委員
	おお や つね お 大 谷 恒 雄 (太田南 RC)
	TEL : 0276-45-7569 FAX : 0276-45-7569

	第4分区分区Bガバナー補佐・地区行動計画推進委員会委員・審議会立法案検討委員会委員・会員組織強化委員会委員
	はら せい いち 原 精 一 (館林シニア RC)
	TEL : 0276-72-4130 FAX : 0276-72-4149

	第5分区分区ガバナー補佐・地区行動計画推進委員会委員・審議会立法案検討委員会委員・会員組織強化委員会委員
	あか い ゆき お 赤 井 幸 夫 (沼田中央 RC)
	TEL : 0278-25-4188 FAX : 0278-25-4189

	第6分区分区ガバナー補佐・地区行動計画推進委員会委員・審議会立法案検討委員会委員・会員組織強化委員会委員
	わ だ まさ ゆき 和 田 雅 之 (碓氷安中 RC)
	TEL : 027-381-2726 FAX : 027-381-4590

	地区幹事(代表)・地区運営連絡会議議員・地区戦略計画委員会委員・ガバナー事務所管理運営委員会委員・ロータリーの友地区委員会委員
	ひ ぐち てつ お 樋 口 哲 雄 (高崎北 RC)
	TEL : 027-361-1690 FAX : 027-361-7781

	地区幹事(前年度)・地区運営連絡会議議員・ガバナー事務所管理運営委員会委員・ロータリーの友地区委員会副委員長
	ご とう けい いち 後 藤 圭 一 (桐生 RC)
	TEL : 0277-44-3345 FAX : 0277-44-3616

	地区幹事(次年度)・地区運営連絡会議議員・ガバナー事務所管理運営委員会委員・地区戦略計画委員会委員
	さくら い まさ はる 櫻 井 正 晴 (安中 RC)
	TEL : 027-388-8211 FAX : 027-388-8212

	地区会計長・地区財務委員会委員(2年)・地区運営連絡会議議員・ガバナー事務所管理運営委員会委員
	ひら た みのる 平 田 稔 (高崎北 RC)
	TEL : 027-382-2537 FAX : 027-382-2537

	地区財務委員会委員(1年)・地区運営連絡会議議員
	まつ しま ひろ あき 松 島 宏 明 (桐生 RC)
	TEL : 0277-55-0207 FAX : 0277-55-0209

	地区財務委員会委員(3年)・地区運営連絡会議議員
	こ いたばし かつら 小 板 橋 桂 (安中 RC)
	TEL : 027-385-0118 FAX : 027-385-0406

	地区ラーニング・管理運営委員会委員
	あら い よし かず 新 井 良 和 (伊勢崎 RC)
	TEL : 0270-25-2002 FAX : 0270-25-2010

	地区ラーニング・管理運営委員会委員
	きみ じま じゅん いち 君 島 准 逸 (高崎ソフイー RC)
	TEL : 027-325-3366 FAX : 027-325-5777

	地区ラーニング・管理運営委員会委員
	い い だ とも よし 飯 田 知 義 (大泉 RC)
	TEL : 0276-62-2568 FAX : 0276-56-4608

	地区ラーニング・管理運営委員会委員
	つ く い いさお 津 久 井 功 (沼田 RC)
	TEL : 0278-24-1519 FAX : 0278-22-6580

第2840地区 2025－2026年度 地区役員名簿

	RLI推進委員会委員長
	せき ぐち しゅん すけ 関 口 俊 介 (高崎RC)
	TEL : 027-370-1703 FAX : 027-370-1704

	ロータリーの友地区委員会委員長
	せき しん いち 関 真 一 (沼田RC)
	TEL : 0278-52-2239 FAX : 0278-52-2287

	ロータリー財団委員会委員長
	こ ばやし ひろ き 小 林 洋 樹 (前橋RC)
	TEL : 027-268-4567 FAX : 027-268-4488

	ポリオプラス・資金推進委員会委員長
	みず いし せい じ 水 石 清 治 (沼田RC)
	TEL : 0278-22-2211 FAX : 0278-23-1670

	資金管理・平和フェロウシップ委員会委員長
	かな い とし あき 金 井 利 明 (伊勢崎中央RC)
	TEL : 0270-63-3610 FAX : 0270-63-3544

	地区補助金委員会委員長
	から さわ けん じ 唐 沢 健 二 (中之条RC)
	TEL : 0279-76-3535 FAX : 0279-76-3536

	グローバル補助金委員会委員長
	いし かわ よし お 石 川 好 男 (太田RC)
	TEL : 0276-31-4644 FAX : 0276-31-2816

	DEI推進委員会委員長
	さ とう たか え 佐 藤 貴 江 (高崎RC)
	TEL : 027-363-3336 FAX : 027-361-7652

	公共イメージ・ICT推進委員会委員長
	まえ だ おさむ 前 田 修 (前橋RC)
	TEL : 027-251-5841 FAX : 027-253-5207

	国際大会推進委員会(オンツー・台北)委員長
	かわ なべ たか し 川 鍋 太 志 (高崎南RC)
	TEL : 027-352-9190 FAX : 027-353-0086

	職業奉仕・国際奉仕・地域社会奉仕委員会委員長
	いし はら やす ゆき 石 原 保 幸 (前橋東RC)
	TEL : 027-265-5888 FAX : 027-265-5880

	青少年交換委員会委員長・危機管理委員会委員
	あら い さとし 新 井 聡 (前橋西RC)
	TEL : 027-387-0611 FAX : 027-387-0612

	インターアクト委員会委員長・危機管理委員会委員
	せき ぐち とも よし 関 口 知 義 (前橋RC)
	TEL : 027-251-1182 FAX : 027-253-7136

	RYLA・学友委員会委員長・危機管理委員会委員
	お ざわ けん いち 小 澤 健 一 (高崎RC)
	TEL : 027-364-0102 FAX : 027-364-0108

	ロータリーアクト委員会委員長・危機管理委員会委員
	おぎ はら やす のり 荻 原 靖 規 (太田RC)
	TEL : 0276-37-8600 FAX : 0276-37-8601

	米山記念奨学委員会委員長・危機管理委員会委員
	や ない よし はる 矢 内 良 春 (伊勢崎南RC)
	TEL : 0270-32-1526 FAX : 0270-32-1583

第2840地区 2025-2026年度 ガバナースタッフ名簿

	地区副幹事
	はし や しん じ 橋 谷 晋 治 (高崎北RC)
	TEL : 027-363-4366 FAX : 027-361-1840

	地区副幹事
	ひろ かみ たけ お 廣 神 壮 郎 (高崎北RC)
	TEL : 027-388-8333 FAX : 027-388-8310

	地区副幹事
	ほり ごめ とし ひこ 堀 込 敏 彦 (高崎北RC)
	TEL : 027-387-0128 FAX : 027-387-0129

	地区副幹事
	ほり ぐち しん こ 堀 口 晋 吾 (高崎北RC)
	TEL : 027-384-3982 FAX : 027-384-3983

	地区副幹事
	いの うえ とも ひろ 井 上 智 太 (高崎北RC)
	TEL : 027-327-2366 FAX : 027-327-2347

	地区副幹事
	こ ばやし はる ひこ 小 林 晴 彦 (高崎北RC)
	TEL : 027-347-7101 FAX : 027-347-7102

	地区副幹事
	こ いけ たつ や 小 池 達 哉 (高崎北RC)
	TEL : 027-395-0266 FAX : 027-395-0256

	地区副幹事
	こん どう とし ひろ 近 藤 利 弘 (高崎北RC)
	TEL : 024-323-4601 FAX : 027-327-6850

	地区副幹事
	く ぼ みつる 久 保 満 (高崎北RC)
	TEL : 027-395-5691 FAX : 027-395-5692

	地区副幹事
	くし だ よう すけ 串 田 洋 介 (高崎北RC)
	TEL : 027-362-1231 FAX : 027-363-6281

	地区副幹事
	みや かわ ひで ひこ 宮 川 秀 彦 (高崎北RC)
	TEL : 027-322-8756 FAX : 027-322-8755

	地区副幹事
	おお はた あ き お 大 畑 亜 樹 夫 (高崎北RC)
	TEL : 027-362-9520 FAX : 027-362-9524

	地区副幹事
	おお い だ けん いち 大 井 田 健 一 (高崎北RC)
	TEL : 027-327-8880 FAX : 027-327-8881

	地区副幹事
	す な が ま さ よし 須 永 正 儀 (高崎北RC)
	TEL : 027-325-0925 FAX : 027-325-0926

	地区副幹事
	たか の よし ひろ 高 野 由 博 (高崎北RC)
	TEL : 027-329-6958 FAX : 027-381-8083

	地区副幹事
	つ つ み けん じ 堤 謙 治 (高崎北RC)
	TEL : 027-343-4744 FAX : 027-343-4438

	ガバナー事務所 事務局員
	いり やま こずえ 入 山 こず江
	TEL : 027-212-2840 FAX : 027-212-2841

	ガバナー事務所 事務局員
	さ と う ゆ き え 佐 藤 由 紀 恵
	TEL : 027-212-2840 FAX : 027-212-2841

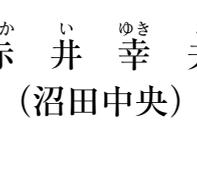
第2840地区 2025-2026年度 クラブ会長・幹事 名簿

	ガバナー補佐	会 長	幹 事
第 1 分 区	 こいそ まさ やす 磯 正 康 (前橋中央)	 前橋 RC ぬく い なお ひさ 温 井 尚 久	 前橋 RC し みず まさ ひろ 清 水 雅 弘
		 前橋西 RC まち だ のぶ ゆき 町 田 伸 行	 前橋西 RC う だ がわ とし あき 宇田川 利 明
		 前橋東 RC かわ しま じゅん 川 嶋 潤	 前橋東 RC すず き みづえ 鈴 木 みづえ
		 前橋北 RC いの うえ ひろ き 井 上 洋 樹	 前橋北 RC こ わ せ けん 小和瀬 健
		 前橋南 RC たつ た せい いち 立 田 清 一	 前橋南 RC おお つば しん じ 大 坪 伸 二
		 前橋中央 RC かわ しま ひろ みつ 河 島 宏 光	 前橋中央 RC よこ やま ゆき お 横 山 幸 男
第 2 分 区 A	 あお やま ゆたか 青 山 豊 (桐生西)	 桐生 RC た なか かず え 田 中 一 枝	 桐生 RC きた がわ たか ひさ 北 川 貴 久
		 桐生南 RC えん どう ふ み お 遠 藤 二 三 男	 桐生南 RC し みず ゆたか 清 水 裕
		 桐生西 RC やま がた ごう 山 形 剛	 桐生西 RC かわ ち りょう はん 河 内 良 範
		 桐生赤城 RC ほり こめ たけし 堀 込 猛	 桐生赤城 RC はやし かおり 林 香

第2840地区 2025-2026年度 クラブ会長・幹事 名簿

	ガバナー補佐	会 長	幹 事
第 2 分 区 B	 たか す おさむ 鷹 巣 修 (伊勢崎南)	 伊勢崎 RC なか がわ はじめ 中 川 一	 伊勢崎 RC みや ざわ ひで とし 宮 澤 秀 利
		 群馬境 RC あま だ みつ とし 天 田 光 俊	 群馬境 RC つね み のぶ お 常 見 信 雄
		 伊勢崎中央 RC かみ がき けい いち 上 柿 敬 一	 伊勢崎中央 RC まつ なが ふみ ひこ 松 永 文 彦
		 伊勢崎南 RC こ や の あき ら 小谷野 晃 良	 伊勢崎南 RC や ない よし はる 矢 内 良 春
		 伊勢崎東 RC むら かみ ひろ き 村 上 大 樹	 伊勢崎東 RC おお ぎ たか ゆき 大 木 孝 之
第 3 分 区	 せき ぐち とも かつ 関 口 朋 克 (高崎セントラル)	 高崎 RC とみ やま しゅん ご 富 山 俊 吾	 高崎 RC しま かた とも ゆき 嶋 方 智 之
		 高崎南 RC くろ さわ ひろ 黒 澤 弘	 高崎南 RC にし かわ ただ 西 川 正
		 高崎北 RC こ もり や つよ 小森谷 剛	 高崎北 RC きた がた しん や 北 形 信 也
		 高崎東 RC かつら がわ じゅん 桂 川 淳	 高崎東 RC みや ざわ てつ や 宮 澤 哲 哉
		 高崎シンフォニー RC さい とう たつ お 齋 藤 達 雄	 高崎シンフォニー RC いけ だ たか あき 池 田 貴 明
		 高崎セントラル RC いし ばし かつ み 石 橋 克 美	 高崎セントラル RC まつ ざわ たつ や 松 澤 達 也

第2840地区 2025-2026年度 クラブ会長・幹事 名簿

	ガバナー補佐	会 長	幹 事
第4 分 区 A	 おお や つね お 大 谷 恒 雄 (太田南)	 太田 RC たけ べ ひろ あき 竹 部 弘 昭	 太田 RC おお しま まさ よし 大 島 正 芳
		 太田西 RC なか じま ふみ まさ 中 島 史 将	 太田西 RC にし むら とし かず 西 村 寿 和
		 太田南 RC あま がさ ひで あき 天 笠 秀 昭	 太田南 RC なか しま ゆき ひこ 中 島 幸 彦
		 新田 RC まつ もと たか ゆき 松 本 貴 之	 新田 RC いな だ しん しょう 稲 田 信 昌
		 太田中央 RC まつ もと とおる 松 本 徹	 太田中央 RC あら い なお たか 新 井 尚 孝
第4 分 区 B	 はら せい いち 原 精 一 (館林ミレニアム)	 館林 RC もと じま かつ ゆき 本 島 克 幸	 館林 RC ふじ しま あつ 藤 島 厚
		 大泉 RC た なか とし あき 田 中 敏 明	 大泉 RC はち り たか し 八 里 隆 司
		 館林東 RC み た ひろ ゆき 三 田 博 行	 館林東 RC やり た さだ お 鍵 田 貞 雄
		 館林ミレニアム RC つば い なお よし 坪 井 直 良	 館林ミレニアム RC か が み ま ゆみ 加々美 真 弓
第5 分 区	 あか い ゆき お 赤 井 幸 夫 (沼田中央)	 渋川 RC こ ぐれ か ね こ 木 暮 香 峰 子	 渋川 RC にし お かず や 西 尾 一 也
		 沼田 RC しお うら ひろ のり 塩 浦 敬 之	 沼田 RC お ぐら ひとし 小 倉 仁

第2840地区 2025-2026年度 クラブ会長・幹事 名簿

	ガバナー補佐	会 長	幹 事
第 5 分 区	 あか い ゆき お 赤 井 幸 夫 (沼田中央)	 中之条 RC た ひろ あき 田 村 洋 晃	 中之条 RC とみ ざわ なお ふみ 富 沢 尚 史
		 沼田中央 RC も ぎ せい しち 茂 木 清 七	 沼田中央 RC お ざわ ひろ ゆき 小 澤 博 之
		 渋川みどり RC なか ざわ よし ふみ 中 澤 功 史	 渋川みどり RC な ぐも とも ひと 南 雲 智 仁
第 6 分 区	 わ だ まさ ゆき 和 田 雅 之 (碓氷安中)	 富岡 RC まつ もと たもつ 松 本 保	 富岡 RC あら い あつし 新 井 篤
		 藤岡 RC すず き ひとし 鈴 木 均	 藤岡 RC なか がね とし ゆき 中 金 俊 行
		 安中 RC こ いたばし かつら 小 板 橋 桂	 安中 RC いい じま たけ し 飯 島 岳 吏
		 藤岡北 RC ふか い まさ き 深 井 正 毅	 藤岡北 RC くわ はら つね いち 楽 原 恒 一
		 富岡中央 RC いわ せ まさ お 岩 瀬 正 男	 富岡中央 RC つじ かわ まさ ひろ 辻 川 雅 弘
		 碓氷安中 RC さくら い みき お 櫻 井 幹 男	 碓氷安中 RC わ だ まさ ゆき 和 田 雅 之
		 藤岡南 RC あぜ がみ せい いち 畔 上 誠 一	 藤岡南 RC お ぬき とも たろう 小 貫 智 太郎
		 富岡かぶら RC いた やま しのぶ 板 山 忍	 富岡かぶら RC きの した とも はる 木 下 智 晴

2025-2026年度 地区組織編成と活動指針

A. ガバナー

ガバナーの任務は、RI 細則 16.090.に以下のように規定されています。

ガバナーは、その地区において、理事会の一般的な指揮、監督の下に職務を行う RI の役員である。ガバナーは、地区内のクラブを啓発し、意欲を与えるものとする。ガバナーは、元、現任、次期地区リーダーと協力して、地区内における継続性を確保するものとする。ガバナーは、次の事項の責任を負う。

- (a) 新クラブを結成すること。
- (b) 既存クラブの強化助成すること。
- (c) 会員増強を推進すること。
- (d) 地区およびクラブのリーダーと協力し、理事会の提唱する地区リーダーシップ・プランへの参加を奨励すること。
- (e) 地区内のクラブに対する指導および監督を行うことで、ロータリーの目的を推進すること。
- (f) TRF を支援すること。
- (g) クラブ間およびローターアクトクラブ間、およびクラブ、ローターアクトクラブ、RI の間の良好な関係を促進すること。
- (h) 地区大会を計画、主宰すること。会長エレクト次年度幹事ラーニングセミナーおよびクラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーの計画・準備にあたるガバナーエレクトに協力すること。
- (i) 個々のクラブあるいは複数クラブ合同の例会への公式訪問を行うこと。その際には、以下を行うため、ガバナーの出席が最大限の成果を生むような機会を選ぶようにする。
 - ① ロータリーの重要な問題に焦点を当て関心を持たせる。
 - ② 弱体および問題のあるクラブに特別な関心を払う。
 - ③ 奉仕活動への参加に対するロータリアンの意欲をかきたてる。
 - ④ クラブの定款および細則が、組織規定を順守していることを確認する。規定審議会開催後は特にこれを行う。
 - ⑤ 顕著な貢献をした地区内のロータリアンを、ガバナー自ら表彰する。
- (j) 各クラブに対して月信を発行すること。
- (k) 会長または理事会の要請により、速やかに RI に報告を提出すること。
- (l) ガバナーエレクトに対して、国際協議会の前に、クラブの状況について詳細な情報を提供し、強化策を提案すること。
- (m) 地区における指名および選挙が、組織規定および RI の規定の方針を遵守するよう計らうこと。
- (n) 地区内のロータリアンのグループの活動について定期的に尋ねること。
- (o) 地区の文書をガバナーエレクトに引き継ぐこと。
- (p) RI 役員の職責に属するその他の任務を遂行すること。

B. 副ガバナー

ガバナーの空席に対し RI 細則には、以下の規定があります。当地区では直前ガバナーがこれに当たります。

16.060. ガバナーの空席

16.060.1. 副ガバナー

ガバナー指名委員会は、ガバナーエレクトが推薦した 1 名のパストガバナーを、選出の翌年度に任期を務める副ガバナーに選出できる。指名委員会が選出をしなかった場合、ガバナーエレクトが 1 名のパストガバナーを副ガバナーとして選出できる。副ガバナーの役

割は、ガバナーが一時的あるいは恒久的にガバナーとしての任務を遂行できなくなった場合に、ガバナーの後任となることである。

C. パストガバナー（PG）

1. パストガバナーの皆様には、ガバナー諮問委員会に加え、地区運営に関する指導役あるいはサポート役として、各委員会の分担をお願いしています。

2. 今年度のご担当委員会は以下の通りです

地区ラーニング・管理運営委員会	委員長	田中 久夫	PG
	副委員長	森田 高史	PG
	副委員長	中野 正美	PG
地区戦略計画委員会	委員長	田中 久夫	PG
	副委員長	保坂 充勇	PG
	副委員長	森 末廣	PG
地区行動計画推進委員会	委員長	田中 久夫	PG
	副委員長	保坂 充勇	PG
	副委員長	森 末廣	PG
審議会立法案検討委員会	委員長	本田 博己	PG
	副委員長	足立 進	PG
	委員	中野 正美	PG
危機管理委員会	委員長	森田 均	PG
	副委員長	足立 進	PG
ロータリー財団監査委員会	委員長	中野 正美	PG
会員組織強化委員会	委員長	中野 正美	PG
ガバナー事務所管理運営委員会	委員長	森田 高史	PG
	副委員長	足立 進	PG
R L I 推進委員会	アドバイザー	竹内 正幸	PG
審議会立法案検討委員会	アドバイザー	曾我 隆一	PG
ロータリー財団委員会	アドバイザー	森田 高史	PG
DEI 推進委員会	アドバイザー	山田 邦子	PG
奉仕プロジェクト	アドバイザー	山田 邦子	PG
青少年奉仕プログラム	アドバイザー	保坂 充勇	PG
米山記念奨学委員会	アドバイザー	竹内 正幸	PG

D. ガバナースタッフと地区三役

1. 当年度の地区幹事（2年幹事）を「代表地区幹事」と呼び、代表地区幹事は地区会計長と連携して地区運営を統括します。また前年度の地区幹事（1年幹事）、次年度の地区幹事（3年幹事）と協力して、地区運営の連続性に努めます。
2. 地区会計長は「地区財務委員会」の委員長として、地区会計を統括し、ガバナーとともに地区資金の銀行口座の署名人となります。
3. 当年度の地区副幹事は16名で複数の任務（委員会・ガバナー補佐・地区行事等）を分担します。委員会・地区行事等の事務・連絡・記録は各担当副幹事が行います。
4. ガバナー、直前ガバナー、ガバナーエレクト、地区幹事3名、地区財務委員3名のことを「地区三役」といい、継続的で効果的な地区運営を図る目的から「地区運営連絡会議」を開催します。またガバナーノミニーが選任された場合はこれに加わります。

E. 地区ラーニングファシリテーター

地区ラーニングファシリテーターはガバナーおよびガバナーエレクトと協力して、地区チーム・ラーニングセミナー、会長エレクト・次年度幹事ラーニングセミナー、クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー、地区大会、地区クラブ活性化ワークショップ、RLIセミナー、ローターアクトクラブ役員講習会等の地区研修を企画・管理します。また、地区ラーニング・管理運

営委員会の委員長も務め、必要に応じてセッションの進行役の人選、研修におけるそのほかの担当者の割り当てを行います。

F. ガバナー補佐

1. ガバナー補佐はガバナーの地区管理を補佐する公式の役職として、地区リーダーシップ・プラン (DLP) の中枢を担っています。地区内 44 クラブを 6 分区・8 グループに分け、各グループに 1 名、合計 8 名のガバナー補佐を配置します。
2. ガバナー補佐の主要任務は、担当クラブの管理運営に関して、ガバナーを支援することです。具体的には次の通りです。

ガバナー補佐の責務

ガバナー補佐は、ガバナー及び担当クラブに対して以下の責務を担います。

- ① 地区目標の設定・達成を援助する。
- ② 地区の活動と行事に参加する。
- ③ 地区チーム・ラーニングセミナーに出席する。
- ④ 会長エレクト・次年度幹事ラーニングセミナーとクラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーに出席する。
- ⑤ 将来にリーダーとなれる人材を探し、育成する。
- ⑥ 担当クラブの例会、各種会合、その他の行事に出席する。
- ⑦ クラブを支援するための具体的なアイデアを、ガバナーや地区に提案する。
- ⑧ 地区大会やその他の地区会合への登録並びに出席をクラブに奨励する。
- ⑨ クラブ状況について、次期ガバナー補佐に情報を提供する。

ガバナー補佐の役割

- ① 分区内のクラブを年 4 回以上は訪れる。
- ② クラブの現状をガバナーに報告し、改善する点があればガバナーと協議し助言・指導する。
- ③ 会員の声を聞き、クラブに情報やアドバイス更には参考資料を紹介し、クラブを功に導く。
- ④ クラブの現状（例会開催状況・会員増強状況等）をガバナーに報告する。
- ⑤ ガバナー公式訪問の 2 週間前までにクラブを訪問して、クラブの現状等について所定の報告を行う。
- ⑥ ガバナー公式訪問に向けたクラブの準備の指導・補助を行う。
- ⑦ クラブ会長がロータリークラブ・セントラルに目標を入力すること、また入力した目標達成を支援する。
- ⑧ クラブの奉仕プロジェクトや補助金プロジェクトの取り組みを支援し、そのために関係委員会等と連携し調整する。
- ⑨ クラブが、クラブ戦略計画、クラブ・リーダーシッププラン (CLP) を推進し、活性化する手助けをする。
- ⑩ 分区内のクラブリーダーらとオンラインによる方法を含めて交流や親睦をはかる。
- ⑪ 必要に応じて IM を開催し分区内の会員のロータリーの価値を共有するとともに、相互の親睦を図る。
- ⑫ 分区内のローターアクトクラブの支援を行う。

あわせて、

- ・地区のプログラムの目的、活動の価値をクラブ、会員に共有していただき、理解を得ること

また、クラブ会長に

- ・クラブにおける過去の活動の成果等をどう蓄積し、繋いでいくか
- ・クラブの運営をどのようにマネジメントするか

・クラブの活動の成果をどうインパクトのあるものにしていくかを意識して、クラブ会長との連携をお願いします。

G. 地区の各委員会について

地区運営全般として次の点に留意してください。

- ・他の関連する委員会との連携の強化
- ・クラブ、クラブ委員会への地区プログラムの目的、活動の発信による価値の共有
- ・それぞれプロジェクトを実施するだけでなく、それがクラブ、会員にどんなリターンをもたらすか
- ・委員会内における過去の成果等をどう蓄積し、繋いでいくか
- ・委員会の運営をどのようにマネジメントするか
- ・委員会活動の成果をどうインパクトのあるものにしていくか

地区運営に関わる委員会

地区運営上の課題解決と地区の永続的発展を図るために編成するものです。パストガバナー・ガバナー補佐・地区委員会委員長・地区委員経験者等に委員をお願いしています。

① ガバナー諮問委員会

パストガバナーによって構成され、その経験、見識によって、ガバナーに対しでロータリー活動に関する助言を行います。

② ガバナー指名委員会

地区ガバナーノミニーフ候補者の選出のため、地区ガバナーはパストガバナーの中から各年度の指名委員会委員を委嘱し、地区ガバナー指名委員会が RI の定めに従って各年度のガバナーノミニーフ候補者を選出します。

③ 地区運営連絡会議

直前ガバナー、ガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニーフ、並びにそれぞれの地区幹事で構成され、地区事業等の評価、検証し、地区運営の次年度以降への連続性を図ります。

④ ガバナー事務所管理運営委員会

ガバナー事務所や事務職員に過度な業務負担が生ずることのないよう地区委員会や幹事・副幹事との調整を行い、事務職員の勤務を健全な状態に保つとともに事務所運営上の諸課題に対応します。また将来を見据えた業務のあり方も常に検討していく必要があります。また各種ハラスメントも発生しないよう管理して頂きます。

⑤ 地区戦略計画委員会

地区およびクラブにおける戦略計画の立案と推進を支援する委員会です。当年度は現在の第4期戦略計画（2023-2026年）の最終年度に当たりますので、新たな期間に向けた地区戦略計画の策定が必要となります。委員会はパストガバナーをはじめ、ガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニーフ、他で構成しています。

⑥ 審議会立法案検討委員会

規定審議会（COL）は、3年に1回開催される RI 唯一の立法機関です。規定審議会に提案すべき立法案は、地区内ロータリークラブの提案を検討し、RI に上程します。

⑦ 危機管理委員会

国際ロータリーが提唱する青少年奉仕のプログラムに参加する青少年および米山記念奨学生の安全と健康及び健全な生活を守ることを目的とします。交通事故・自然災害から保護し、身体的・性的・精神的虐待あるいはハラスメントを防止すると共に、起こりうる危機に適切に処理できるよう設置しています。委員長はパストガバナーにお願いし、青少年奉仕関係の委員長に委員になって頂きます。

⑧ ロータリーの友地区委員会

『ロータリーの友』編集委員会には、日本全国 34 地区からガバナーの代理として選

任を受けたロータリーの友地区代表委員が参加し、編集委員会のメンバーとして地区と『ロータリーの友』を結ぶ役割を担っています。

具体的活動としては、毎月発行される『ロータリーの友』を読み、感想や意見を編集部に送り、編集部ではそれを全会員に送り情報を共有して編集に生かします。地区や地区内のクラブの情報収集にも努め、会員から『ロータリーの友』への投稿をお願いします。『ロータリーの友』で一番大切なのは、ロータリアンの皆様から直接投稿をいただく原稿や写真です。他のクラブの活動の参考になる素晴らしい活動や、地域性に富んだ特色ある活動、読者の皆様にお伝えしたい情報など、各クラブへの投稿を勧奨して頂きます。

地区の研修に関わる委員会

⑨ 地区ラーニング・管理運営委員会

地区ラーニング・管理運営委員会は、地区ラーニングファシリテーターを中心に、地区の研修プログラムの全てを統括します。ガバナーエレクト年度において、いわゆる三大研修（地区チームラーニングセミナー、会長エレクト・次年度幹事ラーニングセミナー、クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー）の企画を行うとともに、各種研修を監督し、RLI 推進委員会をサポートし、研修面で、ガバナーとガバナーエレクトを支援します。

また、同時にクラブラーニングファシリテーターセミナーを企画するなど、クラブラーニングファシリテーターを支援します。

⑩ RLI 推進委員会

RLI (Rotary Leadership Institute) は、講師の授業を聞く講義形式ではなく、少人数でテーマに沿って各人が自由に発言し、互いに気づき合う方法で行われるセミナーです。

ファシリテーターが進行しますが、答えを教える人ではなく、あくまでも進行役です。ロータリーについて、自分の見解を自由に述べ、他の人の発言から多くを学ぶことができます。自発的、能動的な学習形式です。当地区では秋口に Part I ~ Part III (3回) が開催され、次年度の会長・幹事の必須研修となっております。

ロータリー財団関係委員会

⑪ ロータリー財団委員会

ロータリー財団は、ロータリアンからの寄付で支えられ、ロータリアンが特定したプロジェクトに資金を提供する唯一の団体です。ロータリアンは様々な方法で人々への奉仕を行います。ロータリー財団はロータリアンが行う奉仕を支えています。

地区ロータリー財団委員会の継続性を保つため、ガバナー、ガバナーエレクトと協力する。またガバナーの指揮の下、財団関係の4つの小委員会と協力して財団活動の計画、調整、評価を行としています。

2025-2026年度は、次の4つの小委員会より構成されます。

1. ポリオプラス・資金推進委員会
2. 資金管理・平和フェロシップ委員会
3. 地区補助金委員会
4. グローバル補助金委員会

クラブへの支援活動を一層強化し、適切なアドバイスを提供するように心掛けます。

⑫ ポリオプラス・資金推進委員会

世界ポリオ根絶推進活動 (GPEI) を立ち上げたパートナーとして、ロータリーはポリオの症例を 99.9%減らす貢献をしてきました。ポリオプラスは、国際ロータリーの特別プログラムで、根絶の認定が達成されるまでは、ほかの全てのプログラムに対して優先されることとされており、日本においては、ポリオの発症は止まって久しく、特に新会員等には馴染みも薄いことから、十分な理解が浸透している状況にはない

ものと感じております。

そうした会員の十分な理解を前提に、本年度も世界ポリオ撲滅のための寄付の推進を行っていきたいと考えています。

あわせて、世界のロータリー活動を資金面で支えている「ロータリー財団」に対する寄付を推進し、「寄付ゼロクラブゼロ」を目指します。

⑬ 資金管理・平和フェロシップ委員会

ロータリアンの寄付が財源となって支給される各種補助金を厳格に管理するための委員会であります。当地区は、地区補助金については全クラブが使用し、実績を上げておりますが、一方 DDF（地区財団活動資金）の残高が増加しつつありますので、グローバル補助金委員会と協力して有効活用を推進してゆきたいと考えております。

また、平和は「人」から始まると考えるロータリーは、平和フェロシップ（奨学金）を通じて、世界平和と紛争予防の担い手となる人材を育て、平和推進者のネットワークを築いています。毎年、世界中から選ばれる最高 100 人のフェローが、ロータリー平和センター提携大学で学んでいます。当地区は全く馴染みの薄いプログラムですが、地区内の広報を広げてゆきたいと考えております。

⑭ 地区補助金委員会

ロータリー財団からの補助金のうち、地区補助金を担当する委員会です。

地区内の全クラブが地区補助金の活用を行うよう地区補助金申請を奨励するとともに、各クラブの奉仕事業の質の面で、一層地域社会のニーズにマッチしていくよう支援してゆきたいと考えております。

⑮ グローバル補助金委員会

ロータリー財団からの補助金のうち、グローバル補助金を担当する委員会です。

7つの重点分野に適合したグローバル補助金の申請モデルを開示するなどして、地区並びにクラブが、活発にグローバル補助金の申請を行えるよう活動してゆきたいと考えております。

組織強化に関する委員会

⑯ 会員組織強化委員会

この委員会は従来の「会員増強」を「会員組織強化」と捉えなおし体制を強化したもので、CLP に基づくクラブ委員会組織の「会員増強委員会」に呼応するものです。「会員増強」の目的は単に会員数の増大を図ることのみでなく、「会員組織」の強化、即ちクラブの会員基盤の充実です。こうした課題は地区内の全クラブが取り組むべきことから、ガバナー補佐 8 名を委員として全クラブに対する「会員組織強化」の支援体制を整えます。

衛星クラブ等の革新的クラブの創設やローターアクトクラブの強化も必要だと思えます。これらのことも念頭に置いて活動を推進し、会員組織基盤の強化に努めます。

⑰ DEI 推進委員会

一昨年から RI が唱えてきた DEI への取り組みが本年度後退したように感じています。

DEI と声高に唱えなくても、日本では、他者を思いやる心、受け入れる気持ちは、皆が持っていると思えます。そのことを再認識していただくことが DEI を理解してもらう第一歩と位置付けます。他の人の個性を否定せず、寛容な姿勢で、人格を受け入れることができれば、居心地の良いクラブとなるでしょう。会員の退会防止にもつながるはずです。

抽象的で、伝えること、理解していただくことが難しい課題ですが、丁寧にクラブ、会員に働きかけます。

⑱ 公共イメージ・ICT 推進委員会

「公共イメージと認知度の向上」は、RI の優先項目の 1 つです。

公共イメージとして、クラブの取り組みを支援するための地域マスメディア（新聞・テレビ・ラジオ）ツールを活用したロータリー認知度向上の情報発信とあわせて、ロータリー活動の相手とその先にいる人々にもより深い理解をしていただけるよう草の根運動を重要視した取り組みに努めます。

ICT 推進としては、SNS（YouTube Instagram 等）を用いた手法の発信について地区やクラブ会員への認識を強固なものとして、情報発信を積極的に行える環境構築のサポートを行っていきます。

ローターアクトとの連携にて次世代へロータリー活動の認知を図っていく。

マイロータリーの登録推進と活用方法についても広く告知するよう取り組んでいきます。

⑲ 国際大会推進委員会

毎年開かれる国際大会では、世界中のロータリアンが一堂に集い、活動の成果やアイデア、体験を分かち合います。今年度も当委員会を設定して、準備を進めてゆきたいと考えております。

奉仕プロジェクトに関する委員会

⑳ 職業奉仕・国際奉仕・地域社会奉仕委員会

職業奉仕、国際奉仕、地域社会奉仕委員会は、ロータリーの掲げる五大奉仕の1つであります。

職業奉仕は、すべてのロータリアンが倫理と高潔さをもって仕事にあたり、職業の知識やスキルを社会のニーズ解決のために進んで役立てることであります。

また、国際奉仕につきましては、地区やクラブが主体となって推進されていることとは思いますが、特に地区の DDF（地区財団活動資金）を余すことなく利用できるよう、グローバル補助金委員会とも協力し、グローバル補助金活用事業を一層推進してゆきたいと考えております。

地域社会奉仕につきましては、すべてのロータリアンが、地域の人々の暮らしを豊かにし、より良い社会づくりに貢献することです。

ロータリー月間に因んだ月信投稿や各種情報発信を行うことでクラブを支援してゆきたいと思っております。

青少年奉仕プログラムに関する委員会

㉑ 青少年交換委員会

ロータリーは、青少年交換を通じて、若者のエンパワメントを図り、リーダーシップの力を育成し、世界の理解と平和を推進しています。

青少年交換は、15～19 歳の学生が海外に滞在し、留学する機会を提供するもので、2ヶ国のロータリーの地区・クラブで行われる交換（派遣・受入）プログラムです。

長期交換（約1年）と短期交換（約1ヶ月）があり、学生はお互いの国のホストファミリー宅に滞在しながら現地の学校に通います。

当地区では、毎年、長期交換3名程度、短期交換2名程度の実績があります。

また近年は、身体的、性的、精神的な虐待から青少年を守ることも重要な役割となっております。

交換先との連絡調整や保険、予防接種など、委員の負担が大きいいため、負担の軽減、委員会内での情報の蓄積を図ってゆきたいと考えております。

㉒ インターアクト委員会

インターアクトは、12～18 歳までの青少年が、地元や学校で同じ世代の若者と知り合い、リーダーシップのスキルを培うことのできるプログラムです。

当地区では、16の提唱ロータリークラブにより、県内16の高等学校にそれぞれインターアクトクラブが存在し、日々の活動を実践するとともに、例年7月にインターアク

ト年次大会を開催しています。

また、毎年、国際交流事業として、台湾インターアクトクラブとの一泊ホームステイを含んだ相互交流を行っています。

日頃の活動は、学校のクラブ活動の1つのような位置づけで指導教師も存在することから安定的な活動が行われております。一方で、インターアクト提唱クラブ以外の関心が必ずしも高くないのが現状です。

②③ ローターアクト委員会

ローターアクトは、18歳以上の若者が集まり、地域社会でボランティア活動を行い、交流を深めながら、リーダーシップのスキルを培うことのできるプログラムです。

当地区ではローターアクトクラブが8クラブあります。ローターアクトクラブは、毎月数回例会を行うなど、単体のクラブとしての活動とともに、他地区のローターアクトクラブとの交流もあり、当地区では、例年2月に地区年次大会を開催しています。

RIにおけるローターアクトクラブの地位が変更されました。まだまだ移行期間と感じていますが、共に学び、活動することが重要と考えています。

②④ RYLA・学友委員会

RYLA（ロータリー青少年指導者育成）は、若いリーダーを育て、ネットワークを築き、アイデアを広げ、行動を起こすよう、若者の意欲を高めるためのプログラムです。

当地区では、RYLA（ライラ）研修セミナーを開催しており、年1回、青少年を対象として実施され、ロータリアンの参加は関係者のみとなっているため、地区全体のロータリアンの認知を必ずしも十分受けていないものと思われまます。

運営につきましてもホストクラブにお任せしている部分が多いため、今年度は可能な限り、企画段階から協議を重ね、地区全体に周知できるよう、効果的な運営を目指したいと考えております。

学友に対しましては、クラブと協力して、毎年輩出される学友の名簿作成を行うとともに、地区大会等における学友の発表等も担当して頂きます。

他地区共同プログラム

②⑤ 米山記念奨学委員会

日本で学ぶ私費外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンからの寄付金を財源として奨学金を支給し支援する、日本国内34地区の多地区合同プログラムです。

二度と戦争を起こさないという国際親善の視点から始まった米山記念奨学制度も、今日では、毎年約900名を越す米山記念奨学生を支援するまでに成長し、当地区では寄付実績も全34地区中有数の実績があり、寄付実績に応じて割り振られる奨学生も、本年度は29名となっております。

活動としては、指定校の選考に始まり、新規の奨学生の選考、世話クラブのカウンセラーに対するセミナーの他、米山学友会の総会等も開催されています。

現在、本制度に対して様々な意見があることも承知しています。日本全域で実施されている実績あるプログラムであることも踏まえて、地区内会員に理解を得られるよう努めます。

H. 地区行事

1. 「会長エレクト・次年度幹事ラーニングセミナー」

3月8日（土）9日（日） 磯部ガーデンにて開催。

2. 「クラブリーダーシップ・ラーニング・セミナー」

各クラブの新年度指導者研修を目的にしています。5月18日（日）群馬音楽センター、ホテルグランビュウ高崎にて開催。ホストクラブを高崎ロータリークラブにお願いしています。

3. 「地区大会」

10月25日(土) 高崎芸術劇場、ホテルメトロポリタン高崎にて開催。

前日10月24日(金)はホテルメトロポリタン高崎にて地区リーダーシップセミナーとRI会長代理歓迎晩餐会を開催いたします。

4. 「地区大会記念ゴルフ大会」

9月27日(土) 高崎市のサンコーカントリークラブにて開催。ホストクラブを高崎東ロータリークラブにお願いしています。

I. その他の事業

以下の事業の開催をお願いいたします。詳細につきましては、改めてお示しさせていただきます。

1. 世界ポリオデー

10月24日(金)の世界ポリオデーが、地区大会と重なりますので、ポリオ例会、ポリオウィーク、ポリオ月間等、開催時期と内容は柔軟に考えていただいて結構です。

クラブ単位、分区単位で、ポリオ根絶に向けたロータリーの活動の歴史、現状への理解を深めるための事業をお願いします。

あわせて、世界ポリオデーイベントのフォトコンテストが全国のクラブ対象に行われますので、ロータリアン、インターアクト、ローターアクトの参加できるイベント、対外的にポリオ根絶活動への理解、公共イメージ向上に効果のあると思われるイベントもご検討ください。

2. ロータリーデー

分区単位の相手の見える、地域にとって価値ある奉仕活動をお願いいたします。

3. IM (インターシティミーティング)

地区内クラブの奉仕活動の事例は、報告書になっていますし、HPにも掲載されています。各分区内のロータリー以外の奉仕団体を招いて、組織、奉仕事業の内容など活動を知ること、新たな奉仕プロジェクトのヒントを得ることができるかもしれません。対象となる団体をリサーチすることによりクラブの奉仕活動のパートナーを見出すことができかもしれません。また、将来のロータリアンを発掘できる可能性もあると考えます。

研修とあわせて懇親会の開催をお願いします。

J. ガバナーエレクト (2026-2027年度) 三好 建正 (安中ロータリークラブ)

K. ガバナーノミネー (2027-2028年度) 未定

国際ロータリー第2840地区 2025－2026年度

委員会事業計画

ガバナー指名委員会	足立 進
地区運営連絡会議	竹中 隆
地区財務委員会	平田 稔
ガバナー事務所管理運営委員会	森田 高史
地区ラーニング・管理運営委員会	田中 久夫
R L I 推進委員会	関口 俊介
地区戦略計画委員会	田中 久夫
地区行動計画推進委員会	田中 久夫
審議会立法案検討委員会	本田 博己
危機管理委員会	森田 均
ロータリーの友地区委員会	関 真一
ロータリー財団監査委員会	中野 正美
ロータリー財団委員会	小林 洋樹
ポリオプラス・資金推進委員会	水石 清治
資金管理・平和フェロシップ委員会	金井 利明
地区補助金委員会	唐沢 健二
グローバル補助金委員会	石川 好男
会員組織強化委員会	中野 正美
D E I 推進委員会	佐藤 貴江
公共イメージ・ICT 推進委員会	前田 修
国際大会推進委員会	川鍋 太志
職業奉仕・国際奉仕・地域社会奉仕委員会	石原 保幸
青少年交換委員会	新井 聡
インターアクト委員会	関口 知義
R Y L A ・学友委員会	小澤 健一
ローターアクト委員会	荻原 靖規
米山記念奨学委員会	矢内 良春

ガバナー指名委員会

委員長 足立進（前橋東RC）

委員 山田邦子（前橋RC）

副委員長 中野正美（太田RC）

委員 保坂充勇（沼田RC）

委員 森末廣（桐生RC）

1. 委員会の役割

ガバナー指名委員会の役割は、当地区のガバナー候補者を選出することです。

RI細則にある規定に従い、公正な手順を踏んで当年度のガバナーノミニージェクネートを選出します。当地区は、選出方法として、従来から地区大会決議により指名委員会方式を採用しており、選出された候補者は、ガバナーノミニー、ガバナーエレクトを経て、ガバナーに就任します。

当委員会に課せられた重大な職責を果たすべく、慎重に選任手続を進めます。

2. 今年度の選出手順とスケジュール

① ガバナーノミニージェクネートの推薦依頼を各クラブに発出

8月中に2025.12.31を提出期限とする推薦依頼を行います。

② 指名委員会の開催

必要に応じて、適時、当委員会を開催します。

③ 候補者審査会の開催

応募者に対し、面談形式による審査会を開催します。

④ 指名の公表

指名委員会は、選出した候補者を選出後24時間以内にガバナーに通知します。

ガバナーは、通知を受けてから3日以内に各クラブへ書面で通知します。

3. 各クラブへのお願い

ガバナーになること、また、クラブとしてガバナーを輩出することは大変な面はありますが、とてもやりがいがあることで、クラブが更に発展する機会となります。これまでにガバナーを輩出したクラブだけでなく、むしろ、まだ輩出経験のないクラブこそ、新たなロータリーの地平を切り開いていただきたいと思います。

次代の地区リーダーの選出にご協力をお願いします。

地区運営連絡会議

委員長	竹中 隆（高崎北RC）	委員	櫻井 正晴（安 中RC）
副委員長	三好 建正（安 中RC）	委員	平田 稔（高崎北RC）
委員	森 末廣（桐 生RC）	委員	松島 宏明（桐 生RC）
委員	<ガバナーノミニー>	委員	小板橋 桂（安 中RC）
委員	樋口 哲雄（高崎北RC）		
委員	後藤 圭一（桐 生RC）	担当副幹事	堤 謙治（高崎北RC）

1. 当委員会の役割

地区運営や地区事業、地区委員会活動について、連年のガバナーの間で一定の協議し、次年度以降へ共有することによって、ロータリーの人事、予算の単年度制を補完します。

2. 委員会活動の現状認識

直前ガバナー、ガバナーより、ガバナーエレクト及びガバナーノミニーに、地区運営や地区事業については伝達できていると考えていますが、地区委員会事業等の細部については、委員会内での引継ぎに頼っている部分が多いと感じています。

3. 委員会事業計画

実施された事業の結果を検討し、今後に向けて、より効果的な地区運営ができるよう協議を行っていきます。変えた方がよい事柄や、変えない方がよい事柄を、根拠や経緯を十分協議する中で、可能な限り地区運営の連続性を確保したいと考えております。

4. 目標

より効果的な地区運営や地区事業が実施されることです。ガバナー・ガバナーエレクト・ガバナーノミニー・ガバナーノミニーデジグネートの来るべき自らの年度の事業計画や予算立案等の地区運営に資するものとする。

5. タイムスケジュール

2025年6月～7月頃	第1回会議
2025年10月～11月頃	第2回会議（ガバナーエレクト主催会合前）
2026年2月～3月頃	第3回会議
2026年5月～6月頃	第4回会議

地区財務委員会

委員長 平田 稔 (高崎北RC)

委員 松島 宏明 (桐 生RC)

委員 小板橋 桂 (安 中RC)

担当副幹事 堀口 晋吾 (高崎北RC)

1. 委員会の役割

各クラブのサポートを主眼とした地区の事業及び活動等は、各クラブの会員に均等に負担して頂いている地区分担金に依存しております。

このため、地区財務委員会は、地区ガバナーと密接に協力し、地区資金の管理、監督、地区予算の編成、地区分担金の検討を行います。また、地区財務の透明性を保ち、収支を正確に記録すると共に、年度終了後には年次財務諸表と報告書を作成し、監査を受けた後各クラブに提出いたします。

2. 予算の作成

ガバナー及びガバナーエレクトと協力して予算を編成します。予算の編成には以下の点を考慮いたします。

- ① 地区運営に必要な経費
- ② ガバナーとガバナーエレクトの職務遂行を支えるための支出
- ③ ガバナーとガバナーエレクトが出席するクラブと地区の特別事業への支出

3. 地区分担金の設定

地区分担金は、地区の支出を賄う地区の資金源です。各クラブの負担に配慮し、年次予算に応じた適正な金額を設定いたします。

4. 年次財務諸表と報告書

地区の正確な年次財務諸表と報告書は、地区内各クラブ及び国際ロータリーに対して、財務の透明性を保証するものです。年次財務諸表と報告書の作成は地区財務委員会の最も重要な役割です。

5. その他

- ① 将来予想される特別事業の実施に備えるため、特別事業積立預金として必要な資金の準備を行います。
- ② 災害その他のリスクに備えるため、災害対策積立預金等へ適正額の充当ができるように努めます。
- ③ 次年度繰越金は、次年度の運営に支障がでない金額の範囲内とし、剰余金については、将来の支出に備え各積立金会計へ繰り入れます。

一般会計収支計算書

国際ロータリー第2840地区・保坂充勇年度 自2023年7月1日 至2024年6月30日 (単位：円)

	科 目		本年度予算額		本年度決算額		差額
	款	項	款	項	款	項	
収入の部	1. 地区事業資金		7,720,000		6,485,950		1,234,050
		(1) 青少年交換資金		800,000		810,000	△ 10,000
		(2) インターアクト振興資金		2,600,000		1,301,950	1,298,050
		(3) ローターアクト振興資金		1,140,000		1,154,250	△ 14,250
		(4) RYLA活動資金		1,240,000		1,255,500	△ 15,500
		(5) 公共イメージ振興基金		1,440,000		1,458,000	△ 18,000
		(6) 米山記念奨学生振興資金		300,000		303,750	△ 3,750
		(7) 寄付金収入その他		200,000		202,500	△ 2,500
		2. 地区活動資金		25,840,000		26,163,000	△ 323,000
		(1) 地区大会開催資金		9,060,000		9,173,250	△ 113,250
		(2) ガバナー他活動資金		16,780,000		16,989,750	△ 209,750
		3. 地区事務所運営資金等		15,440,000		15,633,000	△ 193,000
		(1) 地区事務所運営・地区積立預金資金		15,440,000		15,633,000	△ 193,000
		4. その他		1,110,000		1,112,010	△ 2,010
		(1) R I助成金		1,100,000		1,101,360	△ 1,360
		(2) 受取利息		9,000		150	8,850
	(3) 雑収入		1,000		10,500	△ 9,500	
	当期収入合計 (A)		50,110,000		49,393,960	716,040	
	前年度繰越収支差額 (※1)		6,724,638		6,724,638	0	
	収入合計 (B)		56,834,638		56,118,598	716,040	
支出の部	1. 地区事業資金		7,520,000		5,424,755		2,095,245
		(1) 青少年交換事業		800,000		377,796	422,204
		(2) インターアクト振興事業		2,600,000		1,282,536	1,317,464
		(3) ローターアクト振興事業		1,140,000		977,087	162,913
		(4) RYLA活動事業		1,240,000		979,904	260,096
		(5) 公共イメージ振興事業		1,440,000		1,518,000	△ 78,000
		(6) 米山記念奨学生親睦事業		300,000		289,432	10,568
		2. 地区活動資金		25,800,000		23,804,460	1,995,540
		(1) ガバナー活動費		18,550,000		16,693,533	1,856,467
		(2) ガバナーエレクト活動費		7,100,000		7,065,927	34,073
		(3) ガバナーノミニー活動費		150,000		45,000	105,000
		3. 地区事務所運営資金		15,432,000		15,620,333	△ 188,333
		(1) 全国組織分担金		1,230,000		1,246,120	△ 16,120
		(2) ガバナー事務所運営費		14,202,000		14,374,213	△ 172,213
		4. 予備費		108,000		0	108,000
		(1) 予備費		108,000		0	108,000
	5. 地区積立預金支出		1,250,000		1,300,000	△ 50,000	
	(1) 規定審議会補助金積立預金支出		250,000		300,000	△ 50,000	
	(2) 災害対策積立預金		1,000,000		1,000,000	0	
	当期支出合計 (C)		50,110,000		46,149,548	3,960,452	
	当期収支差額 (A) - (C)		0		3,244,412	△ 3,244,412	
	次期繰越収支差額		6,724,638		9,969,050	△ 3,244,412	
	合 計		56,834,638		56,118,598	716,040	

一般会計貸借対照表

2024年6月30日 現在

(単位：円)

科目	金額	科目	金額
I. 資産の部		II. 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
## 現金	137,379	## 未払金	1,475,970
## 普通預金	10,972,169	## 仮受金	132,000
## 未収入金	360,035	流動負債合計	1,607,970
## 前渡金	107,437	負債合計	1,607,970
流動資産合計	11,577,020		
2. 固定資産		III. 正味財産の部	
## 基本財産		1. 指定正味財産	0
①第2840地区創立積立拠金	14,301,431	指定正味財産合計	0
基本財産合計	14,301,431	2. 一般正味財産	
## 特定資産		(うち基本財産への充当額)	14,301,431
①リスク管理積立預金	5,009,187	(うち特定資産への充当額)	31,827,362
②災害対策積立預金	14,322,970	繰越収支差額	9,969,050
③特別事業積立拠金	11,895,197	一般正味財産合計	56,097,843
④規定審議会補助金積立預金	600,008	正味財産合計	56,097,843
特定資産合計	31,827,362		
固定資産合計	46,128,793		
資産合計	57,705,813	負債及び正味財産合計	57,705,813

特別会計(積立預金会計)の資金残高

1. 第2840地区創立積立預金会計	14,301,431 円
2. リスク管理積立預金会計	5,009,187 円
3. 災害対策積立預金会計	14,322,970 円
4. 特別事業積立預金会計	11,895,197 円
5. 規定審議会補助金積立預金会計	600,008 円
合計	46,128,793 円

ガバナー事務所管理運営委員会

委員長	森田 高史 (伊勢崎 R C)	委員	後藤 圭一 (桐 生 R C)
副委員長	足立 進 (前橋東 R C)	委員	櫻井 正晴 (安 中 R C)
委員	樋口 哲雄 (高崎北 R C)	委員	<ガバナーノミニー地区幹事>
委員	平田 稔 (高崎北 R C)	担当副幹事	廣神 壮郎 (高崎北 R C)

当地区のガバナー事務所が前橋問屋センター会館内に固定化されてから 12 年が経過いたしました。ガバナー事務局については過年度において一時的に不安定な時期もありましたが、皆様のご協力により、現在は安定的に推移しているところであります。

引き続き、本年度も事務局員に過度な負担が生ずることのないよう、地区委員会やガバナーサイドとの調整を継続し、健全な状態を保持するとともに、事務所運営に発生する諸問題に対処してまいりたいと思います。

1. 雇用契約の相互遵守

(1) 事務局員には契約締結により下記の遵守が求められます。

- ① 定時出勤 [9:30]・定時 [17:30] 退勤 (残業無を目標とします)
- ② 残業・有給取得申請手続きの遵守
- ③ 業務日報の送信

(2) ロータリアンサイドに求められる行動

- ① 本来ロータリアンサイドで行うべき、企画・立案・各種資料の作成などはロータリアンサイドで実施する
- ② 事務局員両名は足掛け 10 年以上の勤務実績があり一定の経験や知見があるので意見を聞いて参考とする
- ③ 書類の印刷等は最低でも稼働日中で中 1 日ないと気がついた点も是正できないので余裕をもって早期に依頼する
- ④ 地区大会を除き休日出勤の要請はしない。
地区大会への出席を要請する場合も、予め休む日を特定し振替休日扱いとする

2. 「ガバナー事務所管理運営規定及びマニュアル」及び「委員会・ガバナー事務局業務分担表 (A)」の活用

2017 年より「ガバナー事務所管理運営規定及びマニュアル」(P.122)が策定され今日まで安定的に運営されてまいりました。同様に、ロータリアンサイドから事務局員への業務の依頼も、後記の「委員会・ガバナー事務局業務分担表 (A)」(P.62)を参考にいただき円滑に推移してまいりました。

また、地区幹事・会計長・地区副幹事と事務局の委員会やセミナーの担当も後記「業務担当表 (B)」(P.123)の通りとさせて頂いております。

引き続き、相互に各種ルールの遵守を真摯に実践することにより、健全な状態を継続したいと考えております。

3. 事務局員相互間における業務ローテーションの実施

現在の2名体制は安定的に推移しているとはいうものの、将来的にリスクがあることは自明のことだと思えます。

幸い、両名とも10年以上となっておりますので殆どの業務に精通していることとは思いますが、一方が不在となった時に不明で困難を来すことのないよう、お互いに精通していない業務分野を相互に担当（ローテーション）することでオールラウンダーを目指して頂き、将来のリスクに備えてまいりたいと思えます。

〔2025-2026(竹中)年度 委員会・ガバナー事務局業務分担表 (A)〕

2025/03/08

		委員会 委員長 副委員長 委員	担当 副幹事	ガバナー	ガバナー 事務局
1	企画案協議	◎	◎	◎	—
2	プログラム・次第作成	◎	○	△	—
3	会場手配	◎	○	—	△ (前橋問屋センター会館のみ)
4	案内文	◎	○	—	—
5	作成	◎	○	—	—
6	案内文	○	○	—	◎
7	配信	○	○	—	◎
8	出席者名簿の作成	◎	○	—	△
9	配布資料の作成	◎	○	△	—
10	配布資料のコピー	○	○	—	◎
11	受付	◎	○	—	—
12	司会・進行	◎	○	—	—
13	議事録作成	◎	○	—	—
14	月信への掲載記事作成	◎	○	—	—
15	月信をHPへUP	○	○	—	◎

◎：主管として担当 ○：副主管として担当 △：必要に応じサポート

地区ラーニング・管理運営委員会

地区ラーニングファシリテーター	委員	<ガバナーノミネー>
委員長 田中 久夫 (高 崎RC)	委員	新井 良和 (伊勢崎RC)
副委員長 森田 高史 (伊勢崎RC)	委員	君島 准逸 (高崎シフォニーRC)
副委員長 中野 正美 (太 田RC)	委員	飯田 知義 (大 泉RC)
委員 森 末廣 (桐 生RC)	委員	津久井 功 (沼 田RC)
委員 三好 建正 (安 中RC)	担当副幹事	堀込 敏彦 (高崎北RC)

1. 当委員会の役割

当委員会の役割は、当年度のガバナーを補佐して、クラブや地区のリーダーに対する「研修」を企画したうえ、その内容はガバナーの意図する目標を達成するために構成され、その実現を支援することです。いわば、委員会の立ち位置はガバナーの参謀役（相談役・助言役）です。

「研修」は、数年前から始められた「トレーニング (training) からラーニング (learning) へ」の変化に対応して、上から目線の教育的対応を改め、参加者を主体（学習者が主体的に学びを進め、深める）とする、講師とのフラット（対等）な学習環境や活動を設定することを目指しています。

2. 地区研修・管理運営委員会の任務

当年度の委員会の任務は、以下の通りです。

- ① （年度開始前に）ガバナーエレクトと協力し、以下のラーニング・ニーズに対応する。
 - i) ガバナー補佐のラーニング（数回）
 - ii) 地区チーム・ラーニングセミナー（2月）
 - iii) 会長エレクト・次年度幹事ラーニングセミナー（3月）
 - iv) ローターアクト指導者育成ラーニングセミナー（4月）
 - v) 地区ラーニング・協議会（5月）
 - vi) クラブ管理運営セミナー（日程未定）
- ② ガバナーと協力し、以下のラーニング・ニーズに対応する。
 - i) 地区リーダーシップ・セミナー（10月・地区大会1日目）
 - ii) クラブ活性化ワークショップ（8月）
 - iii) 新会員セミナー（年度内2回開催を考えています）

3. その他

クラブ活性化につながるクラブ支援も当委員会の重要な役割と考えています。各クラブに置かれた「クラブ・ラーニングファシリテーター」と連携してクラブのラーニング体制を支援し、要請があればラーニング講師の派遣（出前卓話）も行います。

RLI推進委員会

アドバイザー	竹内 正幸 (太 田RC)	委員	田島 敏之 (高崎北RC)
委員長	関口 俊介 (高 崎RC)	委員	木下 康彦 (沼 田RC)
副委員長	原 敬 (伊勢崎RC)	担当副幹事	堀込 敏彦 (高崎北RC)

1. 委員会の使命・役割

将来クラブのリーダーシップを進める事が出来る潜在能力を有するロータリアンを見出し、そのロータリアンに、ボランティア組織にとって重要なリーダーシップ技能と質の高い学びの場を提供すること。

2. 委員会活動の現状認識

RLI (Rotary Leadership Institute; ロータリー・リーダーシップ研究会) は講義形式ではなく、少人数で各人が自由に発言し、互いに気づき合う、学習形式のセミナーです。ファシリテーターの進行で、自分の見解を自由に述べ、他の人の発言から多くを学ぶことができる自発的・能動的なセミナーです。当地区では、次年度の会長・幹事の必須研修となっております。

受講者からは、「ロータリアンを理解する良い機会になった」、「ロータリアンとして一皮むけた」等、好評を得ております。

3. 委員会事業計画

- ① RLI セミナー事務局として、セミナーの企画・運営、ファシリテーターの研修、2840 地区版の RLI カリキュラムの作成を行います。
- ② ファシリテーターの募集を行います。各クラブより最低 1 名の推薦をお願いします。ファシリテーターは、次世代のリーダーと交流ができる貴重な機会を得ることができます。直前会長・パスト会長、RLI セミナー経験者の方々の積極的な参画を期待しております。
- ③ 各クラブにおいて、ファシリテーター及び RLI セミナー経験者を中心に「ロータリー特別行事・各月の月間」等をテーマとして、RLI 方式のディスカッションの開催を支援いたします。

4. 目標

クラブの会長によって推薦された、指導者としての素質を持ったロータリアンに、学びの機会を提供し、そのロータリアンが自主性と卓越した指導性を発揮して、クラブの刷新性と柔軟性を育て、ロータリアンを活性化することです。

新たに、ローターアクトクラブの会長・幹事のセミナーへの参加を促します。

5. タイムスケジュール

5月下旬 (地区協終了後)、RLI 研修ファシリテーター派遣のお願い及び出欠意向確認の配信

6月下旬 RLI 推進委員会開催予定

8月 3日 (日) 13:00～、RLI ファシリテーター研修会 (前橋問屋センター会館)

9月 28日 (日) 9:00～、RLI セミナーPart I (前橋問屋センター会館)

10月 19日 (日) 9:00～、RLI セミナーPart II (前橋問屋センター会館)

11月 9日 (日) 9:00～、RLI セミナーPart III (前橋問屋センター会館)

6. その他 (検討事項)

- ・義務出席者の条件の整理 (受講済みの会員の 2 回目以降の取り扱い)
- ・ファシリテーターの育成とその意義

地区戦略計画委員会

委員長	田中 久夫 (高 崎RC)	委員	竹中 隆 (高崎北RC)
副委員長	保坂 充勇 (沼 田RC)	委員	<ガバナーノミニー>
副委員長	森 末廣 (桐 生RC)	委員	樋口 哲雄 (高崎北RC)
副委員長	三好 建正 (安 中RC)	委員	櫻井 正晴 (安 中RC)
		担当副幹事	高野 由博 (高崎北RC)

1. 委員会活動の現状認識

現在、第4期戦略計画(2023-2026)を推進しています。当地区では2013-2014年度より、3ヵ年ごとに戦略計画を策定(plan)してきましたが、本年度は第4期戦略計画(2023-2026)の最終年となります。当委員会は、戦略計画の推進(do)を行うことを地区・クラブに推奨するとともに、過去3期に亘る計10年間の実績を通じて最終年度の計画実行の仕上げ(check)を行いたいと思います。また、同時に次なる3ヵ年計画の策定準備に着手したいと思っています。

2. 委員会事業計画

① 地区運営における持続可能性のサポート

当委員会は、DGはもちろん、直前DGとともに、これからのガバナー候補者(DGE、DGN、DGND)と地区代表幹事で構成されており、ロータリーの行動計画を推進し、地区運営における継続性を重視すると共に、RI会長マリオ・セザール・カマルゴ氏が強調した「不可欠な3つの柱」(革新・継続性・パートナーシップ)にも対応したいと思っています。

② クラブ戦略計画への支援

またマリオRI会長は、私たちに「Unite for good」(よいことのために手をとりあおう)のメッセージを送り、「ロータリー会員は変化が起こることを待つのではなく、自ら変化を起こす行動人であること」を提唱しています。また、昨年度から始まった「3-year rolling goals」の目標達成(i 地区は純増100人以上、ii 新クラブ創設4~5クラブ)も実現します。そこで当委員会では、地区会員増強委員会とも連携して全43クラブがそれぞれの果たすべき戦略計画を実践し、その目標を達成できるよう支援していきます。そのため各クラブでも、地区同様、戦略計画の検証と定期的な改定を推奨して欲しいと思います。

3. 目標

マリオRI会長は、地区・クラブにおいて「変化」をもたらす方法として、「若い会員を取り入れることだ」と述べています。多くのクラブや会員がこの意味を理解し、実践すれば、「世界を変えることができる」とも断言しています。会員増強はロータリーの最大の目標になるでしょう。

4. タイムスケジュール

各種のセミナーにおいて、クラブ戦略計画の重要性を説き、その効果的な計画実践を推奨します。出来れば、「戦略計画の確認と実践セミナー」と銘打って、各クラブのリーダーの皆さんとクラブの方向性、成長戦略、増強の実践方法などを一緒に考えていきたいと思っています。その際には、皆さんの積極的な参加をお願いします。

地区行動計画推進委員会

委員長	田中 久夫 (高崎RC)	委員	鷹巣 修 (伊勢崎南RC)
副委員長	保坂 充勇 (沼田RC)	委員	関口 朋克 (高崎セントラルRC)
副委員長	森 末廣 (桐生RC)	委員	大谷 恒雄 (太田南RC)
副委員長	三好 建正 (安中RC)	委員	原 精一 (館林ミニアムRC)
委員	竹中 隆 (高崎北RC)	委員	赤井 幸夫 (沼田中央RC)
委員	<ガバナーノミニ>	委員	和田 雅之 (碓氷安中RC)
委員	小磯 正康 (前橋中央RC)		
委員	青山 豊 (桐生西RC)	担当副幹事	高野 由博 (高崎北RC)

I 概要

RI は、昨年度から「Action Plan」(「行動計画」)を推奨し、その実践の旗振り役を「Action Plan Champion」と呼んでいます。そしてその役職者 (Champion) を、世界 34 ゾーンに一人ずつ指名し、また各地区 (世界で約 520 地区) にもその役職者を一人ずつ選任するように推進してきました。

当地区では「地区戦略計画委員会」の委員長がその役職を引き受けることになり、現在、田中 PG がその任に就いています。その後、RI は各クラブにも Champion を一人置くように指示して、短い期間にその効果 (クラブリーダーがクラブの活動を Action Plan に照らし、より時代にあったクラブ作りと奉仕活動の実践ができること) を拡大することを目指しています。そのため当地区でも、各クラブにお願いして Champion 1 名を選任しています。

II 目指すところ

クラブの Action Plan Champion (APC) は、ロータリーの Action Plan について学び、行動を起こすことから始めます。Action Plan は、ロータリーのこれまでの成功を礎とし、ロータリーが今後も成長を続け、人びとをつなぎ、末永く続くインパクトをもたらすための将来の方向性を決めるものです。Action Plan の優先事項の目標についてクラブで話し合い、その結果を基に独自の戦略を立て奉仕プロジェクトに繋げましょう。

III 具体的な行動

まずは、Action Plan (行動計画) の「4つの優先事項」を知ることです。

1. より大きなインパクトをもたらす

- ① インパクトをもたらす奉仕プロジェクトの第一は「ポリオ根絶」です
- ② 地域のニーズ調査を実施する
- ③ 奉仕活動の焦点を定める
- ④ グローバル補助金または地区補助金を活用する
- ⑤ プロジェクトの実施前と実施後に評価を行う

2. 参加者の基盤を広げる

昨年度 RI 会長のアーチック氏は Action Plan を推進することを 24-25 年度の重要な目標としました。国際ロータリーの理事会は活動の継続性を重要な課題と位置づけ、3 年計画の策定を地域、地区、またクラブに推奨しています。これを「3-year rolling goals」と呼んでいます。

- ① クラブの会員増強に加え、地域社会の新しいグループと協力の可能性を探る
- ② 地区で新クラブの設立を検討する
- ③ 説得力のあるストーリーを伝える
- ④ 公共イメージの向上

3. 参加者の積極的なかかわりを促す

- ① 人として、また職業人として重要な価値を現会員に提供することに注力する
- ② ロータリーと関わるすべての人を「参加者」とみなす
- ③ ラーニングセンターを活用する

4. 適応力を高める

- ① 地域社会での新しい活動や奉仕プロジェクトのアイデアを募る
- ② 新しいアイデアを試すため、少額の資金を確保しておく
- ③ クラブ内の役職、手続、タスクについて見直す
- ④ 引継ぎ計画を策定する

IV 今年度の事業計画

まず、クラブの APC の皆さんと一堂に会しての勉強会を開催します。その第一弾としては、5 月 18 日（日）に開催（会場：群馬音楽センター）予定の CLLS・クラブリーダーシップ・ラーニング・セミナー（旧：地区研修・協議会）において、第 2 地域の APC である第 2600 地区 PG 桑澤一郎氏（茅野 RC）をお呼びしての勉強会を行います。その後は、何度かの勉強会を予定しています。クラブの APC の皆さんの積極的な参加をお願いします。

審議会立法案検討委員会

アドバイザー	曾我 隆一（前 橋RC）	委員	鷹巣 修（伊勢崎南RC）
委員長・地区代表議員	本田 博己（前 橋RC）	委員	関口 朋克（高崎セントラルRC）
副委員長・補欠議員	足立 進（前橋東RC）	委員	大谷 恒雄（太田南RC）
委員	中野 正美（太 田RC）	委員	原 精一（館林ミレアムRC）
委員	小磯 正康（前橋中央RC）	委員	赤井 幸夫（沼田中央RC）
委員	青山 豊（桐生西RC）	委員	和田 雅之（碓氷安中RC）
		担当副幹事	井上 智太（高崎北RC）

1. 規定審議会・決議審議会とは

規定審議会は3年に1度、全世界のすべての地区（515地区）より代表議員が参加して米国シカゴで開催されています。

規定審議会は、ロータリーの唯一の立法機関で、組織規定（RI定款・RI細則・標準ロータリークラブ定款）を改定する制定案が審議され、採択されれば、規定審議会後の7月より有効となります。（規定審議会の決定を反映した『手続要覧』が3年に1度発行されています。

決議審議会は2017年から始まりました。毎年10月中旬から11月上旬にかけてWEB（オンライン）で地区代表議員が各地から提出された決議案の採否を投票します。

決議案は、組織規定の改定を伴わない、RI理事会や財団管理委員会に対する意見表明や検討要請を行う提案です。

審議会の意義は、クラブや地区がRIの様々な課題に対して、提案や意見表明ができることです。特に、規定審議会で制定案が採択されれば、組織規定が改定されます。つまり、私たちの意思でロータリーは変えることができるのです。RLIセミナーのカリキュラムには「規定審議会・決議審議会」のセッションがあり（パートⅢ）審議会についてより深く学ぶ機会が用意されています。多くのクラブから審議会に対する提案が増えることを期待します。

2. 委員会の役割

本委員会の役割は、クラブまたは本委員会（地区）から提案された制定案と決議案を審議し、地区として審議会に提出する制定案・決議案を取りまとめることです。本委員会で取りまとめられた制定案・決議案は、それぞれのRIへの提出期限に間に合うよう、地区大会や地区研修・協議会等に上程され、地区承認として決議されます。

本委員会の委員長は審議会地区代表議員が、副委員長は補欠議員が務めます。地区代表議員・補欠議員の任期は3年です。（今回の任期は2023年7月～2026年6月まで）委員は毎年度各ガバナー補佐にお願いしています。

3. 委員会事業計画 <2025-2026年度の日程>

- ① 2025年規定審議会の結果（2025年7月1日より有効の組織規程の改定情報）を地区内クラブに周知します。（ガバナー月信に連載予定）
- ② 2025年決議審議会：2025年10月～11月（オンラインで投票）結果は地区内クラブに報告します。
- ③ 2026年の決議審議会上程の決議案を審議し、2026年6月末までにRIに提出します。

危機管理委員会

委員長	森田 均 (渋川RC)	委員	小澤 健一 (高崎RC)
副委員長	足立 進 (前橋東RC)	委員	荻原 靖規 (太田RC)
委員	新井 聡 (前橋西RC)	委員	矢内 良春 (伊勢崎南RC)
委員	関口 知義 (前橋RC)	担当副幹事	井上 智太 (高崎北RC)

1. 委員会活動の現状認識

もともと当委員会は、国際ロータリーの重要な国際プログラムの1つ「青少年交換プログラム」等において、当事者である青少年が、事件、事故あるいはハラスメントの被害を蒙り、トラブルが生起することを回避するため、組織されたものである。

然しながら当委員会の権能は、昨今、同種プログラムである「米山奨学制度」にも準用されるようになり、更には「ロータリー及びロータリアンのための危機管理」にまで、拡大解釈されてアップデート化している。

2. 委員会事業計画

- ① ガバナー及び地区青少年関係委員会等に対し、必要な提言を行うこと
- ② 青少年に対するセクシャルハラスメント及びアビュースの防止に関する研修を行うこと
- ③ 事故発生時の事実関係の調査
- ④ ③を踏まえ、ガバナー及び地区青少年関係委員会等に対し、対策案を作成し、必要な提言を行うこと
- ⑤ 地区レベルあるいは地区内ロータリークラブレベルでの「ロータリー及びロータリアンのための危機管理」セミナーの実施

3. 目標

地区、地区内各ロータリークラブあるいはロータリアンに対し、青少年交換プログラム及び同種のプログラムにおける事件、事故あるいはハラスメントの被害等を回避するための危機管理意識の啓発を積極的に行うとともに、拡大解釈された権能を活用して「ロータリー及びロータリアンのための危機管理」の周知徹底を行いたい。

4. タイムスケジュール

現時点では、未定。

5. 実績データ

- ① 2007年、地区大会終了後の懇親会場における留学生に対するセクシャルハラスメント事案に関し対応。
- ② 2011年、東日本大震災後の交換留学生の早期帰国の問題に関し対応。
- ③ 2016年、危機管理の概念を拡大し、地区レベルでの危機管理セミナーを実施。
- ④ 2018年、地区指導者育成セミナーにおいて「ロータリアンのための危機管理」の講演
- ⑤ 2020年、地区に対し、新型コロナウイルス蔓延防止に関する提言。
- ⑥ 2020年、災害復興支援義捐(援)金の捻出及び提供方法について提言。
- ⑦ 2023年、地区レベルでの「危機管理セミナー」を実施。
- ⑧ 2024年、インターアクト台湾国際交流における危機管理の勉強会
- ⑨ その他、各ロータリークラブにおける「危機管理」に関する卓話多数。

ロータリーの友地区委員会

委員長 関 真一 (沼 田RC)

委 員 樋口 哲雄 (高崎北RC)

副委員長 後藤 圭一 (桐 生RC)

担当副幹事 小池 達哉 (高崎北RC)

1. 委員会の使命・役割

ロータリーの友地区代表委員は、地区ガバナーに任命された「ロータリーの友委員会」の構成員であり、『ロータリーの友』誌に関するガバナーの代理者として、紙面づくりに携わる。委員会としては、会員に『ロータリーの友』誌の理解を深めいただき、購読してもらえる編集と取材に協力するとともに、地区内クラブと『ロータリーの友』誌の懸け橋となるように活動する。

2. 委員会活動の現状認識

『ロータリーの友』誌の購読は、ロータリアンの義務にもなっているため、読書率の向上を図るとともに地区内の情報収集と投稿に努め、それに基づく編集部の取材に協力する。また、『ロータリーの友』誌及びロータリーの友のウェブサイト及びその他の刊行物についての有効な活用を促す取り組みを行う。

3. 委員会事業計画

- ・地区および地区内クラブの情報収集と、『ロータリーの友』誌への投稿をクラブに促す。
- ・『ロータリーの友』誌への理解を深めていただき、読書率の向上、活用推進をクラブに促す。
- ・ガバナー月信を通じて『ロータリーの友』誌に関する情報を積極的にクラブに発信する。
- ・編集部および他地区の友代表委員と情報交換を積極的に行い委員会活動に活かす。
- ・毎月発行の『ロータリーの友』誌について、意見や感想をレポートとして編集部に提出する。

4. 目標

- ・『ロータリーの友』誌の翌月号目次を各クラブに事前に配信し読書率の向上に努める。
- ・ガバナー月信に『ロータリーの友』誌の投稿依頼文を掲載する。
- ・ロータリーアクターにもできる限り『ロータリーの友』誌の購読をお願いする。
- ・『ロータリーの友』誌をロータリアン以外の方にロータリーを知っていただくためのツールとして、有効活用するようクラブに働きかけ公共イメージの向上を目指す。

5. タイムスケジュール

2025年 3月19日(水)	2025-26年度地区代表委員オリエンテーション
2025年 7月 1日(火)	友委員会合同会議・地区代表委員会議 2025-26年度ガバナー・「友」委員会・法人合同会議
2025年 11月13日(木)	友委員会合同会議・地区代表委員会議
2026年 3月19日(木)	友委員会合同会議・地区代表委員会議

*地区内のロータリーの友委員会は上記会議を受けて適宜開催する。

ロータリー財団監査委員会

委員長 中野 正美（太 田RC）

副委員長 清水 英也（高崎東RC）

財団資金の運用は公明で公正に行われなければなりません。ロータリー財団委員会の中には資金管理委員会がありますが、当委員会はロータリー財団委員会の外からの監査機能を果たしてまいりたいと思います。

地区補助金等の資金使途や方法について、ロータリー財団委員会の相談に乗ると共に適切なアドバイスをしてゆきたいと思います。

ロータリー財団委員会

アドバイザー 森田 高史（伊勢崎RC）

委員 唐沢 健二（中之条RC）

委員長 小林 洋樹（前 橋RC）

委員 石川 好男（太 田RC）

副委員長 石井 英智（前橋南RC）

委員 小林 匡美（高崎南RC）

委員 水石 清治（沼 田RC）

委員 片桐 正人（前 橋RAC）

委員 金井 利明（伊勢崎中央RC）

担当副幹事 堤 謙治（高崎北RC）

1. 委員会の使命・役割

ロータリー財団は、ロータリアンからの寄付で支えられ、ロータリアンが特定したプロジェクトに資金を提供する唯一の団体です。ロータリアンは様々な方法で人々への奉仕を行います。ロータリー財団はロータリアンが行う奉仕を支えています。

2. 委員会活動の現状認識

- ・地区内クラブの更なる活性化に役立つよう、補助金は最大限利用に従事する。
- ・プロジェクトの資金源である財団寄付への理解を深めて頂き、更なる増進を図る。
- ・各クラブの積極的な奉仕活動を共有し、併せて公共イメージの向上を目指す。
- ・財団委員会はクラブ目線での親切な対応に努める。

3. 委員会事業計画

- ・ローターアクトクラブでの単独地区補助金事業へのバックアップ
- ・世界ポリオデー（WPD）の推進
- ・補助金の活用の促進
- ・ロータリー平和フェローシップの推進

4. 目標

- ① 年次寄付 一人当たり 150ドル以上
- ② ポリオ・プラス 一人当たり 30ドル以上
- ③ ローターアクトクラブ 1クラブ当たり 100ドル以上
- ④ 地区内多くのロータリークラブ及びローターアクトクラブに地区補助金を活用した奉仕活動を行って頂き、クラブの活性化と地域でのロータリークラブの存在感を高めて頂く。
クラブの事情を考慮し、無理な地区補助金申請は求めない。
- ⑤ 財団委員会はクラブで決定した事業を尊重し、その事業が実行できるように申請と報告の手続きを全力でサポートする。
- ⑥ 地区補助金 Web 申請・報告システムを更に使いやすくなるよう改善して行く。
- ⑦ ローターアクト単独での地区補助金申請を検討する。
- ⑧ グローバル補助金を出来るだけ多くのクラブに申請して頂き、地区活動資金と国際活動資金を活用して頂ける様にサポートする。また、日本人留学生の為のグローバル奨学金の申請をサポートしていく。
- ⑨ 補助金管理セミナーの開催時期と内容の決定。

5. タイムスケジュール

2025年

7月26日(土) ローター財団合同会議

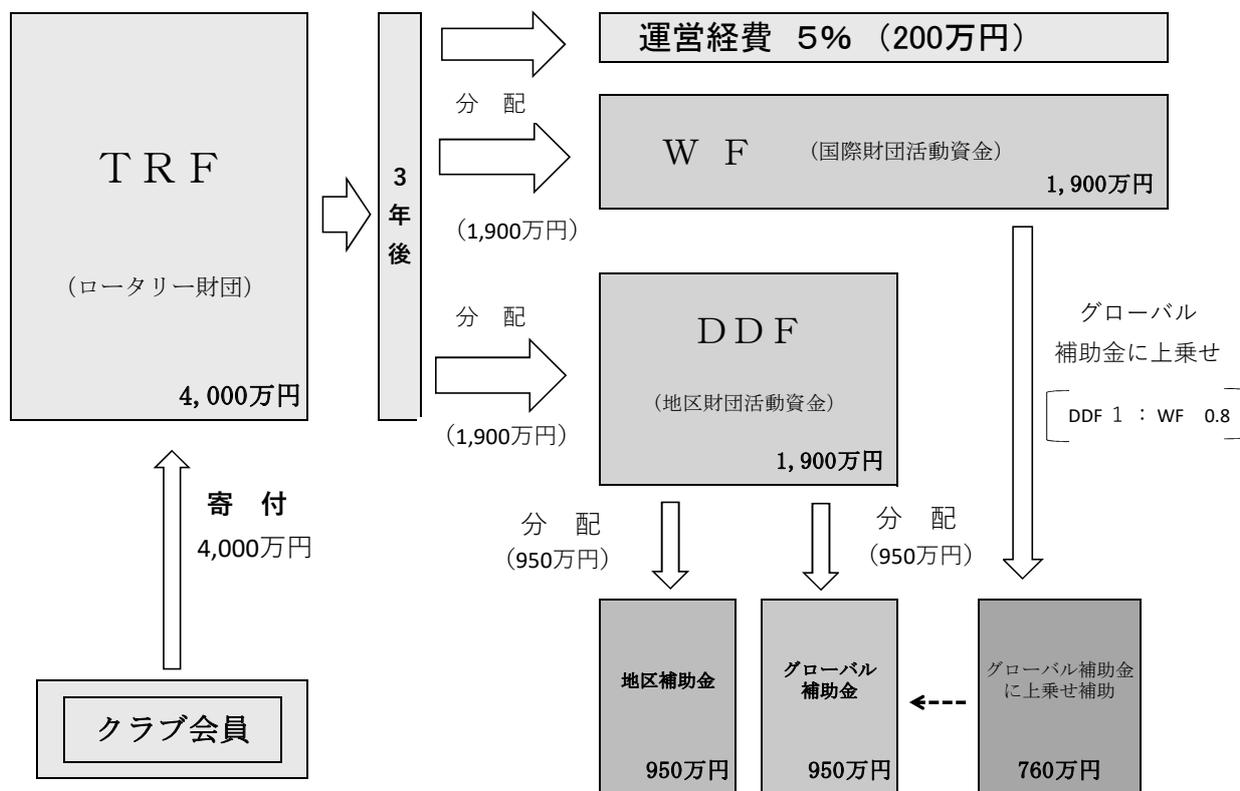
会議：13:30～15:00 前橋問屋センター会館

9月13日(土) 補助金管理セミナー

セミナー：13:00～17:00 前橋問屋センター会館

※補助金管理セミナーの出席は補助金申請の必須条件になります。

『2840地区 年次寄付・補助金サイクル図』



(注) 上記の金額は簡略化するため、概算額としています

※TRF(The Rotary Foundation)ロータリー財団

正式名称は、「国際ロータリーのロータリー財団」ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることが使命。

※シェア・システム(Share System)

年次基金寄付と恒久基金収益の47.5%が地区財団活動資金(DDF)となり、47.5%が国際財団活動資金(WF)となる。

※WF(World Fund)国際財団活動資金

年次寄付と恒久基金収益の47.5%がシェア・システムの下で国際財団活動資金(WF)に充てられる。ロータリー財団管理委員会が、その用途を決定する。

※DDF(District Designated Fund)地区財団活動資金

3年前の年次寄付と恒久基金収益の47.5%相当額が地区財団活動資金として配分される。地区が裁量権を有し、その用途を決定する。

『2025-2026年度DDF収支予算』

2025-2026年度(竹中年度)地区財団活動資金(DDF)収支予算

(単位：ドル)

「収入」

I. 2025-2026年度配分額		
2022-2023年度(中野年度)シェア指定寄付額	319,767.33	
2022-2023年度恒久基金収益分配額 (2025.10確定予定のため0としています)	0	
小 計	319,767.33	
上記の47.5%相当額 (地区活動資金)		151,889.48
II. 前年度繰越額		
2020-2021年度(山田年度)繰越DDF ※0	4,267.00	5年目
2021-2022年度(足立年度)繰越DDF ※1	0.00	4年目
2022-2023年度(中野年度)繰越DDF	50,466.80	3年目
2023-2024年度(保坂年度)繰越DDF	13,984.81	2年目
2024-2025年度(森 年度)繰越予定のDDF	112,170.62	1年目
		180,889.23 ※1
収入合計		332,778.71

※1 (2025.6.30の残高は未経過で未確定のため、2025.4.1現在の繰越推定額を採用しています)

「支出」

I. 地区補助金 (DDF 151,889.48 ÷ 2)	75,944.74	
II. グローバル補助金	75,944.74	
III. ポリオプラス基金	20,000.00	
IV. 平和フェロシップ	10,000.00	
支出合計		181,889.48
使用するDDF		
2025-2026年度分配DDF	151,889.48	
2020-2021年度(山田年度)繰越DDF	4,267.00	
2022-2023年度(中野年度)繰越DDFから	25,733.00	
使用するDDF合計		181,889.48

「次年度繰越予定額」		
2025-2026年度分配DDF残高	0	
2020-2021年度(山田年度)分繰越DDF残高	0	
2022-2023年度(中野年度)分繰越DDF残高	24,733.80	
2023-2024年度(保坂年度)繰越DDF	13,984.81	
2024-2025年度(森 年度)繰越予定のDDF	112,170.62	
次年度繰越予定額		150,889.23

(次年度繰越予定額は、現時点で2025.6.30の前年度繰越額が確定していないため、暫定予定額となっています)

(2025.4.1現在)

地区財団活動資金(DDF) 収支実績表

(単位: ドル)

		2022-2023 (中野年度)	2023-2024 (保坂年度)	2024-2025 (森年度)	2025-2026 (竹中年度)	2026-2027 (三好年度)
地区 活動 収入	前年度繰越額 ①	36,199.14	86,734.21	100,718.61	80,170.62	未定
	配 分 取 入					
	当年度配分額 ②	181,554.80	195,054.09	155,153.43	151,889.48	145,247.30
	恒久基金取 益配分額 ③	9,163.00	8,507.09	9,378.58	未定	
	配分取入合計 ④ (②+③)	今年度の DDF 190,717.80	今年度の DDF 203,561.18	今年度の DDF 164,532.01	151,889.48	0.00
収入合計	226,916.94	290,295.39	265,250.62	232,060.10	0.00	
地区 活動 支出	地区補助金 ⑤	DG2335358 94,832.00	DG2446879 99,854.00	DG2563399 81,830.00		
	(プロジェクト件数)	45クラブ (39件)	45クラブ (43件)	45クラブ (43件)	43クラブ (43件)	
	同上返却金	DG2225909 △ 2,834.12		0.00		
	⑥	DG2335358 △ 1,814.01		0.00		
	グローバル補助金 ⑦	0.00	89,722.00	71,250.00		
	(実施国、クラブ名、 金額)		GG2454110 桐生 18,722	GG2459787 大泉 10,250		
			GG2350499 太田・ 取消 0	GG2465040 高崎 30,000		
			GG2454078 桐生西 16,000	伊勢崎中 GG2458451 央・保留 30,000 中		
			奨学金 GG2461207 沼田 30,000	高崎セン GG2462691 トラル・ 1,000 保留中		
			GG2458451 伊勢崎 中央 156,000			
			GG2457241 沼田 25,000			
	ポリオプラス ⑧	20,000	0	32,000		
	ロータリー平和セ ンター基金拠出 ⑨	10,000	0	0		
	ロータリー災害救 援基金 ⑩				0	
		トルコ地区 RID2430 へ の寄贈 20,000			0	
支出合計⑪ (⑤~⑩)	140,183.87	189,576.00	185,080.00			
次年度繰越額 ⑫ (①+④-⑪)	86,733.07	100,719.39	予定額 80,170.62			

	2019~2020 (森田年度)	2020~2021 (山田年度)	2021~2022 (足立年度)	2022~2023 (中野年度)	2023~2024 (保坂年度)
年次寄付実績	365,073.14	381,184.75	350,943.02	326,464.08	

(2025.4.1現在)

①319,767.33(中野年度シェア指定寄付実績) × 47.5% ≒ 151,889.48

②竹中年度地区補助金申請限度額 (151889.48 × 50%) = 75,944.74

③グローバル補助金申請可能額 75,944.74

ポリオプラス・資金推進委員会

委員長	水石 清治 (沼 田 R C)	委 員	隅谷 智 (群馬境 R C)
副委員長	町田 久 (渋 川 R C)	委 員	柳生 由幸 (碓氷安中 R C)
		担当副幹事	橋谷 晋治 (高崎北 R C)

1. 委員会の使命・役割

インド地域、アフリカ地域で野生型ポリオウィルスが根絶され、現在野生型ポリオウィルスが根絶できていない地域はアフガニスタン、パキスタンの2ヶ国です。一度根絶された地域でも、ポリオワクチンを投与された子供のうち100万人に2~3人の割合でポリオを発症します。ワクチン由来のポリオを防ぐには、不活化ワクチンの注射が必要ですが、この行為は現在流行している地域ではなかなか難しい事です。又、中東ガザ地区で流行中のポリオが、野生型ウィルスなのか、人由来のウィルスなのかはわかりませんが、この地域でのワクチン投与も非常に困難だと思います。昨年度、ポリオ発症数は95件(実質はその数倍)と報告されています。WHO(世界保健機構)は、仮に今ポリオワクチンの投与を中断すると、飛行機を媒介してあっという間に20万の症例が発症すると発表しています。

以上、今現在のポリオ発症の状況を認識し、引き続き質の高い予防接種キャンペーンを行います。

資金推進については地区の設定した寄付目標に従い、その金額を達成できるように支援活動を行います。

2. 委員会事業計画

- ① ポリオプラス基金寄付「一人30ドル以上」の依頼。
- ② 各クラブへポリオプラスの広報及び出前卓話を行う。
- ③ ポリオプラス募金活動を積極的に行う。
- ④ ポリオプラスソサエティー登録依頼。
- ⑤ 世界ポリオデーにあわせたクラブ事業、分区事業の実施依頼。
- ⑥ ポリオフォトコンテストへの出品依頼。
- ⑦ ブランドリソースセンターの動画を活用したクラブ例会での啓発。

3. 目標

- ・ポリオプラス寄付 30ドル以上依頼
- ・財団寄付 150ドル以上依頼
- ・ポリオプラスソサエティー 新規登録50人以上
- ・大口寄付者(メジャードナー)を地区5名以上
- ・恒久基金への寄付について理解していただき、ベネファクターまたは遺贈友の会の会員を地区で10名以上にする
- ・寄付実績の広報を実施し、記録を行う

ポリオプラス寄付実績表(過去4ヵ年)

クラブ名	2023-24年度		2022-23年度	2021-22年度	2020-21年度
	個人平均額	総額	総額	総額	総額
District 2840		\$0.00	\$4,818.38	\$6,135.68	\$0.00
前橋	\$29.53	\$3,366.96	\$2,719.70	\$3,200.99	\$5,235.26
前橋西	\$30.00	\$1,890.00	\$1,411.84	\$1,639.26	\$1,702.15
前橋東	\$33.68	\$1,313.71	\$1,371.14	\$1,903.30	\$2,993.82
前橋北	\$35.66	\$2,781.45	\$2,891.45	\$2,740.86	\$2,962.46
前橋南	\$31.90	\$1,690.62	\$1,703.42	\$1,228.53	\$1,154.53
前橋中央	\$28.56	\$571.29	\$478.05	\$549.80	\$641.76
桐生	\$31.48	\$2,203.42	\$2,136.76	\$2,005.71	\$1,958.87
桐生南	\$15.92	\$605.12	\$683.20	\$287.40	\$482.56
桐生西	\$31.43	\$1,603.00	\$1,668.76	\$1,717.00	\$1,696.00
桐生赤城	\$36.11	\$1,552.93	\$1,777.57	\$1,147.13	\$1,351.42
伊勢崎	\$31.29	\$2,472.13	\$2,286.00	\$1,929.21	\$2,358.74
群馬境	\$31.64	\$822.74	\$780.00	\$690.00	\$690.00
伊勢崎中央	\$31.72	\$2,949.93	\$2,760.05	\$2,850.00	\$3,000.00
伊勢崎南	\$31.97	\$863.15	\$718.76	\$918.87	\$1,022.62
伊勢崎東	\$53.04	\$1,856.42	\$1,825.10	\$371.61	\$1,467.89
高崎	\$29.36	\$3,934.73	\$5,343.43	\$5,150.19	\$6,793.47
高崎南	\$24.48	\$1,713.46	\$1,695.72	\$1,452.90	\$1,571.35
高崎北	\$44.77	\$2,954.90	\$2,111.35	\$2,296.99	\$2,399.25
高崎東	\$30.26	\$786.71	\$930.00	\$1,020.00	\$1,110.00
高崎シンフォニー	\$30.67	\$1,380.00	\$1,350.00	\$1,470.00	\$1,560.00
高崎セントラル	\$31.51	\$945.17	\$1,012.81	\$1,208.79	\$1,179.07
太田	\$34.51	\$2,174.01	\$2,411.71	\$2,290.16	\$2,625.62
太田西	\$27.69	\$360.00	\$420.00	\$506.16	\$514.76
太田南	\$32.00	\$1,408.06	\$1,211.40	\$1,430.21	\$1,650.09
新田	\$1.82	\$40.00	\$50.00	\$50.00	\$240.00
太田中央	\$33.57	\$1,410.00	\$1,330.00	\$1,400.00	\$1,590.00
館林	\$30.59	\$1,743.55	\$1,783.52	\$1,755.38	\$1,868.70
大泉	\$50.43	\$1,311.17	\$1,162.84	\$1,853.46	\$1,930.00
館林西	\$30.00	\$420.00	\$480.00	\$510.00	\$510.00
館林東	\$33.75	\$270.00	\$300.00	\$330.00	\$390.00
館林ミレニアム	\$32.14	\$900.00	\$870.00	\$900.00	\$890.00
渋川	\$31.99	\$1,759.24	\$1,826.66	\$2,163.41	\$1,698.35
沼田	\$40.82	\$2,857.68	\$2,786.37	\$2,990.29	\$4,712.87
草津	\$6.25	\$50.00	\$0.00	\$15.30	\$420.00
中之条	\$30.00	\$630.00	\$600.00	\$630.00	\$630.00
沼田中央	\$23.81	\$1,023.66	\$1,003.51	\$1,200.00	\$1,273.39
渋川みどり	\$12.90	\$529.05	\$621.23	\$708.19	\$734.00
富岡	\$26.15	\$1,020.00	\$1,020.00	\$1,030.00	\$1,130.00
藤岡	\$28.84	\$1,326.71	\$1,460.28	\$1,567.69	\$1,440.00
安中	\$30.95	\$1,950.01	\$1,940.27	\$1,853.07	\$1,848.35
藤岡北	\$17.52	\$140.13	\$150.00	\$165.38	\$211.74
富岡中央	\$32.46	\$1,201.18	\$1,260.11	\$1,237.01	\$1,182.84
藤岡南	\$25.68	\$205.46	\$282.58	\$303.10	\$288.35
碓氷安中	\$22.47	\$516.71	\$673.51	\$570.00	\$630.00
富岡かぶら	\$32.75	\$785.98	\$867.58	\$855.38	\$930.00
Total	\$31.10	\$62,297.15	\$66,985.06	\$68,228.41	\$74,488.47
2840地区DDFより		\$0.00	\$20,000	\$20,000	\$20,000

2023-2024年度 年次寄付・使途指定寄付・恒久基金 クラブ別実績表

区分	クラブ名	会員数	年次基金 目標額	年次基金 累計額	目標達成度 (%)	年次基金 (一人当たり)	ポリオプラス 基金	その他の 基金累計額	恒久基金 累計額	合 計
		①	②	③	④(③/②)	⑤(③/①)	⑥	⑦	⑧	⑨(③+⑥+⑦+⑧)
第1 分区	前 橋	114	\$16,500.00	\$17,044.49	103%	\$149.51	\$3,366.96	\$0.00	\$10,067.11	\$30,478.56
	前 橋 西	63	\$9,450.00	\$7,632.66	81%	\$121.15	\$1,890.00	\$0.00	\$0.00	\$9,522.66
	前 橋 東	39	\$5,850.00	\$9,743.47	167%	\$249.83	\$1,313.71	\$0.00	\$0.00	\$11,057.18
	前 橋 北	78	\$11,700.00	\$13,285.63	114%	\$170.33	\$2,781.45	\$0.00	\$0.00	\$16,067.08
	前 橋 南	53	\$7,950.00	\$7,730.57	97%	\$145.86	\$1,690.62	\$0.00	\$0.00	\$9,421.19
	前 橋 中央	20	\$3,000.00	\$3,345.28	112%	\$167.26	\$571.29	\$0.00	\$0.00	\$3,916.57
分 区 小 計	367	\$9,075.00	\$9,797.02	108%	\$167.33	\$1,935.67	\$0.00	\$10,067.11	\$80,463.24	
第2 分区 A	桐 生	70	\$10,500.00	\$18,000.00	171%	\$257.14	\$2,203.42	\$0.00	\$0.00	\$20,203.42
	桐 生 南	38	\$5,700.00	\$3,741.98	66%	\$98.47	\$605.12	\$0.00	\$0.00	\$4,347.10
	桐 生 西	51	\$7,500.00	\$8,584.00	114%	\$168.31	\$1,603.00	\$0.00	\$612.00	\$10,799.00
	桐 生 赤 城	43	\$6,300.00	\$5,522.63	88%	\$128.43	\$1,552.93	\$68.97	\$0.00	\$7,144.53
分 区 小 計	202	\$7,500.00	\$8,962.15	119%	\$163.09	\$1,491.12	\$17.24	\$612.00	\$42,494.05	
第2 分区 B	伊 勢 崎	79	\$11,550.00	\$13,814.00	120%	\$174.86	\$2,472.13	\$0.00	\$0.00	\$16,286.13
	群 馬 境	26	\$3,900.00	\$4,128.00	106%	\$158.77	\$822.74	\$0.00	\$0.00	\$4,950.74
	伊勢崎中央	93	\$9,870.00	\$16,289.03	165%	\$175.15	\$2,949.93	\$0.00	\$0.00	\$19,238.96
	伊勢崎南	27	\$4,050.00	\$3,089.53	76%	\$114.43	\$863.15	\$0.00	\$0.00	\$3,952.68
	伊勢崎東	35	\$5,250.00	\$2,565.40	49%	\$73.30	\$1,856.42	\$0.00	\$1,020.41	\$5,442.23
分 区 小 計	260	\$6,924.00	\$7,977.19	115%	\$139.30	\$1,792.87	\$0.00	\$1,020.41	\$49,870.74	
第3 分区	高 崎	134	\$20,100.00	\$22,797.37	113%	\$170.13	\$3,934.73	\$340.14	\$0.00	\$27,072.24
	高 崎 南	70	\$10,500.00	\$7,333.34	70%	\$104.76	\$1,713.46	\$0.00	\$0.00	\$9,046.80
	高 崎 北	66	\$9,900.00	\$2,619.58	26%	\$39.69	\$2,954.90	\$0.00	\$0.00	\$5,574.48
	高 崎 東	26	\$3,900.00	\$4,720.44	121%	\$181.56	\$786.71	\$0.00	\$0.00	\$5,507.15
	高崎シブフォー	45	\$6,900.00	\$7,464.55	108%	\$165.88	\$1,380.00	\$0.00	\$1,000.00	\$9,844.55
	高崎セントラル	30	\$4,500.00	\$4,764.07	106%	\$158.80	\$945.17	\$0.00	\$0.00	\$5,709.24
分 区 小 計	371	\$9,300.00	\$8,283.23	89%	\$136.80	\$1,952.50	\$56.69	\$1,000.00	\$62,754.46	
第4 分区 A	太 田	63	\$10,000.00	\$12,237.91	122%	\$194.25	\$2,174.01	\$0.00	\$0.00	\$14,411.92
	太 田 西	13	\$1,950.00	\$2,220.00	114%	\$170.77	\$360.00	\$0.00	\$0.00	\$2,580.00
	太 田 南	44	\$6,600.00	\$6,544.23	99%	\$148.73	\$1,408.06	\$0.00	\$0.00	\$7,952.29
	新 田	22	\$3,300.00	\$100.00	3%	\$4.55	\$40.00	\$2,290.00	\$0.00	\$2,430.00
	太 田 中央	42	\$6,300.00	\$7,000.00	111%	\$166.67	\$1,410.00	\$0.00	\$0.00	\$8,410.00
分 区 小 計	184	\$5,630.00	\$5,620.43	100%	\$136.99	\$1,078.41	\$458.00	\$0.00	\$35,784.21	
第4 分区 B	館 林	57	\$8,850.00	\$9,413.93	106%	\$165.16	\$1,743.55	\$0.00	\$0.00	\$11,157.48
	大 泉	26	\$3,900.00	\$3,904.04	100%	\$150.16	\$1,311.17	\$0.00	\$70.49	\$5,285.70
	館 林 西	14	\$2,100.00	\$2,100.00	100%	\$150.00	\$420.00	\$0.00	\$0.00	\$2,520.00
	館 林 東	8	\$1,200.00	\$2,350.00	196%	\$293.75	\$270.00	\$0.00	\$0.00	\$2,620.00
	館林ミレニアム	28	\$4,200.00	\$4,500.00	107%	\$160.71	\$900.00	\$0.00	\$0.00	\$5,400.00
分 区 小 計	133	\$4,050.00	\$4,453.59	110%	\$183.96	\$928.94	\$0.00	\$70.49	\$26,983.18	
第5 分区	渋 川	55	\$8,250.00	\$9,129.19	111%	\$165.99	\$1,759.24	\$0.00	\$0.00	\$10,888.43
	沼 田	70	\$10,500.00	\$13,356.71	127%	\$190.81	\$2,857.68	\$0.00	\$0.00	\$16,214.39
	草津温泉	8	\$1,200.00	\$180.01	15%	\$22.50	\$50.00	\$0.00	\$0.00	\$230.01
	中 之 条	21	\$3,150.00	\$3,150.00	100%	\$150.00	\$630.00	\$0.00	\$0.00	\$3,780.00
	沼田中央	43	\$6,450.00	\$5,169.36	80%	\$120.22	\$1,023.66	\$0.00	\$0.00	\$6,193.02
	渋川みどり	41	\$6,150.00	\$3,423.97	56%	\$83.51	\$529.05	\$0.00	\$0.00	\$3,953.02
分 区 小 計	238	\$5,950.00	\$5,734.87	96%	\$122.17	\$1,141.61	\$0.00	\$0.00	\$41,258.87	
第6 分区	富 岡	39	\$5,850.00	\$6,000.00	103%	\$153.85	\$1,020.00	\$0.00	\$0.00	\$7,020.00
	藤 岡	46	\$6,900.00	\$7,450.00	108%	\$161.96	\$1,326.71	\$0.00	\$0.00	\$8,776.71
	安 中	63	\$9,750.00	\$10,064.97	103%	\$159.76	\$1,950.01	\$0.00	\$0.00	\$12,014.98
	藤 岡 北	8	\$750.00	\$657.06	88%	\$82.13	\$140.13	\$0.00	\$0.00	\$797.19
	富岡中央	37	\$5,550.00	\$6,387.83	115%	\$172.64	\$1,201.18	\$0.00	\$0.00	\$7,589.01
	碓氷安中	8	\$1,200.00	\$753.37	63%	\$94.17	\$205.46	\$0.00	\$0.00	\$958.83
	藤 岡 南	23	\$3,450.00	\$2,560.21	74%	\$111.31	\$516.71	\$0.00	\$0.00	\$3,076.92
	富岡かぶら	24	\$3,600.00	\$1,640.73	46%	\$68.36	\$785.98	\$0.00	\$0.00	\$2,426.71
分 区 小 計	248	\$4,631.25	\$4,439.27	96%	\$125.52	\$893.27	\$0.00	\$0.00	\$42,660.35	
District 2840		\$0.00	\$1,342.28	0%	\$0.00	\$0.00	\$0.00	\$0.00	\$1,342.28	
合計 2840	2,003	\$224,620.00	\$305,851.82	136.16%	\$152.70	\$62,297.15	\$2,699.11	\$12,770.01	\$383,618.09	

資金管理・平和フェローシップ委員会

委員長	金井 利明（伊勢崎中央RC）	署名人	町田 久（渋川RC）
副委員長	上柿 敬一（伊勢崎中央RC）	署名人	隅谷 智（群馬境RC）
副委員長	福島 敬仁（伊勢崎南RC）	担当副幹事	小林 晴彦（高崎北RC）

1. 委員会の使命・役割

当委員会は、ロータリー財団への寄付が財源となり各種補助金事業を実施する際の資金使用方法を管理すると共に、世界に7か所あるロータリー平和センターへの候補者の募集、支援、推薦における責任を有する委員会です。

2. 委員会活動の現状認識

補助金事業実施に際しての資金管理の役割は、各クラブに十分理解され、成果を上げています。しかし、平和フェローシップの事業、ロータリー平和センターについては、会員にはほとんど認識されていません。

3. 委員会事業計画

ロータリー財団の「未来の夢計画」が始まってから13年となります。当初の目的であるロータリアンが行いたい奉仕活動を支える資金として是非今年度も活用してください。また、申請書・報告書が以前とは変更されておりますので、確認していただき計画をお願いします。本プロジェクトは地区内で一括申請・一括報告となっており、スケジュールもかなりタイトな面もありますが、クラブで奉仕内容を決定出来る計画ですので、各クラブ会長・ロータリー財団委員長におかれましては、ロータリー財団ハンドブック年度ダイジェスト版を良く確認していただき、内容に則した申請・報告をお願い致します。

平和は「人」から始まると考えるロータリーは、平和フェローシップ（奨学金）を通じて、世界平和と紛争予防の担い手となる人材を育て、平和推進者のネットワークを築いています。世界には「修士号取得プログラム」を学ぶ5つのロータリー平和センター（6校の提携大学）と、2校の「専門修了証取得プログラム」提携大学があり、毎年世界中から130名が世界中から競争選考されています。（修士号50名・専門能力80名）その1つが三鷹の国際基督教大学にあり、日本では近隣6地区（ホストエリア）と協力して援助しています。当地区では全く馴染みの薄いプログラムですが、地区内の広報を広げてゆきたいと考えております。そして、地区内最初の平和フェローを推薦するための活動を進めてまいります。

4. 目標

- ・補助金事業の申請・報告等の手続きの管理の厳格化の徹底を図ります。
- ・平和フェローシップ、ロータリー平和センターの意義、活動をクラブに向け広報します。
- ・平和フェローシップ奨学生の候補を発掘できるよう、クラブに働きかけます。

地区補助金委員会

委員長	唐沢 健二	(中之条RC)	委員	植村 仁	(太田RC)
副委員長	草廬 晋一	(桐生赤城RC)	委員	山本 樹	(館林RC)
委員	菊川 善明	(前橋RC)	委員	原 直道	(渋川RC)
委員	石井 英智	(前橋南RC)	委員	渡邊 仁基	(藤岡南RC)
委員	下田 仁	(伊勢崎RC)	委員	片桐 正人	(前橋RAC)
委員	六本木 裕	(伊勢崎中央RC)			
委員	江畑 晴彦	(高崎RC)	担当副幹事	小林 晴彦	(高崎北RC)
委員	小此木 能信	(高崎RC)	担当副幹事	橋谷 晋治	(高崎北RC)

1. 委員会の使命・役割

地区補助金は、クラブと地区がロータリー財団の使命を支え、地域社会の緊要なニーズに取り組むための補助金です。今後とも地区内のクラブが地区補助金を活用するよう申請を奨励するとともに、各クラブの奉仕事業の質の面で地域社会のニーズにマッチしたものになるよう支援します。

また各クラブへの活動発信として、これまで同様に「ガバナー月信」で委員会報告をすると共に、11月と12月に申請書の進捗状況を見て各クラブのプロジェクト担当者に申請書のサポートをメールで送信。また3回予定している予備審査会と最終審査会終了後に各クラブのプロジェクト担当者にメールで審査の進捗状況を送信します。

2. 委員会活動の現状認識

近年は3年前の寄付額の実績に応じた割り振りとし、クラブの年次寄付の価値を高めました。また、他の地区には無いWebによる申請と報告が浸透し、クラブと地区の事務処理の軽減が計られています。関連委員会としては「資金管理・平和フェロシップ委員会」です。年間7回の全ての委員会で補助金委員会と共に申請された事業が計画通り実施されているか、資金面での問題はないか確認・助言を頂き、基準に合致した事業実施と報告書を目指しています。そして、今年度は「ロータリー財団ハンドブック」の審査基準を大幅に改定し、クラブにとって使いやすい補助金となるようにします。

3. 委員会事業計画

- ① ロータリー財団ハンドブック審査基準の緩和を検討(7月)
- ② ロータリー財団から地区へ補助金一括支給(8月～9月)
- ③ 申請クラブに補助金交付(8～9月)
- ④ クラブ申請書の提出(1月)
- ⑤ 申請事業の計画どおりの実施とサポート
- ⑥ ローターアクトクラブから地区補助金委員を選出し、ローターアクト会長幹事会等で検討を進めてもらい、全クラブ合同の補助金事業を実施できるようサポート
- ⑦ 実施事業の報告書提出のサポート(事業実施から1ヶ月以内提出)
- ⑧ Web申請による事業内容のサポート
- ⑨ 奉仕プロジェクトとの情報交換・協力を進める
- ⑩ 財団セミナー参加者のラーニングセンターを活用した事前学習の検討

4. 目標

- ① 地区補助金ハンドブックの内容検討（4月～6月）
- ② 地区補助金Webシステムの修正（6月）
- ③ クラブ申請書提出期限の厳守（1月）
- ④ 申請内容を地区で審査（最終審査会5月）
- ⑤ クラブ申請を確定して地区に申請（5月）
- ⑥ 地区からロータリー財団へ補助金一括申請（6月）

5. タイムスケジュール

- 8月 第1回委員会（補助金管理セミナー準備・財団ハンドブック、Web申請書の修正）
- 9月 ロータリー財団補助金管理セミナー（申請書・報告書記入の注意点について説明）
- 11月 第2回委員会（クラブの申請動向・報告、申請に向けての勉強会）
- 1月 申請書提出期限（2027年1月14日）
- 1月 第1回予備審査会（報告書の審査）
- 2月 第2回予備審査会（報告書の審査と申請書の審査）
- 3月 第3回予備審査会（報告書の審査と申請書の審査）
- 5月 地区補助金最終審査会
（2024-25年度実施分の報告を承認・2025-26年度実施分の申請を承認）
- 6月 ロータリー財団ハンドブックの修正・地区補助金Webシステム改修
- ※ロータリー財団補助金管理セミナー 9月13日（土）13:00～ 前橋問屋センター会館

6. 事業予算

収入		支出	
地区補助金委員会活動費	430,000	委員会活動費	430,000
合計	430,000	合計	430,000

7. 実績データ

	申請年度	申請クラブ数	事業総額
1年目	2012-13	34クラブ 34申請	1,365万円
2年目	2013-14	33クラブ 32申請	1,053万円
3年目	2014-15	41クラブ 41申請	1,652万円
4年目	2015-16	43クラブ 41申請	1,693万円
5年目	2016-17	46クラブ 46申請	1,951万円
6年目	2017-18	44クラブ 29申請	1,586万円
7年目	2018-19	44クラブ 42申請	1,720万円
8年目	2019-20	40クラブ 38申請	1,920万円
9年目	2020-21	45クラブ 39申請	1,655万円
10年目	2021-22	45クラブ 39申請	1,669万円
11年目	2022-23	52クラブ(RAC7)43申請	1,998万円
12年目	2023-24	53クラブ(RAC8)44申請	2,036万円
13年目	2024-25	51クラブ(RAC8)42申請	1,622万円

2024-25実施年度(2023-24計画年度)地区補助金支給額一覧表 (52クラブ(RAC8)申請・43事業)

2025年4月24日現在

分 区	NO.	クラブ	事業名	クラブ拠出 金 円	補助金申請 額	事業額 円	決定補助金 \$	補助金確定額 円
第1 分 区	1	前橋	「アップサイクル教室」の開催	236,388	549,639	786,027	\$3,973.85	598,687
	2	前橋西	ちぎらこども食堂に対して、食材を中心とした物品 寄贈	220,508	199,492	420,000	\$1,442.31	199,492
	3	前橋東	幸せの黄色いベンチ設置	65,851	234,864	300,715	\$1,698.05	234,864
	4	前橋北	前橋総合運動公園、テニスコート。ステンレス製審 判台。前橋市への寄贈。	660,483	407,617	1,068,100	\$2,947.04	407,617
	5	前橋南	さちの池周辺にホテル観賞用デッキ寄贈	847,511	231,889	1,079,400	\$1,644.60	231,889
	6	前橋中央	防犯カメラ寄贈による安心・安全プロジェクト	35,470	115,890	151,360	\$837.88	115,890
第2 分 区 A	7	桐生	桐生市少年野球用ホームランフェンス寄贈事業	78,402	283,188	361,590	\$2,291.43	333,188
	8	桐生南	地域猫活動	50,000	50,000	100,000	\$335.09	50,000
	9	桐生西	こども食堂を基点とした地域交流から多様性を学ぶ プロジェクト	145,171	300,091	445,262	\$2,169.64	349,139
	10	桐生赤城	ヤングケアラーを知ろう	50,200	173,447	223,647	\$1,254.01	173,447
第2 分 区 B	11	伊勢崎	児童養護施設みらい奨学金 社会福祉法人やよい福祉会利用者の生活自立支援並 びに就労訓練に使用する物品の寄贈	179,944	870,538	1,050,482	\$6,174.03	870,538
	12	群馬境	児童養護施設希望館八幡の家へのテント・Tシャ ツ・掃除機の寄贈	84,203	114,985	199,188	\$831.33	114,985
	13	伊勢崎中央	学童野球チームへの野球教室の開催	535,475	465,625	1,001,100	\$3,366.43	465,625
	14	伊勢崎南	県内外外国人住民の皆さん向け、意思疎通促進・支援 事業	43,544	142,456	186,000	\$1,029.94	142,456
	15	伊勢崎東	中学校へ(多言語音声通訳機)寄贈	216,259	105,341	321,600	\$747.10	105,341
第3 分 区	16	高崎	「犯罪を、しない、させない、ゆるさない」 児童養護施設希望館八幡の家へのテント・Tシャ ツ・掃除機の寄贈	167,717	735,713	903,430	\$5,383.98	735,713
	17	高崎南	児童養護施設希望館八幡の家へのテント・Tシャ ツ・掃除機の寄贈	69,536	306,660	376,196	\$2,523.16	
	18	高崎北	高崎総合医療センター小児病棟等支援事業	24,739	304,614	329,353	\$2,202.33	353,662
	19	高崎東	城南幼稚園への備品の寄贈	125,158	205,612	330,770	\$1,486.56	205,612
	20	高崎シンフォニー	上並榎庭球場スポーツベンチ及び審判台寄贈プロ ジェクト	75,403	289,027	364,430	\$2,403.91	289,027
	21	高崎セントラル	児童養護施設希望館八幡の家へのテント・Tシャ ツ・掃除機の寄贈	38,961	171,823	210,784	\$1,413.67	478,483
第4 分 区 A	22	太田	太田ロータリークラブ 給付型奨学金	699,277	860,723	1,560,000	\$6,104.42	860,723
	23	太田西	ベンチ寄贈	63,617	81,198	144,815	\$587.06	81,198
	24	太田南	AED寄贈と講習会の実施	123,176	260,433	383,609	\$1,882.91	260,433
	25	新田	新田地区スポーツ協会へのイベント用テント寄贈	24,425	107,905	132,330	\$822.12	107,905
	26	太田中央	第17回太田中央ロータリークラブ杯小学生バレー ボール大会	243,674	222,676	466,350	\$1,611.16	222,676
第4 分 区 B	27	館林	イルミネーション設置事業	264,382	285,453	549,835	\$2,063.80	285,453
	28	大泉	城之内公園内堀への桜の植樹	45,886	154,444	200,330	\$1,116.62	154,444
	29	館林西	浮島弁天やすらぎプラン パート2	30,088	83,322	113,410	\$602.41	83,322
	30	館林東	読み聞かせ用大型絵本の寄贈	17,054	71,276	88,330	\$626.04	71,276
	31	館林ミレニアム	田山花袋記念文学館支援事業	51,841	147,039	198,880	\$1,063.08	147,039
第5 分 区	32	渋川	子供たちと科学技術を見て、感じ、学べる世界へ レッツゴー!	325,999	468,326	794,325	\$3,321.46	468,326
	33	沼田	持続可能な未来のために	86,701	607,161	693,862	\$4,389.73	656,209
	34	中之条	親子で楽しむ伝統芸能	120,130	102,928	223,058	\$744.16	102,928
	35	沼田中央	社会福祉法人沼田市社会福祉協議会車いす寄贈事業	51,983	204,222	256,205	\$1,476.51	204,222
	36	渋川みどり	安心して安全に登校できる通学路を	176,190	147,430	323,620	\$1,065.91	147,430
第6 分 区	37	富岡	福祉施設への物品寄贈	125,076	200,954	326,030	\$1,452.88	200,954
	38	藤岡	藤岡市内桜山公園の環境整備支援事業	571,900	271,888	843,788	\$1,965.73	271,888
	39	安中	崇台山(そうだいさん)の観光支援	4,446	325,224	329,670	\$2,351.35	325,224
	40	藤岡北	地域の防災・災害について学ぶプロジェクト	76,462	49,048	125,510	\$335.09	49,048
	41	富岡中央	災害用テント寄贈プロジェクト	178,787	197,633	376,420	\$1,428.87	197,633
	42	碓氷安中	介護福祉施設への見学と機器寄贈事業	91,532	49,048	140,580	\$335.09	49,048
	43	藤岡南	らん藤岡 ビクニックテーブル寄贈事業	440,550	94,934	535,484	\$673.29	94,934
44	富岡かぶら	大塩湖 距離表示サイン設置事業	38,978	137,242	176,220	\$992.25	137,242	
ロ ー タ ー ア ク ト	45	伊勢崎	児童養護施設みらい奨学金	9,450	47,248	56,698	\$335.09	50,000
	46	桐生	桐生市少年野球用ホームランフェンス寄贈事業	10,000	50,000	60,000	\$335.09	50,000
	47	桐生西	こども食堂を基点とした地域交流から多様性を学ぶ プロジェクト	10,000	49,048	59,048	\$335.09	50,000
	48	前橋	「アップサイクル教室」の開催	10,000	49,048	59,048	\$335.09	50,000
	49	前橋南	さちの池周辺にホテル観賞用デッキ寄贈	10,000	50,000	60,000	\$0.00	50,000
	50	沼田	持続可能な未来のために	10,000	49,048	59,048	\$335.09	50,000
	51	太田	太田ロータリークラブ 給付型奨学金	10,000	50,000	60,000	\$335.09	50,000
	52	高崎北	高崎総合医療センター小児病棟等支援事業	3,000	49,048	52,048	\$335.09	50,000
			合計	7,875,527	11,782,458	19,657,985	\$85,513.91	12,035,210

2025-26実施年度(2024-25計画年度)地区補助金申請一覧表(51クラブ(RAC8)申請・42事業)

2025年4月11日現在

分 区	NO.	クラブ	実施日	事業名	2022-23年 年次寄付 クラブ 総額/\$	クラブ 拠出金 円	補助金 申請額 円	事業額 円	決定 補助金 \$
第1 分 区	1	前橋	2025.9.1~2025.10.31	NPO法人ぐんま若者応援ネット「アリスの広場」支援プロジェクト	\$17,343	137,048	649,313	786,361	\$4,216
	2	前橋西	2025.7.1~2025.11.30	寄宿舎で生活している児童に知育玩具等を寄贈	\$8,154	100,222	305,300	405,522	\$1,982
	3	前橋東	2025.7.1~2025.12.31	知的障害への理解を深めようプロジェクト	\$6,739	65,420	252,300	317,720	\$1,638
	4	前橋北	2025.10.6~2025.10.31	災害に強い都市空間の整備支援	\$13,123	466,680	491,320	958,000	\$3,190
	5	前橋南	2025.10.1~2025.12.25	「児童養護施設 鐘の鳴る丘少年の家」への備品寄贈	\$7,950	61,961	297,647	359,608	\$1,933
	6	前橋中央	2025.7.2~2025.7.3	高齢者施設への無停電装置寄贈 高齢者施設災害時電源装置設置プロジェクト	\$3,187	26,866	107,567	134,433	\$775
第2 分 区 A	7	桐生	2025.7.7~2025.11.24	桐生市ボッチャ協会 ボッチャ用具寄贈事業	\$18,171	121,267	606,333	727,600	\$4,418
	8	桐生南	2025.9.10	桐生乳児園へ抗菌医療機器などの寄贈	\$4,507	42,247	168,753	211,000	\$1,096
	9	桐生西	2025.9.30~2025.12.24	社会福祉法人桐の実会わたらせ養護園支援事業	\$8,365	63,406	313,184	376,590	\$2,034
	10	桐生赤城	2025.10.1~2025.12.20	盲導犬や視覚障害者への理解を高めるための啓発活動	\$4,811	49,137	180,140	229,277	\$1,170
第2 分 区 B	11	伊勢崎	2025.7.1~2026.6.30	児童養護施設みらい奨学金	\$11,968	291,920	448,080	740,000	\$2,910
	12	群馬境	2025.7.1~2025.10.31	社会福祉法人桑の実福祉会利用者の就労訓練に使用する物品の寄贈	\$3,972	51,270	148,710	199,980	\$966
	13	伊勢崎中央	2025.11.2	学童野球チームへの野球道具の寄贈	\$13,801	273,088	516,712	789,800	\$3,355
	14	伊勢崎南	2025.10.1~2025.10.31	地域猫活動の支援	\$3,119	33,240	116,760	150,000	\$758
	15	伊勢崎東	2025.7.1~2026.6.30	児童養護施設みらい奨学金	\$2,897	91,522	108,478	200,000	\$704
	16	高崎	2025.7.19~2025.8.31	未来を支える子供たちへの支援事業	\$23,378	132,110	620,000	752,110	\$5,684
第3 分 区	17	高崎南	2025.9.9	NPO法人はっぴいまるまる 大規模災害時対応に伴う蓄電設備及び仮設トイレの寄付事業	\$8,102	40,693	203,465	244,158	\$1,970
	18	高崎北	2025.9.3~2025.12.31	高崎市社会福祉協議会を窓口とした生活困窮世帯、 高崎市内のこども食堂への物資支援	\$7,773	67,011	291,001	358,012	\$1,890
	19	高崎東	2025.9.11~2025.9.18	生涯学習振興のための環境づくり事業	\$6,246	122,520	233,000	355,520	\$1,519
	20	高崎シンフォニー	2025.7.1~2025.9.30	高崎市児童相談所へ卓球台サッカーゴール等寄贈プロジェクト	\$7,169	72,602	268,420	341,022	\$1,743
	21	高崎セントラル	2025.9.9	NPO法人はっぴいまるまる 大規模災害時対応に伴う蓄電設備及び仮設トイレの寄付事業	\$4,991	25,068	125,339	150,407	\$1,213
	22	太田	2025.10.1~2026.2.28	第5回太田ロータリークラブ杯 2025 OTA JUNIOR CUP バドミントン選手権大会	\$12,910	96,671	483,355	580,026	\$3,139
第4 分 区 A	23	太田西	2025.7.10	将来のサッカー選手育成応援プロジェクト	\$2,421	18,892	90,658	109,550	\$589
	24	太田南	2025.9.1~2026.1.31	フードバンクおおたへ食品寄贈	\$6,770	57,364	253,476	310,840	\$1,646
	25	新田	2025.7.20	新田RC杯グランドゴルフ大会	\$3,170	34,668	110,000	144,668	\$771
	26	太田中央	2025.9.14	バリアフリーフェスタ	\$6,670	50,000	249,723	299,723	\$1,622
	27	館林	2025.9.1~2025.12.2	館林ロータリークラブ奨学金供与事業	\$9,530	89,640	356,800	446,440	\$2,317
	28	大泉	2025.8.1~2026.1.31	ベンチ寄贈事業	\$4,205	31,500	157,436	188,936	\$1,022
第4 分 区 B	29	館林東	2025.7.2~2025.12.24	「特定非営利活動法人あいず」に対する、チェーンソーの寄贈	\$2,500	38,840	93,600	132,440	\$608
	30	館林ミュージアム	2025.7.3~2025.9.18	文化振興推進支援	\$4,350	55,817	162,863	218,680	\$1,058
	31	渋川	2025.12.13	信愛えんがわカフェ支援プロジェクト	\$8,972	90,600	335,920	426,520	\$2,181
第5 分 区	32	沼田	2025.11.9	車椅子バスケットを通して、個性を生かして共生する社会を目指す。寄り添うロータリー	\$21,308	155,867	775,750	931,617	\$5,180
	33	中之条	2025.11.3~2025.11.30	ジャズコンサートの開催	\$3,150	119,465	117,935	237,400	\$766
	34	沼田中央	2025.7.1~2025.11.30	社会福祉法人北毛清流会 除雪機寄贈事業	\$5,200	80,863	194,687	275,550	\$1,264
	35	渋川みどり	2025.7.26~2025.8.29	高校生とつくる男女共同参画社会提言書	\$4,041	166,847	151,293	318,140	\$982
	36	富岡	2025.9.1~2025.11.30	子育て・健康推進事業	\$5,950	49,593	222,767	272,360	\$1,447
第6 分 区	37	藤岡	2026.2.1~2026.2.28	藤岡市管内 桜山公園冬桜苗木植樹事業	\$8,050	432,090	301,390	733,480	\$1,957
	38	安中	2025.10.1~2026.3.31	小学校1年生入学支援	\$9,810	90,000	348,480	438,480	\$2,385
	39	藤岡北	2025.10.1~2025.11.30	「エネルギーの地産地消による地域活性化」セミナー実施プロジェクト	\$743	72,100	50,000	122,100	\$316
	40	富岡中央	2025.7.1~2025.11.30	富岡市北部運動公園東ゾーン時計台寄贈プロジェクト	\$5,638	195,819	211,071	406,890	\$1,371
	41	碓氷安中	2025.11.1~2025.11.30	あんなかスマイルパーク 木製ベンチ設置事業	\$753	16,880	50,000	66,880	\$316
	42	藤岡南	2026.2.1~2026.3.31	藤岡市サッカー協会へのテント備品提供	\$3,593	24,000	120,000	144,000	\$873
	43	富岡かぶら	2025.7.1~2025.8.31	富岡市子育て健康プラザ 書籍寄贈事業	\$5,017	39,210	187,843	227,053	\$1,220
	44	伊勢崎	2025.7.1~2026.6.30	児童養護施設みらい奨学金	\$0	10,000	50,000	60,000	\$316
ロー ター ア ク ト	45	桐生	2025.7.7~2025.11.24	桐生市ボッチャ協会 ボッチャ用具寄贈事業	\$0	10,000	50,000	60,000	\$316
	46	桐生西	2025.9.30~2025.12.24	社会福祉法人桐の実会わたらせ養護園支援事業	\$0	10,000	50,000	60,000	\$316
	47	前橋	2025.9.1~2025.10.31	NPO法人ぐんま若者応援ネット「アリスの広場」支援プロジェクト	\$0	10,000	50,000	60,000	\$316
	48	前橋南	2025.10.1~2025.12.25	「児童養護施設 鐘の鳴る丘少年の家」への備品寄贈	\$0	10,000	50,000	60,000	\$316
	49	沼田	2025.11.9	車椅子バスケットを通して、個性を生かして共生する社会を目指す。寄り添うロータリー	\$0	10,000	50,000	60,000	\$316
	50	太田	2025.10.1~2026.2.28	第5回太田ロータリークラブ杯 2025 OTA JUNIOR CUP バドミントン選手権大会	\$0	9,725	48,623	58,348	\$316
	51	高崎北	2025.9.3~2025.12.31	高崎市社会福祉協議会を窓口とした生活困窮世帯、 高崎市内のこども食堂への物資支援	\$0	10,000	50,000	60,000	\$316
合計					\$320,517	4,421,749	11,875,492	16,297,241	\$80,717

ロータリーレート 154円

グローバル補助金委員会

委員長	石川 好男	(太田RC)	委員	吉田 尚弘	(伊勢崎中央RC)
副委員長	菊池 千恵	(前橋RC)	委員	小河原 義光	(高崎RC)
委員	Randolph 留利子	(桐生RC)	委員	芳子ビューエル	(高崎ソフオーRC)
			担当副幹事	近藤 利弘	(高崎北RC)

1. 委員会の使命・役割

グローバル補助金は、ロータリアンから寄付していただいた年次寄付が、シェアシステムの仕組みによりロータリー財団から3年後に地区財団活動資金(DDF)の50%として提供された資金を基に、クラブと地区がロータリー財団の7つの重点分野である「平和構築と紛争予防」「疾病予防と治療」「水と衛生」「母子の健康」「基本的教育と識字率向上」「地域社会の発展」「環境」の一つに該当し、測定可能、持続可能なプロジェクトであり、予算が30,000ドル以上で補助金の授与と受託の条件を厳守すること。これらの要件を満たした上で、補助金申請の受付を行いません。但し、グローバル補助金の予算額に達した場合は終了させていただきます。

詳細は、国際ロータリー第2840地区「ロータリー財団ハンドブック」2025-2026年度ダイジェスト版をご参照下さい。

2. 委員会活動の現状認識

今年度もグローバル補助金委員会の委員間での情報交換を密にすると共に、ロータリー財団委員会の方針に従い下記の日標を掲げグローバル補助金の活用を推進していきます。

3. 委員会事業計画

1. グローバル補助金を使った事業の受付、実施計画の援助を行う。
2. 他地区におけるグローバル補助金の事例を引き続き研究する。
3. グローバル補助金を利用した奨学生制度について研究する。
4. 海外で専門知識を学んだり、現地の人々を指導する職業研修を提供したり、研修を受ける為にチームが海外に赴いたりできる職業研修チーム(VTT)に申請があれば協力する。
5. ロータリー財団補助金セミナー、クラブ活性化ワークショップ等の運営に協力する。
6. 委員会内での学習会を行う。
7. ロータリー財団ハンドブックの見直し
8. 公共イメージの向上、地域における良い評価の形成に取り組む。
9. グローバル補助金への申請の抵抗感をなくす情報発信を行う。
10. 姉妹クラブ・友好クラブとの連携事業の推進、協力を促す

4. 日標

- ・14年目となるグローバル補助金で過去に申請していないクラブの申請
- ・公共イメージの向上、地域における良い評価の形成に取り組む

- ・奉仕プロジェクトとの情報交換・協力を進める

5. タイムスケジュール

8月 委員会開催（補助金の勉強会・奨学事業の申請について）ZOOM

9月13日（土）ロータリー財団補助金セミナー

随時 補助金の相談・申請受付

補助金申請の審査会の開催

6. 事業予算

収入		支出	
グローバル補助金委員会活動費	120,000	紹介動画	60,000
		委員会活動費	60,000
合計	120,000	合計	120,000

7. その他

（注意事項等）

1. 申請期限：随時（但し6月1日～6月30日の間は不可）申請書の提出を受けて、地区内での審査会は随時開催されます。
*奨学金の申請には、申請期間がありますのでご確認ください。
2. ホストパートナー（実施国）が企画しているプロジェクトの場合は、ホストパートナーの申請書等、日本語で事業内容の詳細を添付して下さい。
3. プロジェクトの報告書の提出期限は、プロジェクト終了後2か月以内です。

2840地区 グローバル補助金 申請・実績一覧

2024.4.22 現在

年度	事業内容	重点分野	申請日	クラブ	ホストクラブ	実施国	2840地区---(単位:USドル)				USドル 総事業費	地区承認	承認NO	結果
							現金	DDF	WF	合計				
2012~2013	リハビリ治療用機器の寄贈	疾病予防と	2013 2015/1/25	前橋	バヤンツルフ 100RC	モンゴル	11,745	10,000	15,873	37,618	36,897	2013 2015/4/26	GG 1413488	終了
2012~2013	2.遠隔治療のシステム	疾病予防と治療	2013 2015/3/3	沼田	バリタハラ RC	バングラデシュ	3,000	19,773	21,273	44,046	48,546	2013 2015/5/20	GG 1411381	終了
2013~2014	障害者の職業訓練	基本的教育と識字率向上	2013 2015/7/20	沼田中央	台北	台湾	0	4,000	4,000	8,000	52,973	2013 2015/8/7	GG 1410761	終了
2014~2015	眼底カメラの寄贈	疾病予防と治療	2015 2015/3/5	伊勢崎	バンコク南 RC	タイ	1,000	16,000	16,500	33,500	56,600	2015 2015/4/22	GG 1529379	終了
2014~2015	障害者が自立出来る為の支援	経済と地域社会の発展	2015 2015/4/3	桐生西	サンジャン セントラル RC	フィリピン	500	5,000	5,250	10,750	39,450	2015 2015/4/25	GG 1530036	終了
2014~2015	飲料水の為の濾過装置設置	水と衛生	2015 2015/6/8	桐生西	チェンマイ ティンタインカム	タイ	2,000	10,000	11,000	23,000	56,000	2015 2015/6/24	GG 1417170	終了
2015~2016	クリーンウォータ 密閉	水と衛生	2016 2016/3/10	富岡中央	フィリピン オネキットマカティ	フィリピン	500	13,613	13,863	27,975	32,975	2016 2016/3/10	GG 1636872	終了
2015~2016	汚染対策 農業再建対策	経済と地域社会の発展	2016 2016/3/10	2840地区	2530地区 藤山北	2530地区 藤山	0	10,000	10,000	20,000	199,138	2016 2016/3/10	GG 1639968	終了
2015~2016	GG奨学金 大澤 瑞帆	経済と地域社会の発展	2016 2016/3/16	伊勢崎	1060地区	イギリス バーミンガム	500	15,000	15,250	30,750	30,750	2016 2016/4/15	GG 1641114	終了
2016~2017	VTT	聴覚障害児童	2016 2016/11/29	前橋	3450地区 セルベ RC	モンゴル	0	16,268	16,268	32,536	32,536	2016 2016/12/9	GG 1753008	キャンセル
2016~2017	GG奨学金 丹波 小桃	経済と地域社会の発展	2016 2016/11/29	前橋東	1080地区	イギリス	300	15,000	15,150	30,450	30,450	2016 2016/12/26	GG 1755606	終了
2016~2017	超音波心臓装置	疾病予防と治療	2017 2017/2/17	伊勢崎	バンコク南	タイ	500	10,000	10,250	20,750	54,716	2017 2017/2/17	GG 1752529	終了
2016~2017	AED及び研修	疾病予防と治療	2017 2017/2/24	桐生西	3800地区 マンダラヤング	フィリピン	2,000	5,000	6,000	13,000	43,000	2017 2017/2/24	GG 1751693	キャンセル
2016~2017	VTT	疾病予防と治療	2017 2017/3/13	沼田	3280地区 マドラブ RC	バングラデシュ	500	41,422	41,672	83,594	83,744	2017 2017/3/13	GG 1754234	キャンセル
2017~2018	Disease prevention and treatment in the area of Nan Province	疾病予防と治療	2017 2017/9/10	沼田	3360地区 マドラブ RC	タイ	12,280	20,500	26,294	59,074	58,594	2017 2017/9/10	GG 1759448	終了
2017~2018	障害者用 キッチンプロジェクト	経済と地域社会の発展	2017 2017/10/26	桐生西	3800・3830地区 MandaluyongRC	フィリピン	2,000	10,000	11,000	23,000	96,150	2017 2017/10/26	GG 1863140	終了
2018~2019	Home-Visit mobile bathing car service for Hospice Home Care and Bedridden patients	疾病予防と治療	2018 2018/3/11	桐生西	3800地区 Mandaluyong 等	フィリピン	500	11,000	11,250	22,750	48,501	2018 2018/3/12	GG 1869611	キャンセル
2017~2018	Maternal Health and Child Care Warriors	母子の健康	2018 2018/3/11	桐生西	3800地区 Mandaluyong 等	フィリピン	500	11,000	11,250	22,750	48,501	2018 2018/3/12	GG 1869611	キャンセル
2018~2019	VTT	聴覚障害児童	2016 2016/11/29	前橋	3450地区 セルベ RC	モンゴル	0	26,500	26,500	53,000	53,000	2018 2018/11/4	GG 1870900	終了
2018~2019	Apheresis Machine Donation	疾病予防と治療	2018 2018/3/11	伊勢崎	3780地区 San Francisco delmonre	フィリピン	0	20,000	20,000	40,000	93,000	2019 2018/1/7	GG 1979570	終了
2018~2019	Dumagat Tribe Peppercorn Livelihood Project	経済と地域社会の発展	2018 2018/7/12	桐生西	3800地区 Mandaluyong 等	フィリピン	500	11,000	11,250	22,750	51,050	2018 2018/7/12	GG 1977308	キャンセル
2018~2019	Supprt for the multi-cultural on their efforts to local society's development	経済と地域社会の発展 基本的教育と識字率向上	2018 2018/7/12	太田	3680地区 New Daejeon	韓国	2,000	3,123	4,123	9,246	43,246	2019 2018/1/9	GG 1977308	キャンセル
2018~2019	VTT	疾病予防と治療	2019 2017/1/29	沼田	3280地区 マドラブ RC	バングラデシュ	630	41,422	41,722	83,774	83,774	2019 2019/1/30	GG 1754234	キャンセル
2018~2019	VEHICLE FOR COLLECTING BLOOD	疾病予防と治療	2019 2022/3/12	富岡かぶら	3420地区 Bali Taman	インドネシア	500	17,125	17,125	34,750	35,275	2019 2022/4/5	GG 1985635	終了
2019~2020	GG奨学金 赤羽 宏基	母子の健康	2019 2020/6/26	藤岡	1120地区 Oripington CroftonRC	イギリス	0	30,000	30,000	60,000	60,000	2019 2019/6/28	GG 1986031	終了
2019~2020	Warm Hearts Rehabilitation and Physical Therapy Clinic at Nong Pa Khrang Municipality	疾病予防と治療	2019 2020/6/10	高崎東	3360地区 チェンマイ RC	タイ	0	2,500	2,500	5,000	36,254	2019 2019/6/12	GG 2091980	終了
2019~2020	Medical and Dental Equipment for the Rural Health Center of Lubang Island	疾病予防と治療	2019 2017/1/29	大泉	3810地区 マニラプレミアム MRC	フィリピン	0	26,250	26,250	52,500	75,000	2019 2019/11/1	GG 2095831	終了
2019~2020	Hepatitis C Elimination In Yuanzhang and Shuilin	疾病予防と治療	2020 2020/5/15	高崎北	3521地区 台北キャピタルRC	台湾	0	2,250	2,250	4,500	75,100	2020 2020/5/15	GG 2095592	終了
2019~2020	Rotary Face Shield Project against COVID19	疾病予防と治療	2020 2020/6/16	2840地区	2760地区	フィリピン ブラジル ペルー マレーシア	0	15,000	15,000	30,000	188,016	2020 2020/6/16	GG 2012088	終了
2020~2021	Safe Water Garden Indonesia	水と衛生	2021 2021/2/18	2840地区	2760地区	インドネシア	0	3,000	3,000	6,000	45,000	2021 2021/2/18	GG 2121887	終了
2021~2022	Prevent COVID-19 Potable Drinking Water and Improvement of Sanitation of Public Schools in Putilan	疾病予防と治療 水と衛生	2021 2021/4/20	桐生	3770地区 Putilan Royales RC	フィリピン	0	19,620	15,696	35,316	42,240	2021 2021/3/15	GG 212505	終了
2021~2024	GG奨学生 秋葉光忠	平和構築と紛争予防	2021 2021/5/12	前橋	1120地区 BromleyRC	イギリス	0	50,000	50,000	100,000	100,000	2021 2021/2/10	GG 2126409	終了
2021~2023	GG奨学生 中村翔陽	環境	2021 2021/8/19	高崎 シンフェーン	1560地区 Wageningen RC	オランダ	0	30,000	24,000	54,000	54,000	2021 2021/1/20	GG 2128478	終了
2021~2022	Pun Suk Center for Palliative and Long-term Cares at Mae Wang Hospital	疾病予防と治療	2021 2021/10/19	高崎東	3360地区 チェンマイ RC	タイ	0	7,000	5,600	12,600	40,000	2021 2021/10/14	GG 2126883	終了
2023~	Clean Water Saves Lives	水と衛生	2023 2023/9/24	桐生	3770地区 San Jose Golden RC	フィリピン	0	18,745	14,996	33,741	42,740	2023 2023/5/30	GG 2454110	承認済
2023~	Solar Power and Wash Project for Sitio Langis	水と衛生 地域社会の経済発展	2023 2023/5/30	太田	3770地区 Ilgan RC	フィリピン	0	22,500	18,000	40,500	49,500	2023 2023/5/30	GG 2350499	作成中
2023~	Weaving a Better Future: Pun Livelihood Program for the Women of Balacan	地域社会の経済発展	2023 2023/12/13	桐生西	3770地区 Malolos Congreso RC	フィリピン	0	16,667	13,333	30,000	39,000	2023 2023/5/30	GG 2454078	承認済
2023~	GG奨学生 松井理紗	基本的教育と識字率向上	2024 2024/3/25	沼田	9810地区 Monash RC	オーストラリア	0	30,000	24,000	54,000	54,000	2023 2023/11/1	GG 2461207	承認済
2023~	治療の一環として放射線診断サービス (X線) を提供する	疾病予防と治療	2024 2024/3/29	沼田	3141地区 Circuit Makati RC	フィリピン	6,060	33,300	26,640	66,000	66,000	2024 2024/3/23	GG 2457241	実行中
2024~	環境に関連した仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための大学院レベルの奨学金支援	環境	2024 2024/6/10	高崎	1130地区 Edmonton	イギリス	0	30,000	24,000	54,000	54,000	2024 2024/6/10	GG 2465040	実行中

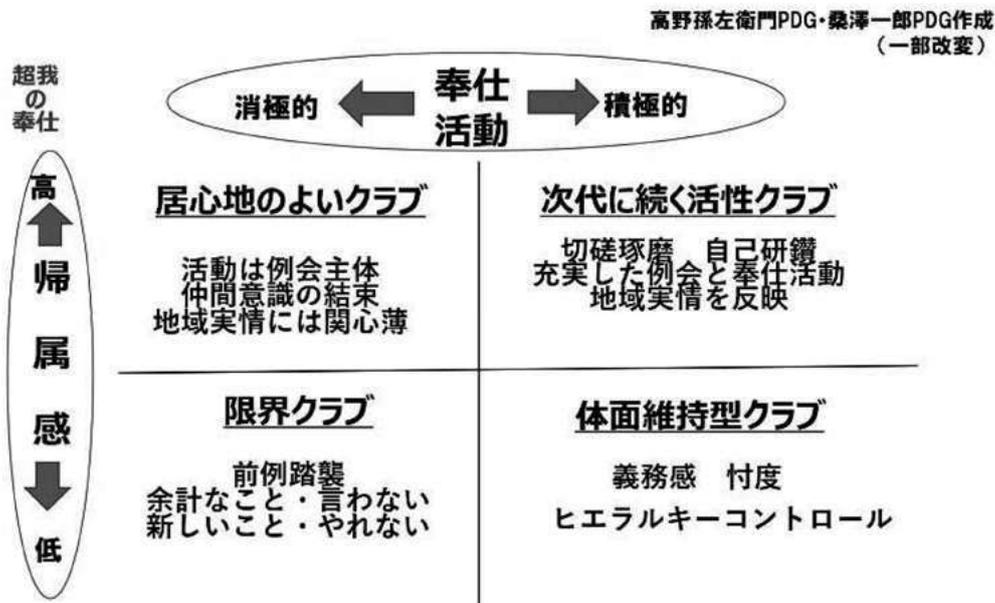
年度	事業内容	重点分野	申請日	クラブ	ホストクラブ	実施国	現金	DDF	WF	ロータリ アン以外	合計	総事業費	地区承認	承認NO
2023~	新都市新住民向け中国教材のデジタル化と新市民の教師の研修	基本的教育と識字率向上	2024 2024/4/17	高崎 セントラル	3523地区 IIWA YANG RC	タイ	18,000	(申請国)	8,000	6,400	11,000	43,400	43,400	*必要なし CG 2454159

*2840地区のDDFを使用していません。

会員組織強化委員会

委員長	中野 正美 (太 田RC)	委員	大谷 恒雄 (太田南RC)
副委員長	三好 建正 (安 中RC)	委員	原 精一 (館林シニアRC)
委員	小磯 正康 (前橋中央RC)	委員	赤井 幸夫 (沼田中央RC)
委員	青山 豊 (桐生西RC)	委員	和田 雅之 (碓氷安中RC)
委員	鷹巢 修 (伊勢崎南RC)		
委員	関口 朋克 (高崎セントラルRC)	担当副幹事	須永 正儀 (高崎北RC)

会員組織強化を一律に行うのではなく、クラブ基盤強化に向けた挑戦として、クラブの傾向を以下の4種類に分けて、それぞれに合った傾向と対策を模索していく



新会員や中堅会員、シニア会員などの会員視点として、「話しやすさ」「助け合い」「チャレンジ」「歓迎ムード」を積極的に取り入れるようにして、退会防止に努め楽しく元気なクラブになれるよう、目標を掲げてロータリーライフを楽しめるようにしましょう。

委員には8名のガバナー補佐をお願いしています。補佐の方々のクラブ訪問時には上記の表を念頭にクラブ会長・幹事、会員と楽しいクラブ作りのご指導・ご支援をお願いいたします。また委員会内での情報交換も企画したいと思います。

【活動目標】

- ① 楽しく、元気なクラブ作りのためのアドバイス・支援
- ② 各種セミナーへの協力
- ③ 地区内各委員会への協力

DEI推進委員会

アドバイザー	山田 邦子（前 橋RC）	委員	高橋 寿美江（高崎シフォニーRC）
委員長	佐藤 貴江（高 崎RC）	委員	春山 和久（渋川みどりRC）
副委員長	星野 儷日（桐生南RC）	委員	三澤 俊之（安 中RC）
委員	下田 恭子（伊勢崎中央RC）	委員	中澤 翔（沼 田RAC）
		担当副幹事	廣神 壮郎（高崎北RC）

1. 委員会の使命・役割

DEI の文字通り、どのクラブにおいても「多様性」「平等」「公平」「包摂」が保たれるように、中心となり推進活動を行う。

DEI への理解が、クラブの居心地の良さにつながり、退会防止、ひいては会員増強につながることを認識してもらう。

2. 委員会活動の現状認識

森年度におけるフォーラム結果、そのために実施されたアンケートにより、各クラブにおける認識の差や課題が見えてきた。

3. 委員会事業計画

森年度の事業計画と併せて、当年度では各クラブにおいて、

- ① クラブ内の世代間の交流の促進
- ② ハラスメントへの対応システムの確立
- ③ 女兒エンパワーメントについて学ぶ

というような働きかけをして行きたい。

また、必要であれば講演会の開催も有意義であると思う。

4. 目標

- ・各クラブでの DEI に対する認識の統一を図る
- ・女性会員増員に繋げ、女性会員ゼロのクラブを無くす

5. タイムスケジュール

年 4 回~5 回に委員会を開催

それによって決められた具体的な事業計画を実行に移して行く

6. 事業予算

収入		支出	
DEI 推進委員会活動費	70,000	委員会活動費	70,000
合計	70,000	合計	70,000

公共イメージ・ICT推進委員会

委員長	前田 修 (前 橋RC)	委員	茂木 光男 (高崎東RC)
副委員長	田嶋 宏樹 (前橋南RC)	委員	和田 忠治 (太田南RC)
副委員長	安部 良憲 (伊勢崎RC)	委員	長柄 光則 (館 林RC)
委員	野村 雅弘 (前橋西RC)	委員	龍見 進 (藤 岡RC)
委員	佐藤 敬 (前橋北RC)	委員	飯塚 もも子 (高崎北RAC)
委員	天田 朝憲 (高 崎RC)	担当副幹事	大畑 亜樹夫 (高崎北RC)

1. 委員会の使命・役割

公共イメージ・ICT推進委員会は2本の柱で活動を行います。

まず、公共イメージとしてロータリーを多くの人々や若い世代に知ってもらい、色々な活動への理解をして頂き、多くの新しい仲間を増やすための地域マスメディア媒体（新聞、テレビ、ラジオ等）の活用と充実と発信を行っていきます。

次にICT推進としてはSNS（YouTube、Instagram等）の手法を利用し広く情報発信を行うと共にマイロータリーの登録推進と活用を促していきます。

2. 委員会活動の現状認識

現在、ロータリーの広報動画(30秒)をYouTube広告として配信、またYahoo、Google広告やInstagram広告とSNSを活用してのネット媒体でのPRを行った。また地域マスメディアとして上毛新聞掲載広告及び各企業へのPRポスター配布によって、よりロータリー活動を地域の人々へ知ってもらう活動を行っております。

3. 委員会事業計画

公共イメージとして、クラブの取り組みを支援するための地域マスメディア（新聞・テレビ・ラジオ）ツールを活用したロータリー認知度向上の情報発信に務めます。

また、ロータリー活動の相手とその先にいる人々にもより深い理解をしていただけるよう草の根運動を重要視していきます。

ICT推進としては、SNS（YouTube Instagram等）を用いた手法の発信について地区やクラブ会員への認識を強固なものとして、情報発信を積極的に行える環境構築のサポートを行っていきます。

またローターアクトとの連携にて次世代のロータリー活動の認知を図っていく。そしてマイロータリーの登録推進と活用方法についても広く告知するよう取り組んでいきます。

4. 目標

- ① 地域メディアの活用によるロータリークラブの公共イメージの向上
- ② 地区やクラブ会員からのSNS発信でのロータリー活動の告知を図るためのサポート
- ③ ロータリアンカードの製作配布
- ④ ロータリー・リブランディング戦略の計画案策定

- ⑤ 地区リソースネットワークの構築を検討
- ⑥ ローターアクトとの情報交換
- ⑦ マイロータリー登録推進と活用方法について告知

5. タイムスケジュール

委員会 年4回予定（8月、11月、1月、4月）

ローターアクトとの情報交換

新聞広告、ラジオ広告、ロータリアンカード印刷（地区大会）

各クラブへの情報提供（随時）

6. 事業予算

収入		支出	
公共イメージ振興事業資金	1,461,600 円	上毛新聞 PR 広告	550,000 円
公共イメージ・ICT 推進委員会活動費	100,000 円	エフエム群馬 PR 広告	661,600 円
		ロータリアンカード印刷	150,000 円
		ICT セミナー	150,000 円
		会合費	30,000 円
		活動予備費	20,000 円
合計	1,561,600 円	合計	1,561,600 円

国際大会推進委員会

委員長 川鍋 太志 (高崎南RC)	委員 井汲 憲治 (高崎シフオーRC)
委員 金井 裕 (高崎RC)	委員 須田 棕音子 (伊勢崎中央RC)
委員 竹内 一普 (高崎南RC)	担当副幹事 高野 由博 (高崎北RC)

1. 委員会活動の現状認識

開催期間：2026年6月13日(土)～17日(水) (台北)

ロータリーの国際大会は、各クラブ所属のロータリアンが直接参加できる唯一のRIの事業です。しかし、現状地区全体としてだけでなく、各クラブにおいても参加の機運は盛り上がりません。

また、円安により登録料、参加費共に値上がりしていることも参加の弊害になっていると考えます。

2. 委員会事業計画

- ・比較的近い台北で大会が開催される。
- ・ロータリーの最新情報、活動方法について学ぶことができる。
- ・台湾に友好・姉妹クラブのあるクラブに訪問し、参加を促す
- ・他の関連する委員会と連携をし、国際大会への参加を促す。
- ・国際大会に参加しやすいツアーを企画する。

等を2840地区の会員に理解していただけるように広報活動を行う。

3. 目標

クラブ単位で国際大会参加の企画が困難なクラブの受け皿として、地区主催の国際大会参加ツアーを企画するとともに、台湾に友好・姉妹クラブのあるクラブには、国際大会開催を機会ととらえ、一層の交流、共同事業等の企画を促す。

国際大会登録50名、地区ナイト参加者100名を目標とする。

4. タイムスケジュール

	6月	8月	9月	12月	2月	3月	5月	6月
国際大会登録								
特別プロモーション割引	●							
早期登録による割引				●				
特別割引料金が適用される最終日					●	●		
事前登録による割引の最終日						●		
オンライン登録の最終日							●	
地区ツアー計画の策定	○							
ガバナー月信へ地区ツアー計画の告知		○						
ガバナー月信へ過年度参加者の報告記事掲載		○	○	○				

	6月	8月	9月	12月	2月	3月	5月	6月
各クラブへの参加要請		○						
参加予定者の集計、再依頼					○			
参加予定者への説明会開催						○		
参加報告会の開催								○

※委員会開催（6月、7月、9月、12月、2月、4月）

5. 計画と参加実績

年度	開催都市	目標	実績
2020-21 山田年度	台北	50	バーチャル開催
2021-22 足立年度	ヒューストン	50	バーチャル開催
2022-23 中野年度	メルボルン	50	10
2023-24 保坂年度	シンガポール	50	34
2024-25 森 年度	カルガリー	50	計画中
2025-26 竹中年度	台北	100	

職業奉仕・国際奉仕・地域社会奉仕委員会

アドバイザー	山田 邦子（前 橋RC）	委員	戸塚 和昭（前橋東RC）
委員長	石原 保幸（前橋東RC）	委員	高井 俊一郎（高 崎RC）
副委員長	島田 渉（前橋南RC）	委員	深澤 秀治（太田南RC）
副委員長	高橋 昭紀（沼田中央RC）	担当副幹事	大井田 健一（高崎北RC）

1. 委員会の使命・役割

地区内クラブに対し職業奉仕、国際奉仕、地域社会奉の理解を深め、実践と推進に努めると共に関連委員会（ロータリー財団委員会、DEI 推進委員会、公共イメージ・ICT 推進委員会）と協力してクラブを支援する。

2. 委員会活動の現状認識

今年度現時点では委員会開催2回。2025年5月に講演会開催を予定している。

3. 委員会事業計画

2023-2024年（保坂年度）に実施した奉仕活動アンケートより12クラブをピックアップ。

ガバナー月信、地区ホームページ等で1クラブずつ紹介。他のクラブの奉仕活動を知ってもらうと共に、自クラブでの新たな奉仕活動のヒントにしてもらう。

2026年1月（職業奉仕月間）にセミナーを開催予定。

内 容／講演会、奉仕事業事例発表、グループディスカッション等
テ ー マ／職業奉仕（予定）

具体的な内容は今後の委員会で決める予定。

4. 目標

積極的に奉仕活動に取り組んでもらうよう情報の提供をしていく。

5. タイムスケジュール

委員会開催予定

2025年4月（次年度活動方針の検討）、7月（具体的な活動内容の検討）

10月、12月（2026年1月セミナーの打ち合わせ）

2026年1月（セミナー開催）、2月（セミナーの反省会）

以降、必要に応じて委員会を開催予定。

青少年交換委員会

委員長	新井 聡 (前橋西RC)	委員	前原 信之 (太田中央RC)
副委員長	久保 貴則 (伊勢崎RC)	委員	荒木 千津子 (館 林RC)
副委員長	久保 文孝 (伊勢崎中央RC)	委員	宇田 榮二 (渋 川RC)
委員	小中 和子 (前 橋RC)	委員	中山 雅之 (安 中RC)
委員	小暮 健一 (前橋西RC)		
委員	吉井 宏文 (高 崎RC)	担当副幹事	小林 晴彦 (高崎北RC)
委員	飯島 芳臣 (高崎シフォニーRC)	担当副幹事	小池 達哉 (高崎北RC)

1. 委員会の使命・役割

ロータリー青少年交換プログラムは、海外の人びとと交流し、外国での生活を通じて異文化を体験する機会を青少年に提供することで、異文化出身の学生との交流を通じて、受入クラブ、ホストファミリー、そして地域社会を豊かにし、プログラムを通じて、青少年の国際理解と親善の精神を育み、平和の構築と維持に不可欠な異文化理解能力の養成に役立つものです。

当委員会では、青少年交換学生の派遣・受入にあたり、ガバナーの監督の下、ガバナー補佐、スポンサークラブ、ホストクラブ、ホストファミリー、学校等と連携して、有意義なプログラム遂行のために活動していきます。

2. 委員会活動の現状認識

短期交換プログラム：夏休み期間中の1ヶ月間、米国へ1名派遣並びに受け入れ。

長期交換プログラム：8月中旬から翌年7月までの期間、3名派遣並びに受け入れ。

3. 委員会事業計画

短期交換プログラム

夏休み期間中の1ヶ月間、2～3名派遣候補生並びに受け入学生の準備を行います。

長期交換プログラム

8月中旬から翌年7月までの期間、4名程度の派遣候補生並びに受け入れ学生の準備を行います。

委員会組織

派遣学生担当、受入学生担当、募集・選考・研修担当の役割分担を行います。

危機管理

国際ロータリーの「青少年と接する際の行動規範に関する声明」を採用する。

4. 目標

- ① 本プログラムに参加する高等学校の拡大と、参加するクラブの推進を図ります。
- ② ROTEX（青少年交換学友会）との更なる連携により本プログラムの充実を図ります。
- ③ 派遣先地区の拡大を図ります。
- ④ 派遣学生の事前オリエンテーションの更なる充実を図ります。
- ⑤ 受入学生のオリエンテーション・情報交換会等による受入学生とのコミュニケーションの

更なる充実を図ります。

- ⑥ ホストクラブ、ホストファミリーとの連携強化とを推進します。
- ⑦ 青少年交換プログラムの各種手続き、作業等多岐にわたる会務を委員会内で共有し、会務の理解を推進します。
- ⑧ 本委員会活動により青少年奉仕の理想を追求し、プログラム参加クラブの増大を図ります。
- ⑨ プログラム参加クラブの理解、増大を図るため、各分区より委員の派遣をお願いし、派遣委員を通じて分区内の各クラブへ少しずつ青少年交換プログラムへの参加を呼びかけて頂きます。
- ⑩ 青少年交換プログラム参加者（派遣学生）が帰国し、高校卒業後、ローターアクトクラブへ加入できるような仕組みをローターアクトクラブと連携を図れたらと考えます。
- ⑪ 72時間ルールを遂行できるように危機管理委員会と密な連絡を図っていく。

5. タイムスケジュール

- 7月：2025-2026年度受入学生歓迎会・2024-2025年度派遣学生帰朝報告会開催
2026-2027年度派遣学生募集
- 8月：2025-2026年度受入学生、ホストクラブ、ホストファミリーオリエンテーション
- 9月：受入学生オリエンテーション
拡大委員会開催（次年度派遣先クラブ調整開始）
派遣候補生選考会（選考、判定）
- 10月：帰国学生、受入学生地区大会参加
- 11月：派遣学生、受入学生オリエンテーション
- 12月：派遣学生、受入学生、ホストクラブ、ホストファミリーオリエンテーション
- 1月：派遣学生オリエンテーション
- 2月：派遣学生オリエンテーション
拡大委員会開催（次年度派遣学生の募集準備、学校説明等の開始）
- 3月：派遣学生、ホストクラブ、ホストファミリーオリエンテーション
- 4月：派遣学生オリエンテーション
受入学生研修旅行
- 6月：2025-2026年度受入学生送別会と2026-2027年度派遣学生壮行会開催
※委員会はオリエンテーション時及び必要に応じ都度開催。

6. 事業予算

収入		支出	
青少年交換資金	3,248,000	ホストクラブ受入事業費	2,500,000
青少年交換委員会活動費	120,000	行事開催費	648,000
		会議開催費	120,000
		ROTEX活動費	100,000
合計	3,368,000	合計	3,368,000

2025-2026年度 第2840地区青少年交換プログラム スポンサー・ホストクラブ 及び 派遣学生・受入学生

種類	派遣学生数	性別	派遣学生 輩出学校	学年	学生 居住地	学校 所在地	スポンサークラブ = ホストクラブ	交換相手地区	受入学生 性別	受入学生 年齢	受入 学生数
長期 交換	3	男子	新島学園	2年	前橋市	安中市	安中RC	5080 アイダホ	男子	16	3
		女子	共愛学園	1年	渋川市	前橋市	渋川IRC	5890 テキサス	女子	17	
短期交換	1	女子	新島学園	中学3年	安中市	安中市	館林RC	5100 オレゴン	女子	15	1

第2840地区青少年交換プログラム実績一覧表 (2010-11年度～2024-25年度)

1. 年度別実績

【長期交換】

年度	派遣 学生数	派遣学生 輩出学校	スポンサークラブ = ホストクラブ	交換相手地区	受入 学生数
2010-11	4	共愛学園	前橋西	5100 オレゴン	4
		共愛学園	前橋東	5650 ネブラスカ	
		樹徳高校	桐生南	5900・5960 ミネソタ	
		新島学園	安中	7170 ニューヨーク	
2011-12	2	樹徳高校	桐生南 (ｽﾌﾟｰｰ)	5650 ネブラスカ	0
		共愛学園	伊勢崎 (ｽﾌﾟｰｰ)	5100 オレゴン	
2012-13	6	共愛学園	前橋西	7170 ニューヨーク	6
		四ツ葉学園	伊勢崎	5100 オレゴン	
		四ツ葉学園	伊勢崎中央	5650 ネブラスカ	
		共愛学園	高崎ｼﾌﾞﾌｵﾆｰ	5900・5960 ミネソタ	
		太田高校	新田	5650 ネブラスカ	
		農大二高	富岡	5900・5960 ミネソタ	
2013-14	5	樹徳高校	桐生南	5650 ネブラスカ	5
		四ツ葉学園	伊勢崎	5100 オレゴン	
		樹徳高校	伊勢崎	5650 ネブラスカ	
		共愛学園	渋川	5900・5960 ミネソタ	
2014-15	3	共愛学園	前橋西	5100 オレゴン	3
		共愛学園	前橋東	6060 ミズーリ	
		四ツ葉学園	伊勢崎	5900・5960 ミネソタ	
2015-16	5	樹徳高校	桐生赤城	7170 ニューヨーク	5
		四ツ葉学園	伊勢崎	5900・5960 ミネソタ	
		共愛学園	高崎北	5890 テキサス	
		館林高校	館林	5630 ネブラスカ	
2016-17	5	新島学園	安中	5100 オレゴン	5
		四ツ葉学園	伊勢崎	5100 オレゴン	
		農大二高	高崎	7170 ニューヨーク	
		健大高崎	高崎東	5630 ネブラスカ	
		四ツ葉学園	太田南	5890 テキサス	
2017-18	4	新島学園	安中	5890 テキサス	4
		四ツ葉学園	伊勢崎	5910 テキサス	
		四ツ葉学園	伊勢崎中央	5890 テキサス	
		木庄高校	藤岡北	5900・5960 ミネソタ	
2018-19	4	共愛学園	前橋東	5630 ネブラスカ	4
		共愛学園	伊勢崎	5900・5960 ミネソタ	
		四ツ葉学園	伊勢崎中央	5890 テキサス	
2019-20	2	新島学園	安中	5100 オレゴン	2
		本庄東	伊勢崎RC	5100 オレゴン	
		新島学園	富岡RC	5890 テキサス	

(右上に続く)

【長期交換】

年度	派遣 学生数	派遣学生 輩出学校	スポンサークラブ = ホストクラブ	交換相手地区	受入 学生数
2019-20	2	本庄東	伊勢崎RC	5100 オレゴン	2
2020-21	1	新島学園	富岡RC	5890 テキサス	(中止)
		四ツ葉学園	伊勢崎RC	5890 テキサス	
2021-22					(中止)
2022-23					(中止)
2023-24					(中止)
2024-25	3	四ツ葉学園	伊勢崎	9560 ｽｰﾀﾞ777	3
		新島学園	安中	3490 台湾	
		新島学園	高崎北	5100 オレゴン	

【短期交換】

年度	派遣 学生数	派遣学生 輩出学校	スポンサークラブ = ホストクラブ	交換相手地区	受入 学生数
2010-11	0				0
2011-12	0				0
2012-13	4	共愛学園	前橋西	5100 オレゴン	2
		四ツ葉学園	群馬境	5100 オレゴン	
		樹徳高校	館林東 (ｽﾌﾟｰｰ)	6250 ウィスコンシン	
2013-14	3	新島学園	安中 (ｽﾌﾟｰｰ)	6250 ウィスコンシン	3
		前橋女子高	前橋西	5100 オレゴン	
		四ツ葉学園	伊勢崎東	5100 オレゴン	
		四ツ葉学園	新田	6250 ウィスコンシン	
2014-15	3	四ツ葉学園	桐生	6250 ウィスコンシン	2
		樹徳高校	桐生南 (ｽﾌﾟｰｰ)	5100 オレゴン	
		四ツ葉学園	太田中央	5100 オレゴン	
2015-16	1	四ツ葉学園	伊勢崎中央	5100 オレゴン	1
2016-17	0				0
2017-18	2	四ツ葉学園	前橋北	5910 テキサス	3
		樹徳高校	桐生	5100 オレゴン	
			桐生	5100 オレゴン	
2018-19	0				0
2019-20	1	不動岡高校	館林RC	5100 オレゴン	1
2020-21	2	共愛学園	伊勢崎中央	5100 オレゴン	中止
		四ツ葉学園	伊勢崎	5100 オレゴン	
2021-22	0				中止
2022-23	0				中止
2023-24	0				中止
2024-25	2	新島学園	安中	マルチ ドイツ	2
		四ツ葉学園	伊勢崎中央	マルチ ドイツ	

2. 分区 (クラブ) 別実績 (長期交換)

分区 年度	第1分区		第2分区A		第2分区B		第3分区		第4分区A		第4分区B		第5分区		第6分区		計
	人数	クラブ	人数	クラブ	人数	クラブ	人数	クラブ	人数	クラブ	人数	クラブ	人数	クラブ	人数	クラブ	
2010-11	2	前橋西 前橋東	1	桐生南											1	安中	4
2011-12			1	桐生南	1	伊勢崎											2
2012-13	1	前橋西			2	伊勢崎 伊勢崎中央	1	高崎ｼﾌﾞﾌｵﾆｰ	1	新田					1	富岡	6
2013-14			1	桐生南	2	伊勢崎 伊勢崎					1	渋川			1	安中	5
2014-15	2	前橋西 前橋東			1	伊勢崎											3
2015-16			1	桐生赤城	1	伊勢崎	1	高崎北			1	館林			1	安中	5
2016-17					1	伊勢崎	2	高崎 高崎東	1	太田南					1	安中	5
2017-18			1	桐生	1	伊勢崎									2	安中	4
2018-19	1	前橋東			1	伊勢崎 伊勢崎中央									1	安中	4
2019-20					1	伊勢崎									1	富岡	2
2020-21					1	伊勢崎											中止
2021-22																	中止
2022-23																	中止
2023-24																	中止
2024-25					1	伊勢崎	1	高崎北							1	安中	3
計	6		5		14		5		2		1		1		10		43

インターアクト委員会

委員長	関口 知義（前 橋RC）	委員	坂田 晴彦（桐生南RC）
副委員長	田原 明美（伊勢崎南RC）	委員	牧野 英輔（高 崎RC）
		担当副幹事	久保 満（高崎北RC）

1. 委員会の使命・役割

インターアクト委員会は、ロータリークラブにおいて、このインターアクトクラブの活動を支援し、青少年の育成に貢献する重要な役割を担っています。

- a) インターアクトに関する地区全体の活動を調整する
- b) ガバナー補佐や各クラブと定期的に連絡を取りながらプログラムへの参加を奨励する。
- c) プログラム参加者を行事に招いてプログラムの体験談を紹介してもらい、インターアクトを推進する。
- d) インターアクトクラブの新規結成を支援する。
- e) インターアクトクラブのカウンセラー（顧問）に青少年の保護を含む研修と支援を行う
- f) 地区内のインターアクトクラブのその他の管理運営機能を監督する。
- g) すべての青少年プログラムへの参加と協力を促し、地区全体で青少年保護を強化するために、他の青少年奉仕地区委員会（RYLAと青少年交換）と連絡を取り合う。

2. 委員会活動の現状認識

インターアクトクラブとは、12歳から18歳の青少年が、ボランティア活動や海外のインターアクト会員との交流を通じて視野を広げ、国際感覚を養っています。

ロータリークラブの支援を受けて設立されるインターアクトクラブでは、仲間と一緒に活動しロータリーの「超私の奉仕」を学び、行動力を身につけます。インターアクトは、ロータリークラブからの指導と支援を受け、プロジェクトを実施し、リーダーシップを養います。

地区内にある16のインターアクトクラブに対し、適切な助言と支援を行い青少年の健全育成に努めます。また、提唱クラブのロータリアンには学校側との関係性や連絡を密にして頂き、インターアクトに安全でよりよい機会の提供をお願いします。

また、毎年、国際交流事業として、台湾インターアクトクラブとの一泊ホームステイを含んだ相互交流を行っております。

同地区間のインターアクト並びにロータリークラブとの関係強化しロータリーアクトに繋げることを目指し取り組んで参ります。

3. 委員会事業計画

①インターアクト年次大会

テーマ：未定 講師：前橋市 防災危機管理課

日時：7月19日（土） 9時開場 会場：前橋市民文化会館

提唱：前橋ロータリークラブ・前橋育英高等学校

②国際交流事業

台湾研修 2026年3月下旬予定

台湾学生受入事業 2026年4月中旬予定

新潟 2560 地区と合同事業

4. 目標

定款に掲げられた9の目標を理解し、世界中の若者とより広く理解及び親善を作り出す機会の提供をするものとする。

- (1) 建設的な指導力を養成し、自己の完成を図ること。
- (2) 他人に対する思いやりと、他人の力になる心構えを奨励し、これを実践すること。
- (3) 家庭と家族の重要性に対する認識を涵養（かんよう）すること。
- (4) 個人の価値を認める考え方に立脚して、他人の権利を尊重する観念を養うこと。
- (5) 個人的成功の為にも、地域社会の改善の為にも、更には団体としての業績を上げる為にも、各人が責任を負うことがその基本であると強調すること。
- (6) 自己能力の開発、時間管理、個人の資金管理などの生活力を養うこと。
- (7) 全ての有用な職業は社会に奉仕する機会であるとして、その品位と価値を認識すること。
- (8) 地域社会、国家及び世界の問題についての知識と理解を深める機会を提供すること。
- (9) 国際理解と全人類に対する善意を増進する為に、個人として、また団体として進むべき道を切り開くこと。

5. タイムスケジュール

2025年 6月 委員会開催（顔合わせ・年次大会確認）

2025年 7月 委員会開催（年次大会確認・台湾研修確認）

2025年 12月 委員会開催（台湾研修について）

2026年 2月 台湾研修オリエンテーション

2026年 3月 台湾研修

2026年 3月 委員会開催（台湾学生受入について）

2026年 4月 台湾学生受入

6. 事業予算

収入		支出	
インターアクト振興資金	2,842,000	年次大会開催費	750,000
インターアクト年次大会協力金	150,000	台湾研修訪問費	1,200,000
		台湾研修受入費	980,000
		予備費	62,000
合計	2,992,000	合計	2,992,000

7. その他

提唱クラブ及び学校名

	提唱クラブ	学校名
1	前橋 RC	前橋育英高等学校
2	前橋西 RC	群馬県立前橋商業高等学校
3	前橋東 RC	共愛学園高等学校
4	前橋南 RC	クラーク記念国際高校前橋キャンパス
5	桐生 RC	桐生第一高等学校
6	桐生南 RC	明照学園樹徳高等学校
7	桐生西 RC	群馬県立大間々高等学校
8	伊勢崎南 RC	伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校
9	高崎南 RC	高崎商科大学附属高等学校
10	高崎東 RC	高崎健康福祉大学高崎高等学校
11	高崎 RC	高崎市立高崎経済大学附属高等学校
12	太田 RC	太田市立太田高等学校
13	新田 RC	群馬県立新田暁高等学校
14	館林 RC	群馬県立館林高等学校
15	沼田 RC	利根沼田学校組合立利根商業高等学校
16	安中 RC	新島学園中学校高等学校

RYLA・学友委員会

委員長 小澤 健一（高 崎RC）
副委員長 藤澤 真史（桐生赤城RC）

委員 村上 大樹（伊勢崎東RC）
担当副幹事 堀口 晋吾（高崎北RC）

1. 委員会の使命・役割

1) RYLA について

RYLA とは、Rotary Youth Leadership Award であり、14 歳から 30 歳までの青少年を対象とした短期集中型の指導力育成プログラムのことです。日本語では「ロータリー指導者育成プログラム」と訳されています。

このプログラムは、ロータリーが、青少年に対してリーダーシップスキルを開発する研鑽の場を提供し、地域社会に良い変化をもたらす人材を育成することを目的とします。また、プログラムを通して青少年にロータリーの奉仕の精神を浸透させ、生涯にわたって奉仕の取り組みを行うようになるきっかけにもなります。さらに、青少年に未来を切り開く力を与えるプログラムを行うことは、ロータリーの青少年奉仕の実践となります。

2) 学友について

2015-2016 年度に RI の学友の定義が広がり、インターアクト、ローターアクト、青少年交換、国際親善奨学生、米山奨学生、グローバル補助金による奨学生、GSE、職業研修チーム、RYLA、ロータリー平和フェローを含む、全てのロータリープログラム参加者が含まれるようになりました。委員会では、各クラブに協力を仰ぎ、学友の名簿の作成・更新を主とし、学友同士・学友とロータリアンのコミュニケーションを深めていければと思います。

2. 委員会活動の現状認識

年に1度、RYLAプログラムの計画・募集・実施

ほとんどが、委員長と所属クラブにより、計画・進行しており、副委員長以下は委員会時に報告を受けるだけである。

学友に関しては、委員会メンバーはノータッチである。

3. 委員会事業計画

- ・防災を題材にし、その場・その時、いかにリーダーシップスキルを発揮することが出来るのか、講演とグループワークを通し、学ぶ。
- ・学友会の名簿作成の継続、並びに学友メンバーにもRYLA研修会に参加を促し、参加者並びにロータリアンと交流の機会を持つ。
- ・危機管理委員会と連携し、危機管理意識の啓発

4. 目標

- ・参加対象者への参加促進
- ・危機管理意識の向上

5. タイムスケジュール

2025年 6月 第一回委員会開催予定
7月 ホストクラブ・高崎RCと打ち合わせ

- 2025年 8月 第二回委員会開催予定
 9月 講師・会場・内容 確定
 10月 案内 発送
 12月 RYLA研修会開催
 2026年 1月 報告書 作成

6. 事業予算

収入		支出	
RYLA 活動資金	1,258,600	事業費 講演会 謝金	500,000
参加費 @3,000*80	240,000	会場費	300,000
		昼食費 120名くらいとして	120,000
		雑費	100,000
		予備費	478,600
合計	1,498,600	合計	1,498,600

7. その他

- ・事業成功のためには、所属クラブとの連携は、欠かせないことであるので、会長・幹事・クラブ担当者と密に連絡を取り、事業の説明を行い、協力を仰ぐ。

8. RYLA プログラム実績データ

年度・回数	開催日	会場・ホスト RC	テーマ
2017-18年度 第17回 (通算37回)	2017年 10月28日(土) 10月29日(日)	妙義グリーンホテル 安中RC	神秘的な妙義山の麓で、自然を感じ・考え・そして歩こう
2018-19年度 第18回 (通算38回)	2018年 11月3日(土) 11月4日(日)	サンコー72 カントリークラブ 高崎RC	ゴルフを学び、大自然を感じ、生きる力を考え、そして共生を!
2019-20年度 第19回 (通算39回)	2019年 10月19日(土) 10月20日(日)	上州翻誌神社 鬼石観光ホテル八塩館藤 岡南RC	Innovation make it happen! ～夢をかなえる会議ファシリテーター講座～
2022-23年度 第21回 (通算41回)	2023年 5月13日(土)	高崎市総合福祉センター 高崎シンフォニーRC	人生のターニングポイント ～生きる目的を見つけ、コミュニケーションスキルを磨き、共に未来を創ろう～
2023-24年度 第22回 (通算42回)	2024年 3月10日(日)	金島ふれあいセンター 渋川RC	防災(危機管理) ～自然災害等の危機に備えるためにリーダーとしての持つべき意識を高めよう～
2024-25年度 第23回 (通算43回)	2024年 12月8日(日)	前橋市第三コミュニティ センター 前橋RC	今しかないこの時に、全力で! ～体感型アクティビティでスキルアップ～

※2020-21年度及び2021-22年度は新型コロナウイルス感染症による開催リスクを踏まえ中止

ローターアクト委員会

委員長	荻原 靖規 (太 田 R C)	委 員	青木 亮太 (前橋南 R C)
副委員長	青山 豊 (桐生西 R C)	委 員	佐野 和穂 (伊勢崎 R A C)
委 員	古澤 泰明 (前橋南 R C)	担当副幹事	堤 謙治 (高崎北 R C)

1. 委員会の使命・役割

- ・地区内ローターアクトクラブに対し助言や支援を行い、ローターアクトの活動をサポートし、ロータリアンとローターアクトとの連絡役となり地区ローターアクト役員と共に活動していく。
- ・ローターアクトに関する地区の活動及びプログラム等を一般的に広めること。

2. 委員会活動の現状認識

ローターアクトは、18歳以上の青年男女が集まり、リーダーシップや専門的な能力を育みながら、地域活動としてボランティアや社会で起きている課題等に取り組むためのプログラムです。

毎月実施しているローターアクト会長幹事会に参加し情報の共有を図り、ローターアクトが抱えている課題等へのアドバイスやサポートをしております。

3. 委員会事業計画

ローターアクト委員会及びローターアクト会長・幹事会への参加及び各委員会との連携を通して、目標達成に向け活動して参ります。

4. 目標

- ・ローターアクト会員増強
- ・新ローターアクトクラブの設立
- ・米山記念奨学生のローターアクト参加の促進
- ・RYLA への参加
- ・2026-2027 年度開催予定の全国ローターアクト研修への協力
- ・ローターアクトクラブ単独による補助金事業の実施
- ・危機管理について
- ・ローターアクトクラブ会長・幹事の RLI セミナーへの参加
- ・ローターアクトの公共イメージ向上 (ホームページ及び SNS 制作 等)

5. タイムスケジュール

- ① ローターアクト会長・幹事会
- ② ローターアクト委員会
- ③ ローターアクトクラブ会長幹事研修会議 2025 年 4 月 5 日
- ④ アクトの日 各クラブにて活動

- ⑤ ガバナー公式訪問
- ⑥ 群馬新潟合同行事 2025年10月群馬主催予定
- ⑦ 2840地区 地区大会参加 2025年10月25日
- ⑧ RYLA 研修セミナー 2025年12月
- ⑨ 第24回地区年次大会 2025年3月上旬
- ⑩ 関東ブロック研修会 2026年4月下旬
- ⑪ 第38回全国RA研修会 2026年4月開催地 東京

6. 事業予算

収入		支出	
ローターアクト振興事業資金	1,258,600円	ローターアクト活動費	1,333,600円
ローターアクト年次大会協力金	175,000円	委員会活動費等	170,000円
ローターアクト委員会活動費	70,000円		
合計	1,503,600円	合計	1,503,600円

7. その他

地区内ローターアクトクラブ一覧

(2025年3月1日現在)

クラブ名	提唱RC	会員数	創立年月日
桐生RAC	桐生RC	8名	1969年6月23日
桐生西RAC	桐生西RC	13名	1990年3月2日
太田RAC	太田RC	2名	1971年7月1日
前橋RAC	前橋RC	12名	1970年8月4日
前橋南RAC	前橋南RC	14名	1995年3月10日
伊勢崎RAC	伊勢崎RC	8名	1970年8月6日
高崎北RAC	高崎北RC	10名	1972年6月7日
沼田RAC	沼田RC	8名	1971年10月21日
合計		75名	

米山記念奨学委員会

アドバイザー	竹内 正幸 (太 田 R C)	委 員	堀川 恵子 (伊勢崎中央 R C)
委員長	矢内 良春 (伊勢崎南 R C)	委 員	小保方 由紀子 (高 崎 R C)
副委員長	川嶋 潤 (前橋東 R C)	委 員	島田 光貴 (太 田 R C)
副委員長	西田 俊太郎 (沼 田 R C)	委 員	齊藤 一則 (館 林 R C)
副委員長	森岡 敦史 (富岡中央 R C)	委 員	古池 好幸 (沼田中央 R C)
委 員	荒川 優 (前橋西 R C)	委 員	小林 政貴 (渋川みどり R C)
委 員	田嶋 景姫 (前橋東 R C)	委 員	川島 博 (安 中 R C)
委 員	大友 一之 (桐 生 R C)	委 員	静 朋人 (碓氷安中 R C)
委 員	由井 政喜 (伊勢崎 R C)	委 員	黒澤 秋彦 (富岡かぶら R C)
委 員	高沢 克治 (伊勢崎中央 R C)	担当副幹事	大井田 健一 (高崎北 R C)

1. 委員会活動の現状認識

ロータリー米山記念奨学事業は、国際ロータリーに認められた日本独自の 34 地区合同の奉仕事業です。この事業は、ロータリアンから寄せられる寄付金を財源としており、日本で学ぶ外国人留学生の中から優秀な学生を選考し、奨学金を支給するという事業です。

その目的は、単に奨学金を支給するというだけではなく、各クラブに所属してもらい、ロータリーの奉仕の精神を学び、将来、日本と母国との架け橋となり、また、ロータリーの良き理解者を育成するということにあります。

当地区においては、ここ数年、特別寄付率が全国第一位・二位というトップクラスの優秀な寄付率があります。そのお陰で本年は 29 名の奨学生を支援することができます。

今後とも、会員皆様には米山記念奨学事業にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

2. 委員会事業計画

年間スケジュールに沿って委員会活動を実行する。

3. 目標

- (1) 米山記念奨学会の活動を通じて、世界の平和、国際理解、社会奉仕を理解する
- (2) 奨学生を支援しつつ、グローバル的視野で自らも成長してゆく
- (3) 米山記念奨学生を過去に受け入れたことのないクラブを一つでも少なくする
- (4) 地区(米山委員)と各クラブ(米山委員長)との情報交換
- (5) 米山寄付目標額一人当たり 16,000 円以上
- (6) 地区の特別寄付率 90%以上
- (7) 他の青少年奉仕系の委員会との連携
- (8) 米山記念奨学生のローターアクトクラブへの加入を促進
- (9) R Y L A への参加促進

4. 年間スケジュール

2025年 8月 26日 (火)	米山指定校説明会
2025年 10月 4日 (土)	米山記念奨学生カウンセラーセミナー 地区米山記念奨学研修セミナー
2025年 10月 25日 (土)	地区大会
2025年 11月 29日 (土)	米山記念奨学生選考会面接員オリエンテーション 米山学友会忘年会
2026年 1月 24日 (土)	米山記念奨学生選考会
2026年 3月 7日 (土)	米山記念奨学生終了式・奨学生歓送会
2026年 4月 18日 (土)	米山記念奨学生カウンセラーオリエンテーション 新規米山記念奨学生・カウンセラーオリエンテーション 継続米山記念奨学生資格審査面談
2026年 6月 20日 (土)	米山学友会総会 米山記念奨学生指定校選定会議

5. 実績データ

米山記念奨学生の受入れ人数 (2840 地区)	2022 学年度	26 名 (新規 19 名、継続 7 名)
	2023 学年度	28 名 (新規 18 名、継続 10 名)
	2024 学年度	25 名 (新規 17 名、継続 8 名)
	2025 学年度	29 名 (新規 20 名、継続 9 名)

6. 事業予算

収入の部		支出の部	
米山記念奨学生振興資金	406,000 円	視察研修会 バス代、昼食代、保険代	406,000 円
合計	406,000 円	合計	406,000 円

第2840地区 米山記念奨学生世話クラブ実績一覧

クラブ名	2021学年度			2022学年度			2023学年度			2024学年度			2025学年度		
	大学名	性別	国名	大学名	性別	国名	大学名	性別	国名	大学名	性別	国名	大学名	性別	国名
前橋	前橋工科大学	男	モンゴル	群馬大学	女	モンゴル	共愛学園 前橋国際大	男	インドネシア	共愛学園 前橋国際大	男	インドネシア	共愛学園 前橋国際大	男	ブラジル
前橋西	共愛学園 前橋国際大	男	ベトナム	共愛学園 前橋国際大	男	ベトナム	群馬大学	女	モンゴル	前橋工科大学	男	中国	群馬大学	女	ベトナム
前橋東	群馬大学	女	モンゴル	群馬大学	女	モンゴル	群馬大学	男	エジプト				群馬大学	男	ベトナム
前橋北	共愛学園 前橋国際大	女	ベトナム							群馬大学	女	モンゴル	群馬大学	女	ロシア
前橋南				群馬大学	女	中国							群馬大学	女	中国
前橋中央				上武大学	男	バングラデシュ	関東学園大学	女	ベトナム	関東学園大学	女	ベトナム	群馬大学	女	中国
桐生	群馬大学	女	中国	群馬大学	女	中国	群馬大学	女	中国	群馬大学	男	中国	群馬大学	男	中国
桐生南				群馬大学	男	ベトナム	群馬大学	男	ベトナム	群馬大学	男	ベトナム	群馬大学	男	ベトナム
桐生西	群馬大学	女	モンゴル	群馬大学	男	ベトナム	群馬大学	女	ベトナム	群馬大学	女	ベトナム	群馬大学	女	イラン
桐生赤城	群馬大学	男	カンボジア	群馬大学	男	中国	群馬大学	男	中国	群馬大学	男	ベトナム	群馬大学	女	タイ
							群馬大学	男	ベトナム						
伊勢崎	上武大学	女	ベトナム	上武大学	女	ベトナム	共愛学園 前橋国際大	男	ネパール	上武大学	女	モンゴル	上武大学	女	モンゴル
群馬境	上武大学	男	ベトナム	共愛学園 前橋国際大	男	ブラジル	共愛学園 前橋国際大	男	ブラジル	上武大学	女	インドネシア	群馬大学	男	カンボジア
伊勢崎中央	上武大学	女	ベトナム	関東学園大学	男	スリランカ	関東学園大学	女	ベトナム	関東学園大学	女	ベトナム	群馬大学	男	カンボジア
伊勢崎南	群馬大学	男	コートジボワール	関東学園大学	女	ベトナム	関東学園大学	女	ベトナム	高崎経済大学	男	中国	高崎経済大学	男	中国
伊勢崎東	群馬大学	男	ベトナム	群馬大学	男	インドネシア	群馬大学	男	インドネシア	高崎経済大学	女	中国	高崎経済大学	女	中国
高崎	高崎経済大学	女	中国	高崎経済大学	女	中国	上武大学	女	ベトナム	上武大学	女	中国	群馬大学	男	モンゴル
高崎南										高崎経済大学	男	中国	高崎経済大学	男	中国
高崎北	東洋大学	女	中国	高崎経済大学	男	中国	高崎経済大学	男	中国				高崎経済大学	男	韓国
高崎東	高崎経済大学	女	ミャンマー	高崎経済大学	女	中国	高崎経済大学	女	中国	高崎経済大学	女	中国	高崎経済大学	男	韓国
高崎シフォン	高崎商科大学	女	中国	高崎経済大学	女	中国	高崎経済大学	女	中国	高崎経済大学	男	中国			
高崎セントラル															
太田	群馬大学	女	モンゴル	関東学園大学	男	モンゴル	関東学園大学	男	モンゴル	関東学園大学	男	中国	関東学園大学	男	中国
太田西															
太田南															
新田															
太田中央	関東学園大学	男	インドネシア	関東学園大学	男	インドネシア							関東学園大学	女	中国
館林	東洋大学	男	中国				関東学園大学	女	モンゴル	共愛学園 前橋国際大	男	ネパール	共愛学園 前橋国際大	男	ネパール
大泉	関東学園大学	女	スリランカ												
館林東															
館林レゾ	関東学園大学	女	インドネシア												
渋川													前橋工科大学	女	フィリピン
沼田							高崎経済大学	女	中国	共愛学園 前橋国際大	男	インドネシア	共愛学園 前橋国際大	男	インドネシア
中之条															
沼田中央															
渋川みどり				高崎商科大学	女	中国	上武大学	女	中国	上武大学	男	ネパール	高崎経済大学	女	モンゴル
富岡	高崎経済大学	女	ベトナム	高崎経済大学	男	韓国	高崎経済大学	男	韓国				群馬大学	女	モンゴル
藤岡	高崎経済大学	女	中国	高崎経済大学	男	中国	上武大学	男	ベトナム	上武大学	女	中国			
安中	高崎経済大学	男	韓国	高崎経済大学	男	韓国	上武大学	女	中国	高崎商科大学	女	ベトナム	上武大学	男	中国
藤岡北							高崎経済大学	女	韓国	高崎経済大学	女	韓国			
富岡中央	高崎経済大学	女	ベトナム	上武大学	女	ベトナム	上武大学	女	ベトナム				高崎経済大学	女	中国
碓氷安中															
藤岡南															
富岡かぶら	高崎経済大学	女	中国	高崎経済大学	女	中国	高崎経済大学	女	中国	高崎経済大学	女	中国	上武大学	男	中国

**2025-2026年度 国際ロータリー第2840地区
上期・下期主要行事予定表**

日付	時間帯	項目	場所
2024年			(網掛けは暫定)
9月 1(日)		竹中ガバナーエレクト事務所開設	
8(日)	10:30～	★第2回ガバナー諮問委員会(森年度主催)	前橋商工会議所会館
8(日)	13～	★第3回ガバナー補佐・委員長予定者合同会議(森年度主催)	前橋商工会議所会館
11月 16(土)	16～	第1回ガバナー補佐会議	たかさき書齋
12月 7(土)	14～	第1回ガバナー補佐・委員長予定者合同会議	ロイヤルチェスター前橋
10(火)16(月)～20(金)		委員長予定者ヒアリング	ガバナー事務所
2025年			
1月 25(土)	16～	★第3回ガバナー諮問委員会(森年度主催)	ロイヤルチェスター前橋
25(土)	18～	★竹中ガバナーエレクト壮行会(森年度主催)	ロイヤルチェスター前橋
2月 2(日)	13～	第1回地区ラーニング・管理運営委員会	前橋問屋センター会館
2(日)	14～	第2回ガバナー補佐会議	前橋問屋センター会館
2(日)	15～	第2回ガバナー補佐・委員長予定者合同会議	前橋問屋センター会館
9(日)～13(木)		国際協議会(竹中ガバナーエレクト出席)	オーランド(フロリダ州)
22(土)	10～	★第4回ガバナー諮問委員会・GE報告(森年度主催)	前橋商工会議所会館
22(土)	13～	地区チームラーニングセミナー	前橋商工会議所会館
22(土)	16～	第2回地区ラーニング・管理運営委員会	前橋商工会議所会館
3月 1(土)	午後	★(米山奨学生修了式/歓送会)	ホテルメトロポリタン高崎
8(土)～9(日)	10～	会長エレクト・次年度幹事ラーニングセミナー	磯部ガーデン
27(木)～30(日)		★(インターアクト台湾国際交流事業)	
4月 5(土)	14～	ローターアクト研修	高崎市総合福祉センター
13(日)	10～	第3回地区ラーニング・管理運営委員会	ガバナー事務所
13(日)	13～	第3回ガバナー補佐・委員長予定者合同会議	前橋問屋センター会館
20(日)	午前	★(新規米山奨学生カウンセラーオリエンテーション)	前橋問屋センター会館
20(日)	午後	★(新規米山奨学生・カウンセラーオリエンテーション)	前橋問屋センター会館
20(日)	午後	★(継続米山記念奨学生資格面談)	前橋問屋センター会館
5月 18(日)	終日	クラブリーダーシップ・ラーニング・セミナー 式典	群馬音楽センター
18(日)	夜	クラブリーダーシップ・ラーニング・セミナー 懇親会	ホテルグランビュール高崎
6月 7(土)	午後	★(米山記念奨学生指定校選定会議・米山学友会総会)	ロイヤルチェスター前橋
14(土)	午後	★第5回ガバナー諮問委員会(森年度主催)	たつ吉
14(土)	午後	★現新地区役員合同連絡協議会(森年度主催)	たつ吉
16(月)	15～	クラブ管理運営セミナー	高崎商工会議所6階ホール
21(土)～25(水)		★国際大会	カルガリー
		★(青少年交換受入学生歓迎会・夏期交換学生歓迎会)	
7月 1(火)		竹中ガバナー事務所開設	
13(日)	10～	第1回ガバナー諮問委員会	ホテルグランビュール高崎
13(日)	13～	第4回地区ラーニング・管理運営委員会	ホテルグランビュール高崎
16(水)	18:30～	<ロータリー野球大会コミッショナー会議>	ホテルグランビュール高崎
19(土)	午前	(インターアクト年次大会)	前橋市民文化会館
		(青少年交換長期派遣学生壮行会)	
8月 3(日)	13～	(R L I ファシリテーター研修会)	前橋問屋センター会館
24(日)	13:30～	クラブ活性化ワークショップ	前橋問屋センター会館
26(火)	13～	(米山指定校説明会)	前橋問屋センター会館
30(土)	午前	<ロータリー野球大会 第1日目 開会式>	前橋桃ノ木川グラウンド
		(青少年交換長期受入学生歓迎会)	
9月 1(月)		三好ガバナーエレクト事務所開設	
6(土)	午前	<ロータリー野球大会 第2日目>	前橋桃ノ木川グラウンド

日付	時間帯	項目	場所
9月 13(土)	午後	ロータリー財団補助金管理セミナー	前橋問屋センター会館
13(土)	午前	<ロータリー野球大会 第3日目>	前橋桃ノ木川グラウンド
14(日)	午前	第2回ガバナー諮問委員会	前橋問屋センター会館
14(日)	午後	第4回ガバナー補佐・委員長合同会議	前橋問屋センター会館
14(日)	15:30~	第5回地区ラーニング・管理運営委員会	前橋問屋センター会館
20(土)	午前	<ロータリー野球大会 第4日目 閉会式>	前橋桃ノ木川グラウンド
27(土)		地区大会記念ゴルフ大会	サンコーカントリークラブ
28(日)	終日	(R L Iセミナー Part I)	前橋問屋センター会館
		(青少年交換派遣学生選考会)	
10月 4(土)	午前	(米山記念奨学生カウンセラー研修会)	前橋問屋センター会館
4(土)	午後	(地区米山研修セミナー)	前橋問屋センター会館
19(日)	終日	(R L Iセミナー Part II)	前橋問屋センター会館
19(日)	午前	<ロータリー野球大会 予備日>	前橋桃ノ木川グラウンド
24(金)	午後	地区リーダーシップセミナー	ホテルメトロポリタン高崎
24(金)	夜	R I会長代理歓迎晩餐会	ホテルメトロポリタン高崎
25(土)	午後	地区大会 式典	高崎芸術劇場
25(土)	夜	地区大会 懇親会	ホテルメトロポリタン高崎
11月 7(金)~9(日)		(ロータリー全国選抜野球大会)	
9(日)	終日	(R L Iセミナー Part III)	前橋問屋センター会館
29(土)	午後	(米山記念奨学生選考会面接員オリエンテーション)	ロイヤルチェスター前橋
29(土)	夕方	(米山学友会忘年会)	ロイヤルチェスター前橋
		新会員セミナー	
12月 6(土)	午後	第3回ガバナー諮問委員会	ロイヤルチェスター前橋
6(土)	夕方	三好ガバナーエレクト壮行会	ロイヤルチェスター前橋
		(R Y L A研修セミナー)	
2026年			
1月 11(日)~15(木)		国際協議会 (三好ガバナーエレクト参加)	オーランド(フロリダ州)
24(土)	終日	(米山記念奨学生選考会)	前橋問屋センター会館
		(職業奉仕セミナー)	
2月 14(土)	午前	第4回ガバナー諮問委員会・GE報告会	前橋問屋センター会館
14(土)	午後	地区チームラーニングセミナー (三好年度)	前橋問屋センター会館
23(月)		ロータリーデー	
		(ローターアクト年次大会)	
3月 7(土)	午後	(米山記念奨学生終了式・歓送会)	ホテルメトロポリタン高崎
14(土)~15(日)		会長エレクト・次年度幹事ラーニングセミナー (三好年度)	磯部ガーデン
20(金・祝)	午後	新会員セミナー	前橋問屋センター会館
		(インターアクト台湾国際交流事業・派遣)	
4月 18(土)	午前	(新規米山記念奨学生カウンセラーオリエンテーション)	前橋問屋センター会館
18(土)	午後	(新規米山記念奨学生・カウンセラーオリエンテーション)	前橋問屋センター会館
18(土)	午後	(継続米山記念奨学生資格審査面談)	前橋問屋センター会館
		新会員セミナー	
		(インターアクト台湾国際交流事業・受入れ)	
		(青少年交換ホストクラブ第1回オリエンテーション)	
5月 16(土)	午後	地区補助金最終審査会	前橋商工会議所会館
16(土)	終日	クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー (三好年度)	
6月 8(月)	14~	クラブ管理運営セミナー (三好年度)	前橋問屋センター会館
13(土)~17(水)		国際大会	台北
20(土)	午後	(米山学友会総会)	ロイヤルチェスター前橋
20(土)	午後	(米山記念奨学生指定校選定会議)	ロイヤルチェスター前橋
27(土)	午後	第4回ガバナー諮問委員会	ロイヤルチェスター前橋
27(土)	午後	現新地区役員合同連絡会議	ロイヤルチェスター前橋
		(青少年交換受入学生歓迎会・夏季交換学生歓迎会)	

2025-2026年度 周年行事予定クラブ

年	月	日	曜日	周年	クラブ名	場 所
2026	4	11	土	60	桐生南RC	美喜仁桐生文化会館
2026	4	12	日	40	沼田中央RC	ホテルベラヴィータ
2026	4	19	日	30	高崎シンフォニーRC	ホテルメトロポリタン高崎
	未	定		25	藤岡南RC	未 定

2025-2026年度 IM開催予定表

年	月	日	曜日	分 区	場 所
				第1分区	
				第2分区A	
				第2分区B	
				第3分区	
				第4分区A	
				第4分区B	
				第5分区	
				第6分区	

国際ロータリー第2840地区 2025-2026年度

ガバナー公式訪問要領

1. ガバナー公式訪問は、単独クラブ訪問とします。
2. 訪問時は、ガバナー、ガバナー補佐、及び地区幹事又は分区担当副幹事のいずれか1名の計3～4名が原則訪問します。
3. 公式訪問前クラブ協議会の実施
ガバナー補佐は、公式訪問前2週間前までに所管のクラブを訪問し、例会前後の時間等を利用してクラブ役員との協議会を実施し、各クラブの現況や課題、クラブの目標や地区運営に関する意見等について協議するとともに、公式訪問についての事前協議を行ってください。
また、その結果を所定の様式にて公式訪問の1週間前までにガバナー事務所まで報告してください。上記は、数名のクラブ役員との懇談でも結構です。
4. クラブ例会内での公式訪問の趣旨説明
ガバナー補佐は、公式訪問前のクラブの例会において、公式訪問の趣旨や要領、また、現状の地区運営の状況などを10分～15分程度、クラブ会員に対して説明し、出席を奨励してください。
5. 公式訪問の進め方
 - (1) クラブ役員との懇談会〔例会前50分〕
会長、幹事、会長エレクト、クラブ・ラーニング・ファシリテーター、副会長、会員増強委員長、公共イメージ委員長、クラブが課題と認識している担当委員長等、及び地区役員、インターアクト、ローターアクト提唱クラブは、各会長も出席してください。
 - (2) 例会
ガバナースピーチとして20分程度時間を割いてください。PC、プロジェクター、スクリーンの準備をお願いします。
 - (3) クラブ協議会〔例会後60分〕
懇談会参加者のほか、各委員長、新入会員を義務出席とし、会員全員に出席を奨励してください。本年度は、特に地区とクラブの双方向性をキーワードとしておりますので、双方向の協議が十分できるような設営をお願いします。協議内容については以下の項目を入れてください。
 - ①クラブの課題
 - ②クラブの目標（特に会員増強計画）の進捗状況
 - ③地区運営に関するクラブのご意見
6. 公式訪問の目的は、国際ロータリー細則に以下のように規定されています。
個々のクラブあるいは複数クラブ合同の例会への公式訪問を行うこと。その際には、以下を行うため、ガバナーの出席が最大限の成果を生むような機会を選ぶようにする。
 - ①ロータリーの重要な問題に焦点を当て関心を持たせる。
 - ②弱体クラブ、あるいは問題を抱えたクラブに関心を払う。
 - ③奉仕活動参加へのロータリアンの意欲をかきたてる。
 - ④クラブの定款と細則が、ロータリーの組織規程を遵守していることを確認する。
 - ⑤顕著な貢献をした地区内のロータリアンをガバナー自ら表彰する。
7. 各クラブは現況報告書（4部）を8月31日までにガバナー事務所へ提出してください。
9月13日までに訪問するクラブは仮報告書を、訪問2週間前までに提出してください。

2025-2026年度 ガバナー公式訪問日程表

2025年	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
8月						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
		桐生 (第2分区A)		桐生南 (第2分区A)		桐生西 (第2分区A)	
	24/31	25	26	27	28	29	30
			桐生赤城 (第2分区A)				

2025年	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
9月		1	2	3	4	5	6
			富岡かぶら (第6分区)	館林東 (第4分区B)		藤岡南 (第6分区)	
	7	8	9	10	11	12	13
			伊勢崎南 (第2分区B)	新田 (第4分区A)	館林ミレニアム (第4分区B)		
	14	15	16	17	18	19	20
			安中 (第6分区)	富岡 (第6分区)	藤岡 (第6分区)	館林 (第4分区B)	
	21	22	23	24	25	26	27
				伊勢崎 (第2分区B)	富岡中央 (第6分区)	太田中央 (第4分区A)	
	28	29	30				

2025年	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
10月				1	2	3	4
				大泉 (第4分区B)	沼田中央 (第5分区)		
	5	6	7	8	9	10	11
			藤岡北 (第6分区)	太田西 (第4分区A)	碓氷安中 (第6分区)		
	12	13	14	15	16	17	18
			沼田 (第5分区)		渋川 (第5分区)	前橋西 (第1分区)	
	19	20	21	22	23	24	25
						(地区RSS)	(地区大会)
	26	27	28	29	30	31	
			中之条 (第5分区)	前橋南 (第1分区)	群馬境 (第2分区B)		

2025-2026年度 ガバナー公式訪問日程表

2025年	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
11月							1
	2	3	4	5	6	7	8
			渋川みどり (第5分区)	前橋中央 (第1分区)	太田 (第4分区A)		
	9	10	11	12	13	14	15
		伊勢崎東 (第2分区B)	太田南 (第4分区A)		伊勢崎中央 (第2分区B)		
	16	17	18	19	20	21	22
	23/30	24	25	26	27	28	29
			前橋 (第1分区)		前橋東 (第1分区)		

2025年	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
12月		1	2	3	4	5	6
		高崎 (第3分区)	高崎南 (第3分区)			高崎シンフォニー (第3分区)	
	7	8	9	10	11	12	13
		前橋北 (第1分区)	高崎セントラル (第3分区)		高崎東 (第3分区)		
	14	15	16	17	18	19	20
				高崎北 (第3分区)			
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31			

2026年	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1月					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31

インターアクト・ローターアクト・RYLA 輪番表

年度	ガバナー	インターアクト			ローターアクト	RYLA研修
		年次大会			委員会	担当委員長
		主催校	提唱RC	台湾研修	委員長	ホストクラブ
2004～2005	山崎年度					富岡
2005～2006	曾我年度					沼田
2006～2007	津久井年度					新田
2007～2008	横山年度					桐生
2008～2009	松倉年度					富岡中央
2009～2010	牛久保年度					前橋西
2010～2011	福田年度				伊勢崎	館林ミレニアム
2011～2012	安藤年度				伊勢崎	太田
2012～2013	疋田年度				藤岡	前橋南
2013～2014	本田年度				高崎北	館林
2014～2015	竹内年度				前橋	高崎セントラル
2015～2016	生方年度				伊勢崎	伊勢崎中央
2016～2017	豊川年度				沼田	沼田中央
2017～2018	田中年度	群馬県立新田暁高等学校	新田	★	伊勢崎	安中
2018～2019	宮内年度	クラーク記念国際高等学校前橋キャンパス	前橋南		伊勢崎	高崎
2019～2020	森田年度	太田市立太田高等学校	太田	★	高崎北	藤岡南
2020～2021	山田年度	群馬県立藤岡中央高等学校	藤岡南		前橋	太田中央
2021～2022	足立年度	群馬県立前橋商業高等学校	前橋西	★	伊勢崎	太田中央
2022～2023	中野年度	群馬県立館林高等学校	館林		高崎北	高崎シンフォニー
2023～2024	保坂年度	群馬県立大間々高等学校	桐生西	★	高崎北	渋川
2024～2025	森年度	高崎健康福祉大学高崎高等学校	高崎東		伊勢崎	前橋
2025～2026	竹中年度	前橋育英高等学校	前橋	★	太田	高崎
2026～2027	三好年度	伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校	伊勢崎南		桐生西	桐生赤城
2027～2028		樹徳高等学校	桐生南	★	前橋南	伊勢崎東
2028～2029		高崎市立高崎経済大学付属高等学校	高崎		沼田	第6分区
2029～2030		共愛学園高等学校	前橋東	★	前橋	第5分区
2030～2031		利根沼田学校組合立利根商業高等学校	沼田		高崎北	第4分区B
2031～2032		高崎商科大学附属高等学校	高崎南	★	伊勢崎	第4分区A
2032～2033		桐生第一高等学校	桐生		桐生	第1分区
2033～2034		新島学園高等学校	安中	★	太田	第3分区
2034～2035		クラーク記念国際高等学校前橋キャンパス	前橋南		桐生西	
2035～2036		群馬県立新田暁高等学校	新田	★	前橋南	
2036～2037		太田市立太田高等学校	太田		沼田	
2037～2038		群馬県立館林高等学校	館林	★		
2038～2039		群馬県立前橋商業高等学校	前橋西			
2039～2040		高崎健康福祉大学高崎高等学校	高崎東	★		
2040～2041		群馬県立大間々高等学校	桐生西			
2041～2042		伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校	伊勢崎南	★		
2042～2043		前橋育英高等学校	前橋			
2043～2044		共愛学園高等学校	前橋東	★		
2044～2045		樹徳高等学校	桐生南			

インターアクト

★は第2560地区（新潟）との共同事業で、隔年に群馬地区での海外（台湾）研修派遣・受入担当を行う年度を表す。

ローターアクト

- *原則として委員長は上記のとおり輪番といたします。
- *3年委員会とし、委員長となる3年度前に委員会の所属となります。
- *休会がある場合は変更となります。
- *他に新たな提唱クラブができればその時点で変更となります。

RYLA

- *原則として担当委員長は上記のとおり輪番といたします。
- *3年委員会とし、担当委員長となる3年度前に担当委員会の所属となります。
- *原則として3年後の担当委員長を、ガバナーエレクト年度の担当分区ガバナー補佐を中心に、ガバナーエレクトスタッフと一緒に探していただきます。

ロータリーとポリオ根絶活動

—End Polio—

I 「ポリオ」という病気

ポリオ(急性灰白髄炎)は非常に感染性の高い病気であり、特に感染しやすいのは5歳未満の子どもです。日本では一般に「小児まひ」と呼ばれることもあります。

ポリオウイルスは人から人へ感染し、最も多いのは汚染水を通じた感染です。神経系を侵すこともあり、これによって身体のマヒを引き起こす可能性があります。治療法はありませんが、安全なワクチンで予防が可能です。ロータリーとそのパートナー団体は、これまで世界中25億人以上の子どもにワクチンを投与する活動を行ってきました。

「ポリオ撲滅に向けた世界的な進展は、人びとの知らないところで黙々と成し遂げられてきました」

II 「ポリオ」に関する事実

1. ポリオに最も感染しやすいのは5歳未満の子ども
2. 治療法はないが、ワクチンで予防が可能
3. 野生型ポリオウイルスの常在国はわずか3カ国
4. 1988年以来、発症数は99.9%減少
5. ポリオを永久になくさない限り、感染リスクは全世界の子どもに



III 「ポリオ」の現状

1988年以来、全世界の症例数は99.9%減少しています。現在も野生型ポリオウイルスが常在する国は、アフガニスタン、パキスタンの2カ国となっています。

〔野生型ポリオウイルスによる発症件数〕

	(アフガニスタン)	(パキスタン)
2023年	06	06
2022年	02	20
2021年	04	01

IV 「ポリオ」撲滅活動のパートナー組織

GPEI 世界ポリオ撲滅推進活動 (Global Polio Eradication Initiative)

GPEIは、国際ロータリーをはじめとするパートナー団体と各国政府による、全世界でポリオを撲滅することを使命とする官民共同のパートナーシップです。

1988年に世界保健総会がポリオ撲滅を決議しGPEIが立ち上げられて以来30年間、懸命な活動により発症数は99.9%減少しました。

撲滅実現に向けたラストスパートを迎えた今、このパートナーシップの重要性はさらに高まっています。

- (1) 世界保健機関(WHO): 戦略担当
- (2) 米国疾病対策センター(CDC): ウイルス対策
- (3) ユニセフ(UNICEF): 予防接種

- (4) ロータリー：アドボカシー活動
ロータリー会員の持つビジネス・専門知識、ボランティアのネットワークを生かして、ポリオ撲滅のための認識向上、募金活動、各国政府への働きかけを行っています。これまでに100万人以上の会員がボランティア活動や募金を支援しました。
そのほかの活動パートナー
GPEIの中核を担う上記の4団体(世界保健機関、米国疾病対策センター、ユニセフ、ロータリー)のほかにも、多くの団体・政府がポリオ撲滅活動を支援しています。
- (5) ビル&メリンダ・ゲイツ財団：リソース担当
GPEIの強力なパートナーとして、民間団体としては最高額の19億ドルを提供しました。ロータリーともパートナーシップを組み、ロータリーが集めたポリオ撲滅への寄付に2倍の額を上乗せする支援も行っています(2018年まで毎年最大3500万ドルが上乗せ対象)。
- (6) 各国政府
(7) 各地の保健従事者
(8) GAVIアライアンス

V 歴 史

- 1894年 米国史の記録に残る初のポリオ大流行(バーモント州)。18人が死亡、132人のまひ症状が報告される。
- 1916年 ニューヨーク市でポリオの大流行が発生し、2,000人以上が死亡。米国全土でも約6,000人が命を落とし、さらに数千人がまひ障害に。
- 1960年 アルバート・セービン博士が開発した経口ポリオワクチンが米国政府から認可される。
- 1979年 フィリピンの600万人以上の子どものためにポリオワクチンを購入・輸送するプロジェクトがロータリークラブにより開始される。
- 1985年 国際ロータリーが、民間による国際的な公共保健イニシアチブとしては史上初かつ最大規模となる「ポリオプラス」を開始。当初の募金目標は1億2000万ドル。
- 1988年 国際ロータリーと世界保健機関(WHO)が「世界ポリオ撲滅推進活動」(GPEI)を立ち上げる。当時の症例数は、125カ国で推定35万件以上。
- 1944年 International Commission for the Certification of Poliomyelitis Eradication (ポリオ撲滅認定のための世界委員会)が、南北アメリカ大陸からポリオが撲滅されたことを発表。
- 1995年 中国とインドで、保健従事者とボランティアによりわずか1週間で1億6500万人の子どもにワクチンが投与される。ポリオのない国のロータリー会員が世界のポリオ撲滅活動を支援するため、ロータリーが「ポリオプラス・パートナー」プログラムを立ち上げる。
- 2000年 5億5000万人(世界人口の10分の1近く)という記録的な数の子どもに経口ポリオワクチンが投与される。オーストラリアから中国にわたる西太平洋地域でのポリオ撲滅が宣言される。
- 2003年 12カ月間のキャンペーンでロータリー財団が1億1900万ドルの募金に成功。ポリオ撲滅へのロータリーからの寄付総額が5億ドルを超える。常在国の数は6カ国となる(アフガニスタン、エジプト、インド、ニジェール、ナイジェリア、パキスタン)。
- 2004年 アフリカでは、23カ国で8,000万人の子どもを対象とした、全国予防接種デーが開催され、アフリカ大陸で最大のポリオ予防接種が組織的に実施されました。

- 2006年 ポリオ常在国数は、4カ国(アフガニスタン、インド、ナイジェリア、パキスタン)に減少。
- 2009年 ポリオ撲滅に対するロータリーからの寄付総額が約8億ドルに。1月、ビル&メリンダ・ゲイツ財団が、ロータリーからポリオ撲滅に2億ドルを寄付することを条件に、ロータリーに3億5500万ドルの補助金を提供することを発表。その結果、世界ポリオ撲滅推進活動に合計5億5500万ドルが寄付される。
- 2011年 ロータリーがポリオ撲滅の新しい啓発キャンペーン「あと少し」を立ち上げ、各界の著名人がこれに参加。参加した著名人には、ビル・ゲイツ、ジャッキー・チェン(俳優)、デズモンド・ツツ(ノーベル平和賞受賞者)、イツァーク・パールマン(バイオリニスト)、アンジェリーク・キジョー(グラミー賞受賞歌手)、ジェーン・グドール(動物行動学者)などが含まれる。ポリオ撲滅へのロータリーの寄付総額が10億ドルを超える。
- 2014年 インドで3年間、野生型ポリオウイルスによる新規症例が確認されなかったため、世界保健機関(WHO)が東南アジア地域のポリオ撲滅を認定。ポリオの症例は1988年以来、99%減少。
その結果常在国数が3カ国に(アフガニスタン、パキスタン、ナイジェリア)。
- 2019年 ナイジェリアでは、野生型ポリオウイルスによる新たな症例が3年間発生していません。
- 2020年 世界保健機関(WHO)は、アフリカ地域に野生型ポリオがないことを証明しています。



(リソース)

※ポリオとは? End Polio

※ポリオ撲滅活動のパートナー組織

※世界ポリオ撲滅推進活動

(上記でアクセス可能です)



歴代国際ロータリー会長・テーマ一覧

年 度	R I 会 長	出 身 地	テ ー マ	国際大会 開 催 地
2000-01	フランク J. デプリン	メ キ シ コ	意識を喚起し—進んで行動を	ア メ リ カ サンアントニオ
2001-02	リチャード D. キング	ア メ リ カ	人類が私たちの仕事	ス ペ イ ン バルセロナ
2002-03	ビチャイ・ラタクル	タ イ	慈愛の種を播きましょう	オーストラリア ブリスベーン
2003-04	ジョナサン B. マジィアベ	ナイジェリア	手を貸そう	日 本 大阪
2004-05	グレン E. エステス・シニア	ア メ リ カ	ロータリーを祝おう	ア メ リ カ シ カ ゴ
2005-06	カール・ヴィルヘルム・ ステンハマー	スウェーデン	超我の奉仕	デンマーク コペンハーゲン スウェーデン マルメ
2006-07	ウィリアム B. ボイド	ニュージーランド	率先しよう	ア メ リ カ ソルトレークシティー
2007-08	ウィルフリッド・J.ウィルキンソン	カ ナ ダ	ロータリーは分かちあいの心	ア メ リ カ ロサンゼルス
2008-09	李東建(ディー・ケー・リー)	韓 国	夢をかたちに	イ ギ リ ス バーミンガム
2009-10	ジョン・ケニー	スコットランド	ロータリーの未来は あなたの手の中に	カ ナ ダ モントリオール
2010-11	レイ・クリンギンスミス	ア メ リ カ	地域を育み、大陸をつなぐ	ア メ リ カ ニューオーリンズ
2011-12	カルヤン・バネルジー	イ ン ド	こころの中を見つめよう 博愛を広げるために	タ イ バンコク
2012-13	田 中 作 次	日 本	奉仕を通じて平和を	ポルトガル リスボン
2013-14	ロン D. バートン	ア メ リ カ	ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を	オーストラリア シドニー
2014-15	ゲイリー C.K. ホァン	台 湾	ロータリーに輝きを	ブラジル サンパウロ
2015-16	K.R. “ラビ”ラビンドラン	スリランカ	世界への プレゼントになろう	韓 国 ソウル
2016-17	ジョン F. ジャーム	ア メ リ カ	人類に奉仕するロータリー	ア メ リ カ アトランタ
2017-18	イアン・HS. ライズリー	オーストラリア	ロータリー：変化をもたらす	カ ナ ダ トロント
2018-19	バリー・ラシン	バ ハ マ	インスピレーションになろう	ド イ ツ ハンブルグ
2019-20	マーク・ダニエル・マローニー	ア メ リ カ	ロータリーは世界をつなぐ	ア メ リ カ ハワイ
2020-21	ホルガー・クナーク	ド イ ツ	ロータリーは機会の扉を開く	台 湾 台北
2021-22	シェカール・メータ	イ ン ド	奉仕しよう みんなの人生を 豊かにするために	ア メ リ カ ヒューストン
2022-23	ジェニファー E. ジョーンズ	カ ナ ダ	イマジン ロータリー	オーストラリア メルボルン
2023-24	ゴードン R. マッキナリー	スコットランド	世界に希望を生み出そう	シンガポール
2024-25	ステファニー A. アーチック	ア メ リ カ	ロータリーのマジック	カ ナ ダ カルガリー
2025-26	マリオ・セザール・マルティンス・ デ・カマルゴ	ブ ラ ジ ル	よいことのために 手を取りあおう	台 湾 台北

歴代ガバナー・ガバナー補佐・地区研修・協議会・地区大会一覧

2000-2001	ガバナー		アシスタントガバナー
関 口 隆(前橋西) 楽しくて有意義なクラブライフを目指して	第1分区	柳 岡 勤(前橋南)	
	第2分区	小須田 寿太郎(群馬境)	
	第3分区	藤 木 行 芳(高崎東)	
	第4分区	北 村 彪(太田)	
	第5分区	塩 野 栄 一(沼田中央)	
地区協議会	2000. 5.28	グランドベルズ前橋	
地区大会	2001. 4.14 ~ 15	群馬県民会館	
2001-2002	ガバナー		アシスタントガバナー
清 章 司(藤岡) 奉仕こそステータス！	第1分区	曾 我 孝 之(前橋)	
	第2分区	樋 口 一 枝(桐生中央)	
	第3分区	一 柳 一 男(藤岡北)	
	第4分区	柳 瀬 浩(館林西)	
	第5分区	池 原 透(中之条)	
地区協議会	2001. 5.28	ホテルメトロポリタン高崎	
地区大会	2001.10.20 ~ 21	藤岡市みかほみらい館	
2002-2003	ガバナー		アシスタントガバナー
矢 野 亨(桐生西) 慈愛の心で行動を	第1分区	福 田 一 良(前橋西)	
	第2分区	加 久 裕 士(伊勢崎中央)	
	第3分区	小 林 弘(高崎シンフォニー)	
	第4分区	須 永 武 兵(新田)	
	第5分区	船 曳 甫(渋川)	
地区協議会	2002. 4.21	桐生市市民文化会館	
地区大会	2002.10.19 ~ 20	桐生市市民文化会館	
2003-2004	ガバナー		アシスタントガバナー
森 田 均(渋川) 思いやりの心で「手を貸そう」	第1分区	神 山 健(前橋東)	
	第2分区	金 井 栄 則(桐生赤城)	
	第3分区	吉 田 宗 夫(高崎南)	
	第4分区	佐 藤 珠 夫(館林東)	
	第5分区	阿 形 登 氏(沼田)	
	第6分区	田 島 正 夫(富岡中央)	
地区協議会	2003. 5.18	渋川市民会館	
地区大会	2003.10.18 ~ 19	渋川市民会館	
2004-2005	ガバナー		アシスタントガバナー
山 崎 學(高崎南) 新たなる100年に向けて……基本に戻ろう！	第1分区	田 村 榮 一(前橋北)	
	第2分区	猪 俣 健(伊勢崎南)	
	第3分区	吉 井 孝 夫(高崎)	
	第4分区	蛭 田 義 徳(太田中央)	
	第5分区	塚 越 裕 子(渋川みどり)	
	第6分区	大 手 雅 晶(碓氷安中)	
地区協議会	2004. 5. 8	グランドパティオ高崎	
地区大会	2004.10.23 ~ 24	群馬音楽センター	
2005-2006	ガバナー		ガバナー補佐
曾 我 隆 一(前橋) 「超越の奉仕」を誓約しましょう！	第1分区	神 山 健(前橋東)	
	第2分区A	森 喜美男(桐生)	
	第2分区B	猪 俣 健(伊勢崎南)	
	第3分区	広 田 誠四郎(高崎東)	
	第4分区A	岩 井 雄二郎(太田南)	
	第4分区B	川 生 宏(館林ミレニアム)	
地区協議会	2005. 4.16	グランドパティオ高崎	
地区大会	2005.10.14 ~ 15	マーキュリーホテル	
2006-2007	ガバナー		ガバナー補佐
津久井 義 孝(太田) 率先しよう	第1分区	竹 内 洋 光(前橋南)	
	第2分区A	大 友 昭 久(桐生南)	
	第2分区B	松 本 好 夫(伊勢崎東)	
	第3分区	金 井 功(高崎セントラル)	
	第4分区A	梶 塚 喜 作(新田)	
	第4分区B	野 辺 昌 弘(館林)	
地区協議会	2006. 4.23	ティアラグリーンパレス	
地区大会	2006.10.13 ~ 14	ティアラグリーンパレス	
第5分区	北 野 浩司郎(沼田中央)		
第6分区	赤 尾 佳 泰(藤岡)		

2007-2008	ガバナー		ガバナー補佐	
横山公一(沼田)		第1分区	井上 英美子(前橋中央)	
		第2分区A	笠原 康利(桐生中央)	
		第2分区B	菊池 榮作(伊勢崎)	
ロータリーは分かちあいの心		第3分区	安藤 震太郎(高崎北)	
		第4分区A	中村 康夫(太田西)	
		第4分区B	野間 政弘(大泉)	
地区協議会	2007.5.12	利根沼田文化会館	第5分区	新井 尚文(中之条)
地区大会	2007.10.13～14	利根沼田文化会館	第6分区	須永 勝(安中)
2008-2009	ガバナー		ガバナー補佐	
松倉紘洋(富岡)		第1分区	山田 美光(前橋)	
		第2分区A	町田 裕一(桐生赤城)	
		第2分区B	小澤 昭次(群馬境)	
世界中の子供達の夢をかたちに		第3分区	佐藤 昭一(高崎シンフォニー)	
		第4分区A	松本 博(太田)	
		第4分区B	新井 武夫(館林西)	
地区協議会	2008.5.10	富岡市生涯学習センター	第5分区	永井 勇(渋川)
地区大会	2008.11.7～8	富岡市かぶら文化ホール	第6分区	一柳 一男(藤岡北)
2009-2010	ガバナー		ガバナー補佐	
牛久保哲男(伊勢崎)		第1分区	千木良 芳明(前橋西)	
		第2分区A	八木橋 祥价(桐生)	
		第2分区B	山崎 泰男(伊勢崎中央)	
ロータリーの未来はあなたの手に		第3分区	田島 五郎(高崎南)	
		第4分区A	石塚 栄(太田中央)	
		第4分区B	石井 信義(館林東)	
地区協議会	2009.5.16	伊勢崎市文化会館	第5分区	阿形 登氏(沼田)
地区大会	2009.10.17～18	伊勢崎市文化会館	第6分区	伊原 喜久雄(富岡中央)
2010-2011	ガバナー		ガバナー補佐	
福田一良(前橋西)		第1分区	相澤 克也(前橋東)	
		第2分区A	川堀 良治(桐生南)	
		第2分区B	是澤 久正(伊勢崎南)	
世の中の役に立とう		第3分区	羽鳥 修司(高崎)	
		第4分区A	清水 親男(太田南)	
		第4分区B	川生 宏(館林ミレニアム)	
地区協議会	2010.5.9	ロイヤルチェスター前橋	第5分区	佐藤 徳三(渋川みどり)
地区大会	2010.10.9～10	ベイシア文化ホール	第6分区	大手 雅晶(碓氷安中)
2011-2012	ガバナー		ガバナー補佐	
安藤震太郎(高崎北)		第1分区	廣山 武雄(前橋北)	
		第2分区A	家住 慧路(桐生西)	
		第2分区B	谷 彰良(伊勢崎東)	
こころの中を見つめよう 博愛を広げるために		第3分区	山本 豊(高崎東)	
		第4分区A	萩原 泉(新田)	
		第4分区B	齊藤 要(館林)	
地区協議会	2011.5.14	高崎経済大学	第5分区	飯島 啓一(草津)
地区大会	2011.10.8～9	群馬音楽センター	第6分区	豊川 一男(藤岡南)
2012-2013	ガバナー		ガバナー補佐	
疋田博之(桐生)		第1分区	永井 豊(前橋南)	
		第2分区A	森下 正教(桐生中央)	
		第2分区B	藤生 政雄(伊勢崎)	
次代を担うこども達に向けて		第3分区	三井田 賢一(高崎セントラル)	
		第4分区A	竹内 正幸(太田)	
		第4分区B	星野 薫(大泉)	
地区協議会	2012.4.22	桐生市市民文化会館	第5分区	浅川 忠良(沼田中央)
地区大会	2012.10.13～14	桐生市市民文化会館	第6分区	野村 義祐(富岡かぶら)
2013-2014	ガバナー		ガバナー補佐	
本田博己(前橋)		第1分区	北爪 國平(前橋中央)	
		第2分区A	星野 榮助(桐生赤城)	
		第2分区B	久保 勲(伊勢崎中央)	
希望を語ろう!		第3分区	浅田 千秋(高崎北)	
		第4分区A	五十嵐 敏明(太田西)	
		第4分区B	大越 正禎(館林西)	
地区協議会	2013.5.12	前橋商工会議所会館	第5分区	町田 久(渋川)
地区大会	2013.10.26～27	ベイシア文化ホール	第6分区	萩野 勝美(富岡)

2014-2015	ガバナー		ガバナー補佐	
竹内正幸(太田)	「異体同心」友情と奉仕の心 築き上げよう「46のロータリー物語」	第1分区	山田邦子(前橋)	
		第2分区A	竹内靖博(桐生)	
		第2分区B	布施光一(群馬境)	
		第3分区	吉本賢二(高崎シンフォニー)	
		第4分区A	荒牧功二(太田中央)	
		第4分区B	佐藤珠夫(館林東)	
地区研修・協議会	2014.4.19	ティアラグリーンパレス	第5分区	松野正一(沼田)
地区大会	2014.8.9~10	太田市新田文化会館エアリスホール	第6分区	岩崎敏夫(藤岡)
2015-2016	ガバナー		ガバナー補佐	
生方彰(沼田中央)	奉仕・真実・喜び	第1分区	平田育夫(前橋西)	
		第2分区A	薊勝・船山克人(桐生南)	
		第2分区B	下田進(伊勢崎南)	
		第3分区	佐藤修(高崎南)	
		第4分区A	山田邦夫(太田南)	
		第4分区B	関口亮二(館林ミレニアム)	
地区研修・協議会	2015.5.17	利根沼田文化会館	第5分区	松野正一(沼田)
地区大会	2015.10.17~18	利根沼田文化会館	第6分区	堀口正孝(安中)
2016-2017	ガバナー		ガバナー補佐	
豊川一男(藤岡南)	点から面へ さらに世界へ 一広げよう〈友情と奉仕の〉和・輪一	第1分区	佐藤信一(前橋東)	
		第2分区A	阿左美博(桐生西)	
		第2分区B	赤堀賢二(伊勢崎東)	
		第3分区	市川豊行(高崎)	
		第4分区A	星野正義(新田)	
		第4分区B	宮内敦夫(館林)	
地区研修・協議会	2016.5.22	藤岡市みかほみらい館	第5分区	岸権三郎(渋川みどり)
地区大会	2017.4.15~16	ベイシア文化ホール	第6分区	大塚慶甫(藤岡北)
2017-2018	ガバナー		ガバナー補佐	
田中久夫(高崎)	ロータリーのある人生を誇りにしよう	第1分区	大島秀夫(前橋北)	
		第2分区A	遠藤二三男(桐生中央)	
		第2分区B	森田高史(伊勢崎)	
		第3分区	永井乙彦(高崎東)	
		第4分区A	中野正美(太田)	
		第4分区B	槻岡行支(大泉)	
地区研修・協議会	2017.5.14	群馬音楽センター	第5分区	山田晃(沼田中央)
地区大会	2017.11.18~19	高崎アリーナ	第6分区	岡田稔(富岡中央)
2018-2019	ガバナー		ガバナー補佐	
宮内敦夫(館林)	クラブを元気に、世界に奉仕を、 みんなで回そうロータリーの輪	第1分区	中島博(前橋南)	
		第2分区A	瀬谷源(桐生赤城)	
		第2分区B	原邦昭(群馬境)	
		第3分区	橋爪良真(高崎セントラル)	
		第4分区A	金谷光明(太田西)	
		第4分区B	土屋孝夫(館林西)	
地区研修・協議会	2018.5.13	東洋大学板倉キャンパス	第5分区	佐藤秀樹(渋川)
地区大会	2018.10.6~7	館林市文化会館	第6分区	静朋人(碓氷安中)
2019-2020	ガバナー		ガバナー補佐	
森田高史(伊勢崎)	「クラブイノベーション」 ~クラブの将来像を明確にし、クラブ改革を実践しよう~	第1分区	石川直美(前橋中央)	
		第2分区A	坪井良廣(桐生)	
		第2分区B	北原康男(伊勢崎中央)	
		第3分区	梅山哲(高崎北)	
		第4分区A	赤石光雄(太田中央)	
		第4分区B	鏑田貴一郎(館林東)	
地区研修・協議会	2019.5.12	伊勢崎市環境文化センター・伊勢崎商工会議所・伊勢崎プリオパレス	第5分区	保坂充勇(沼田)
地区大会	2019.10.26~27	太田市新田文化会館	第6分区	神子田遙(藤岡南)
2020-2021	ガバナー		ガバナー補佐	
山田邦子(前橋)	奉仕の喜び Happiness to Serve より多く奉仕して、より多くの喜びを分かち合しましょう	第1分区	福島英人(前橋)	
		第2分区A	和田洋一(桐生南)	
		第2分区B	福島敬仁(伊勢崎南)	
		第3分区	君島准逸(高崎シンフォニー)	
		第4分区A	小暮正男(太田南)	
		第4分区B	中山勉(館林ミレニアム)	
地区研修・協議会	2020.6	YouTube配信・DVD郵送	第5分区	小見山健次(渋川みどり)
地区大会	2021.4.25	ベイシア文化ホール	第6分区	新井嘉之(富岡かぶら)

2021-2022	ガバナー		ガバナー補佐	
足立 進(前橋東)	奉仕の理念を掲げ、新たな旅に出よう	第1分区	黒岩千春(前橋西)	
		第2分区A	坪井良行(桐生西)	
		第2分区B	栗原成次(伊勢崎東)	
		第3分区	川口修平(高崎南)	
		第4分区A	松本貴之(新田)	
		第4分区B	小暮高史(館林)	
地区研修・協議会	2021.5.23	前橋商工会議所会館	第5分区	堤康喜智(沼田中央)
地区大会	2022.4.24	ベシシア文化ホール	第6分区	村上明男(富岡)
2022-2023	ガバナー		ガバナー補佐	
中野正美(太田)	みんなのロータリー、みんなでロータリー、さあ！奉仕に出かけよう	第1分区	木村清高(前橋東)	
		第2分区A	山崎倫義(桐生赤城)	
		第2分区B	久保木雅彦(伊勢崎)	
		第3分区	関口俊介(高崎)	
		第4分区A	田部井丑松(太田)	
		第4分区B	飯田知義(大泉)	
地区研修・協議会	2022.5.21	ティアラグリーンパレス	第5分区	狩野要一(渋川)
地区大会	2022.10.22～23	太田市民会館	第6分区	小暮満(藤岡)
2023-2024	ガバナー		ガバナー補佐	
保坂充勇(沼田)	自らの心を解放し、明るく学んで、楽しく奉仕	第1分区	富岡政明(前橋北)	
		第2分区A	須永博之(桐生)	
		第2分区B	田島正広(群馬境)	
		第2分区B	久保木雅彦(伊勢崎)	
		第3分区	清水英也(高崎東)	
		第4分区A	金谷光明(太田西)	
地区研修・協議会	2023.5.21	ホテルバラヴィータ	第4分区B	飯田知義(大泉)
地区大会	2023.10.21～22	利根沼田文化会館	第5分区	島正一(渋川みどり)
2024-2025	ガバナー		ガバナー補佐	
森末廣(桐生)	会員一人一人が主役、つながりを広げ、さあ行動しよう	第1分区	田嶋宏樹(前橋南)	
		第2分区A	増田浩三(桐生南)	
		第2分区B	藤田政幸(伊勢崎中央)	
		第3分区	室賀康志(高崎北)	
		第4分区A	武井智明(太田中央)	
		第4分区B	阿部豊子(館林東)	
地区研修・協議会	2024.5.19	美喜仁桐生文化会館	第5分区	春日政志(沼田)
地区大会	2024.10.19～20	桐生グランドホテル・美喜仁桐生文化会館	第6分区	勅使河原正己(富岡中央)

国際ロータリー第2840地区 2025-2026年度

ガバナー事務所管理運営規定及びマニュアル

ガバナー事務所管理運営委員会

1. 当事務所の管理運営責任者は当年度のガバナーとする。
ガバナーは当事務所の運営について、適切な判断のもとで当該年度の事業を代表地区幹事、副幹事及び事務局員とともに実施しなければならない。
(1) ガバナーは、事務局員について1年間の労働契約書を7月1日付にて締結しなければならない。
2. ガバナー事務所管理運営委員会は事務所運営についての諸問題を解決して、効率の良い事務所の運営が実施できるようにガバナーに提言する。また、当委員会のメンバー構成、及び任期は下記の通りとする。
 - (1) メンバー構成
委員長（パストガバナー）1名 委員（前年度代表地区幹事） 1名
副委員長（パストガバナー）1名 委員（次年度代表地区幹事） 1名
委員（代表地区幹事） 1名 委員（次々年度代表地区幹事）1名
委員（地区会計長） 1名
 - (2) 委員長の任期 3年
 - (3) 委員長・副委員長の選任は諮問委員会にて決定する。
3. 事務所就業時間
 - (1) 午前9時30分より午後5時30分とする。但し休憩は12時より1時迄の1時間とする。また、フレックスタイムを採用することもある。
 - (2) 事務所との連絡・問い合わせ等は、基本はメールとする。
但し、重要案件並びに緊急を要するものは電話にて対応し、午前9時30分から午後5時までとする。
 - (3) 事務所を会議所として使用するときは午後4時30分までに終了する。
 - (4) 事務局員が有給休暇を取る時は、事前に地区幹事の許可を取ること。但し、緊急な場合は事後報告をするものとする。
 - (5) 土・日・祝日に出勤する場合には、予め定めた振替休日を取ること。
4. 事業実施での地区幹事、副幹事、各委員長並びに事務局員との役割分担については別紙「2025-2026（竹中）年度 委員会・ガバナー事務局業務分担表（A）」（P.62）を、また事務局員の委員会等の分担については別紙「2025-2026（竹中）年度 業務担当表（B）」（P.123）を参照してください。
5. 事務局員各人が全業務に精進するため、可能な限り業務担当を年度毎に交換し、将来のリスクに備えるものとする。
6. 当事務所の運用システム（特にIT関連システム）、並びに印刷物関係等は当委員会による決定業者に限定する。
7. ガバナー年度終了後、全ての書類はデジタル化して保存し、3年経過後は書類は廃棄処分する。但し、ロータリー財団関係の書類は5年間保管する。
8. 委員長は、年度開始前（5月又は6月）に当該年度に備えて委員会を開催しなければならない。
9. 上記事務所の重要な規定及びシステムの変更等は委員会の決議を経てガバナー諮問委員会の承認を得るものとする。
10. この規定は2017年12月1日より実施される。
(2025年2月22日改定)

2025-2026 年度 委員会・分区担当

地区幹事・会計長・地区副幹事・事務局業務担当表（B）①

委員会・セミナー・会議ほか	地区幹事・会計長・地区副幹事		事務局	
	メイン担当	サブ担当	メイン担当	サブ担当
ガバナー諮問委員会	樋口 哲雄	堤 謙治	佐藤	入山
ガバナー指名委員会	樋口 哲雄	—	入山	佐藤
地区運営連絡会議	樋口 哲雄	堤 謙治	入山	佐藤
地区幹事	樋口 哲雄	宮川 秀彦	佐藤	入山
地区財務委員会	平田 稔	堀口 晋吾	佐藤	入山
ガバナー事務所管理運営委員会	樋口 哲雄	廣神 壮郎	入山	佐藤
地区ラーニング・管理運営委員会	樋口 哲雄	堀込 敏彦	佐藤	入山
地区戦略計画委員会	高野 由博	須永 正儀	佐藤	入山
地区行動計画推進委員会	高野 由博	樋口 哲雄	入山	佐藤
審議会立法案検討委員会	井上 智太	小林 晴彦	入山	佐藤
危機管理委員会	井上 智太	小池 達哉	佐藤	入山
ロータリーの友地区委員会	小池 達哉	小林 晴彦	入山	佐藤
RLI 推進委員会	堀込 敏彦	須永 正儀	入山	佐藤
ロータリー財団委員会	堤 謙治	小林 晴彦	入山	佐藤
ポリオプラス・資金推進委員会	橋谷 晋治	宮川 秀彦	佐藤	入山
資金管理・平和フェロシップ委員会	小林 晴彦	橋谷 晋治	入山	佐藤
地区補助金委員会	橋谷 晋治	小林 晴彦	入山	佐藤
グローバル補助金委員会	近藤 利弘	廣神 壮郎	入山	佐藤
会員組織強化委員会	須永 正儀	久保 満	佐藤	入山
DEI 推進委員会	廣神 壮郎	大畑 亜樹夫	入山	佐藤
公共イメージ・ICT 推進委員会	大畑 亜樹夫	近藤 利弘	入山	佐藤
国際大会推進委員会	高野 由博	橋谷 晋治	佐藤	入山
職業奉仕・国際奉仕・地域社会奉仕委員会	大井田 健一	堀口 晋吾	佐藤	入山
青少年交換委員会	小林 晴彦	小池 達哉	佐藤	入山
インターアクト委員会	久保 満	堀口 晋吾	入山	佐藤
RYLA・学友委員会	堀口 晋吾	久保 満	佐藤	入山
ローターアクト委員会	堤 謙治	久保 満	入山	佐藤
米山記念奨学委員会	大井田 健一	堀口 晋吾	佐藤	入山

2025-2026 年度 委員会・分区担当
地区幹事・会計長・地区副幹事・事務局業務担当表 (B) ②

委員会・セミナー・会議ほか	地区幹事・会計長・地区副幹事		事務局	
	メイン担当	サブ担当	メイン担当	サブ担当
ガバナー補佐会議	樋口 哲雄	堤 謙治	入山	佐藤
ガバナー補佐・委員長会議	樋口 哲雄	堤 謙治	佐藤	入山
地区大会	大井田 健一	串田 洋介	—	—
RI 会長代理歓迎晩餐会	宮川 秀彦	近藤 利弘	—	—
地区リーダーシップセミナー	高野 由博	久保 満	入山	佐藤
地区大会記念ゴルフ	久保 満	—	—	—
地区チーム研修セミナー	樋口 哲雄	高野 由博	佐藤	入山
PETS・SETS	高野 由博	堀込 敏彦	佐藤	入山
クラブ活性化ワークショップ	樋口 哲雄	井上 智太	佐藤	入山
ローターアクト委員会研修会	堤 謙治	久保 満	—	—
新会員セミナー	近藤 利弘	井上 智太	入山	佐藤
現・新地区役員合同連絡会議	須永 正儀	大井田 健一	入山	佐藤
ガバナーエレクト壮行会	串田 洋介	大畑 亜樹夫	佐藤	入山
地区研修・協議会	宮川 秀彦	堀込 敏彦	—	—
ロータリーデー	井上 智太	橋谷 晋治	入山	佐藤
IM 第1分区	堤 謙治	小池 達哉	—	—
第2分区 A	橋谷 晋治	須永 正儀	—	—
第2分区 B	井上 智太	久保 満	—	—
第3分区	串田 洋介	大畑 亜樹夫	—	—
第4分区 A	高野 由博	堀口 晋吾	—	—
第4分区 B	大井田 健一	廣神 壮郎	—	—
第5分区	小林 晴彦	近藤 利弘	—	—
第6分区	宮川 秀彦	堀込 敏彦	—	—
ガバナースタッフ会議	樋口 哲雄	堀込 敏彦	—	—
ガバナー月信	廣神 壮郎	大畑 亜樹夫	佐藤	入山
会員必携	堀口 晋吾	廣神 壮郎	佐藤	入山
研修・会議用パワーポイント作成	串田 洋介	大畑 亜樹夫	—	—
ガバナー公式訪問	宮川 秀彦	堤 謙治	入山	佐藤
デザイン統括	大畑 亜樹夫	小池 達哉	—	—
データ管理共有統括	串田 洋介	大畑 亜樹夫	—	—

クラブ現況報告書記載順序(例)

規格はA4判縦組み左とじ、表紙には「2025-26年度現況報告書・クラブ名」を記入し、RIの公式ロゴを表示してください。

1. 目次
2. 国際ロータリー会長プロフィール※
3. 国際ロータリー会長メッセージ※
4. 地区ガバナープロフィール※
5. ガバナーから国際ロータリー第2840地区会員の皆様へ※
6. ロータリー行動計画※
7. 国際ロータリー第2840地区第4期戦略計画※
8. 地区運営方針※
9. クラブ戦略計画(必ずご記載下さい)
10. クラブ会長の計画及び目標(写真)
11. 歴代会長・幹事・会員数・出席率/歴代国際ロータリー会長・歴代地区ガバナーテーマ
12. クラブ報告
 - (1) クラブ略歴
 - (2) 会員数
 - (3) 会員の種類
 - (4) 会員年齢(最年長者名、最年少者名、平均年齢、年齢構成、通算在籍年数)
 - (5) その他(事務所、例会場、例会日、例会時間、取引銀行)
 - (6) 地区役員、地区委員、クラブ役員、理事、会計監査と委員会編成
 - (7) 委員会名簿(組織表)
 - (8) 会員名簿(アルファベット順に記載、ABC等の見出し文字を付け、難読文字にはルビを住所には郵便番号記載)(可能な限り写真をご掲載下さい)
 - (9) クラブ出席状況(月別)・個人出席状況、100%出席者年数別表
 - (10) 会員の異動(入会、退会)
 - (11) 決算及び予算、特別会計報告(ニコニコボックス、その他)、貸借対照表
なお、公式訪問の日程で決算が間に合わない場合は、後日ガバナー事務所へ
 - (12) クラブの運営状況
 - A. 理事会、役員会
 - B. 総会
 - C. クラブ協議会
 - D. クラブフォーラム
 - E. 家庭集会(情報集会・炉辺会合)
 - F. クラブ間友好グループ
 - (13) 例会と主な奉仕活動
 - (14) 年間行事予定
 - (15) クラブ事業計画(委員会事業計画)
 - (16) 過去の主な奉仕活動
 - A. 各種大会のホスト及びコ・ホスト
 - B. 財団奨学生、GSE、青少年交換、米山奨学生等の派遣受入
 - C. 新クラブ設立のスポンサー
 - D. 地域社会奉仕活動
 - E. その他の奉仕活動
 - F. 顕著な業績
 - (17) ロータリー財団寄付実績(クラブ・個人別)*1
 - (18) 米山記念奨学寄付実績(クラブ・個人別)*2
 - (19) クラブ定款、細則、慶弔・見舞規程など(抜粋や改正箇所のみ記載でも可)
 - (20) 歴代の地区役員、委員名簿
 - (21) 国際ロータリー、地区及び地方公共団体等よりの受賞、被表彰記録(年月日と内容)

※の資料のデータは地区から提供させていただきます

*1、*2の個人別実績はクラブのご判断にお任せします。

クラブ現況指標

分 区	クラブ名	会員数(女性) 2024.7.1	平均 年齢 2024.7.1 歳	平均 年齢 2014.7.1 10年前	クラブ 年会費 2024.7.1 円	出席率 2023.7~2024.6 %	My Rotary 登録率 2025.1.1 %	会員増減 過去10年 2014.7~2024.6			財団寄付 2023.7~2024.6 \$150以上	ホリオプラス 2023.7~2024.6 \$30以上	地区補助金 申請 2023.7~ 2024.6	グローバル 補助金 2014.7~ 2024.6	米山寄付 2023.7~2024.6 16000円 以上	米山世話 クラブ 過去10年 回
								入会	退会	純増減 減は△						
第1 分 区	前橋	118 (12)	61.57	60.10	240,000	78.05	89.08	121	117	4	149.51	29.53	○	○	16,500	7
	前橋西	60 (7)	61.52	64.88	200,000	73.53	58.33	57	49	8	121.15	30.00	○	—	13,761	6
	前橋東	50 (5)	54.00	63.04	210,000	73.15	79.63	62	70	▲8	249.83	33.68	○	○	21,938	6
	前橋北	81 (1)	56.32	56.00	200,000	81.82	67.50	64	51	13	170.33	35.66	○	—	20,578	5
	前橋南	57 (5)	55.12	61.73	200,000	76.18	58.93	45	21	24	145.86	31.90	○	—	17,154	4
	前橋中央	18 (4)	61.50	59.60	194,000	78.99	85.00	17	27	▲10	167.26	28.56	○	—	16,380	7
第2 A	桐生	69 (11)	60.39	60.60	210,000	75.21	64.29	57	51	6	257.14	31.48	○	○	17,114	10
	桐生南	38 (5)	60.79	62.00	200,000	73.23	65.79	32	31	1	98.47	15.92	○	—	18,131	5
	桐生西	50 (11)	64.20	61.50	210,000	87.43	92.00	42	45	▲3	168.31	31.43	○	○	20,588	10
	桐生赤城	39 (6)	59.50	54.50	220,000	84.97	75.00	22	27	▲5	128.43	36.11	○	—	21,790	10
第2 分 区 B	伊勢崎	81 (5)	60.50	59.50	240,000	88.02	100.00	65	57	8	174.86	31.29	○	○	18,298	6
	群馬境	25 (2)	52.00	67.62	200,000	82.78	33.33	29	33	▲4	158.77	31.64	○	—	16,055	7
	伊勢崎中央	90 (8)	59.00	57.00	240,000	80.35	78.02	61	45	16	175.15	31.72	○	—	23,472	7
	伊勢崎南	26 (2)	58.00	53.00	200,000	75.74	100.00	23	18	5	114.43	31.97	○	—	17,840	3
	伊勢崎東	35 (3)	63.36	60.03	200,000	74.92	97.14	23	13	10	73.30	53.04	○	—	15,916	6
第3 分 区	高崎	140 (10)	59.00	60.00	240,000	61.72	53.57	172	96	76	170.13	29.36	○	—	17,110	6
	高崎南	66 (9)	68.00	60.00	240,000	52.66	39.13	56	53	3	104.76	24.48	○	—	14,200	3
	高崎北	77 (1)	59.51	62.07	240,000	63.05	60.26	68	56	12	39.69	44.77	○	○	8,414	7
	高崎東	29 (2)	60.00	66.00	220,000	70.64	79.31	29	32	▲3	181.56	30.26	○	○	48,600	9
	高崎ソフト	46 (9)	67.60	63.00	240,000	78.00	100.00	28	21	7	165.88	30.67	○	○	20,695	5
	高崎セントラル	28 0	66.50	58.40	220,000	75.92	36.36	14	20	▲6	158.80	31.51	○	—	19,466	1
第4 分 区 A	太田	68 (2)	62.50	59.82	210,000	49.63	74.63	74	75	▲1	194.25	34.51	○	○	27,714	10
	太田西	12 (1)	69.00	64.00	200,000	81.95	41.67	3	7	▲4	170.77	27.69	○	—	27,375	3
	太田南	43 (2)	56.81	64.00	170,000	71.06	100.00	44	36	8	148.73	32.00	○	—	16,133	0
	新田	23 (3)	59.70	66.00	200,000	75.46	43.48	37	31	6	4.55	1.82	○	—	10,717	0
	太田中央	44 (4)	62.00	55.50	180,000	50.16	57.78	24	26	▲2	166.67	33.57	○	—	16,636	1
第4 分 区 B	館林	55 (4)	61.00	62.00	220,000	80.53	72.73	47	34	13	165.16	30.59	○	—	20,509	7
	大泉	26 (3)	67.00	60.00	220,000	86.79	26.92	21	24	▲3	150.16	50.43	○	○	69,680	2
	館林東	8 (1)	69.00	67.07	180,000	94.14	37.50	1	2	▲1	293.75	33.75	○	—	32,571	0
	館林ミリアム	28 (2)	61.03	58.11	180,000	85.68	100.00	17	15	2	160.71	32.14	○	—	16,642	2
第5 分 区	渋川	55 (5)	60.00	63.00	200,000	92.00	70.69	64	60	4	165.99	31.99	○	—	19,338	0
	沼田	72 (3)	56.81	56.60	200,000	70.91	98.73	46	36	10	190.81	40.82	○	○	24,713	2
	中之条	20 0	67.45	66.73	220,000	84.94	50.00	17	19	▲2	150.00	30.00	○	—	16,000	0
	沼田中央	49 (4)	62.00	59.90	200,000	74.54	100.00	49	55	▲6	120.22	23.81	○	—	16,425	0
	渋川みどり	42 (5)	59.50	57.30	194,000	65.60	100.00	25	23	2	83.51	12.90	○	—	19,069	8
第6 分 区	富岡	39 (3)	63.00	62.50	180,000	90.11	41.46	32	39	▲7	153.85	26.15	○	—	18,365	9
	藤岡	43 (3)	61.97	60.77	200,000	82.13	78.57	41	43	▲2	161.96	28.84	○	○	16,434	7
	安中	58 (3)	57.72	57.59	200,000	57.86	53.45	55	28	27	159.76	30.95	○	—	19,226	7
	藤岡北	8 (1)	74.00	68.00	160,000	82.64	57.14	6	12	▲6	82.13	17.52	○	—	13,000	1
	富岡中央	42 (3)	64.60	63.60	180,000	83.70	73.17	24	22	2	172.64	32.46	○	○	14,821	6
	碓氷安中	7 0	66.28	59.42	240,000	73.97	42.86	4	14	▲10	94.17	25.68	○	—	15,500	0
	藤岡南	22 0	53.77	60.57	180,000	94.31	68.18	19	16	3	111.31	22.47	○	—	12,608	1
	富岡かぶら	26 (1)	58.50	59.50	170,000	69.14	48.28	19	18	1	68.36	32.75	○	○	16,076	5
合計または平均	2013 (171)	61.44	60.99	205,767	76.36	71.11	1756	1568	188	152.70	31.10	43	14	19,476	201	

青少年 長期受入 過去10年 回	青少年 短期受入 過去10年 回	クラブ 戦略計画 有無	クラブラニング アドバイザー 有無	クラブ研修 委員会 有無	クラブ行動計画 推進リーダー 有無	RI会長賞 受賞歴 過去10年	インターアクト クラブ スポンサー 有無	ローターアクト クラブ スポンサー 有無	クラブ HP 有無	地区役員及び 出向者数 過去10年(除 同一人物)	スポンサークラブ 実績 クラブ名	姉妹クラブ 実績 クラブ名	友好クラブ 実績 クラブ名	クラブ 歴 年	目 標	
															純増数	新会員 入会数
0	0	○	○	○	○	-	○	○	○	31	高崎・前橋西・前橋北・伊勢崎・沼田・流川	-	水戸・新潟	71	2	8
1	0	○	○	○	○	-	○	-	○	12	前橋東・前橋南	-	富山西・オレサ	61	1	1
0	3	○	○	○	○	-	○	-	○	21	前橋中央	東大田RC	雪国魚沼・柏崎	47	2	5
0	2	○	○	○	○	-	-	-	○	12	-	-	新潟北・相馬	44	2	5
0	0	○	○	-	○	-	○	○	○	7	-	-	いわき平中央	40	7	7
0	0	○	○	-	○	-	-	-	○	8	-	台湾譚子	富山みらい・八潮みらい	31	2	2
2	3	○	○	○	○	○	○	○	○	24	前橋・草津温泉・桐生南・桐生西	シンガポール西・モア・ソウカ龍山	-	72	5	8
0	1	○	○	○	○	○	○	-	○	8	桐生西・桐生中央	新泰	村上	59	2	2
0	0	○	○	-	○	○	○	○	○	11	桐生赤城	シンガポール西・マンダラロン・金山朝西面	栃尾	53	5	6
1	0	○	○	○	○	-	-	-	○	13	-	-	上田六文銭・水富・小口リハ	27	1	2
7	0	○	○	○	○	○	-	○	○	24	太田・群馬境・伊勢崎中央・伊勢崎南	サンフランシスコデルモンテ(比)	伊勢原	71	2	7
0	0	○	○	-	○	-	-	-	○	10	-	-	佐渡	54	3	3
2	1	○	○	○	○	-	-	-	-	27	伊勢崎東	-	新渡	50	5	5
0	0	○	○	-	○	-	○	-	○	6	-	-	-	45	2	3
0	0	○	○	○	○	-	-	-	○	7	-	メトロ・サン・パドロ(フィリピン)	-	31	3	3
1	0	○	○	○	○	-	○	-	○	33	高崎南・高崎北・高崎東・富岡・安中	サーフアーズ・ブラダイス・金沢百万石	宇都宮南・本庄	71	2	10
3	0	○	○	-	○	-	○	-	○	8	藤岡・高崎セントラル	バトルクレーク	台北西北・新潟南・能美	63	3	3
2	0	○	○	○	○	-	-	-	○	23	高崎シノエー	-	新潟東・台北首都・チワワ・フレイザー	57	2	3
1	0	○	○	○	○	-	○	-	○	13	-	-	釜石東	45	5	5
0	1	○	○	○	○	-	-	-	○	10	-	-	神戸東灘・Wahawa-wahawa	29	2	3
0	0	○	○	-	○	-	-	-	○	6	-	-	新潟南・台北市華陽	26	2	2
0	0	○	○	○	○	-	○	○	○	24	太田中央・太田南・太田西・大泉	韓国ニュー大田	-	67	5	5
0	0	○	○	○	○	-	-	-	-	4	新田	-	弘前東	52	2	2
1	0	○	○	○	○	-	-	-	○	8	-	ソウル東湖	-	47	2	2
0	0	○	○	-	○	-	○	-	○	4	-	福井南	台湾北斗	42	3	3
0	1	○	○	-	○	-	-	-	○	4	-	-	新潟中央	32	2	3
1	1	○	○	○	○	-	○	-	○	27	館林シニア・館林西・館林東	セブポートセンター	-	67	5	5
0	0	○	○	-	○	-	-	-	-	7	-	マニラ101・マニラレミ・西馬山	-	58	4	4
0	0	○	○	○	○	-	-	-	○	4	-	-	高田東・足利わたらせ	41	1	1
0	0	○	○	○	○	-	-	-	○	5	-	-	-	25	1	1
0	0	○	○	○	○	-	-	-	○	14	中之条・流川みどり	-	-	68	3	3
0	0	○	○	○	○	○	○	○	○	23	沼田中央	-	新発田	66	2	2
0	0	○	○	-	○	-	-	-	○	1	-	-	-	56	1	1
0	0	○	○	○	○	○	-	-	○	18	-	台北南門扶輪社	新潟万代	39	2	2
0	0	○	○	○	○	-	-	-	○	12	-	-	-	31	2	2
1	0	○	○	-	○	-	-	-	○	9	富岡中央	-	岡谷・深谷	62	2	3
0	0	○	○	○	○	○	-	-	○	18	藤岡北・藤岡南	-	羽咋	61	1	2
5	1	○	○	○	○	○	○	-	○	8	碓氷安中	-	新発田中央	60	2	2
1	0	○	○	-	○	-	-	-	○	2	-	韓国・東平澤	-	49	1	1
0	0	○	○	-	○	-	-	-	○	5	富岡かぶら	フィリピン・サニタ・マカティ	-	31	2	2
0	0	○	○	-	○	-	-	-	○	2	-	-	-	27	2	2
0	0	○	○	-	○	○	-	-	-	11	-	-	浦和ダイヤmond	24	2	2
0	0	○	○	-	○	○	-	-	○	5	-	-	-	22	2	2
29	14	43	43	26	43	10	16	8	39	529				48.23	109	145

世界のロータリー

36,508

世界中のロータリークラブの数

8,749

ローターアクトクラブの数

(ローターアクター数：推定115,626人)

14,781

インターアクトクラブの数

(インターアクター数：推定340,455人)

世界中の
ロータリアンの数

1,134,303

RIBI

34,029

ヨーロッパ、
アフリカ、中東

286,977

アジア

408,349

オーストラリア、
ニュージーランド、
太平洋諸島

22,686

米国、カナダ、
カリブ海地域

291,518

中南米

90,744

*ロータリアンとローターアクターを含む、2024年7月1日現在の数

ロータリアンがボランティアに
費やした時間

約年間**4,700**万時間

ロータリアンが財団に
寄付／募金した額

4億1,700万ドル

これまでに授与された
ロータリー平和フェローシップ

1,800件

授与されたグローバル補助金

1,287口 (総額8,200万ドル)



疾病予防と治療

1,620

(4,079万ドル)



水と衛生

191

(1,314万ドル)



地域社会の経済発展

154

(860万ドル)



基本的教育と識字率向上

104

(677万ドル)



母子の健康

102

(624万ドル)



平和構築と紛争予防

57

(262万ドル)



環境

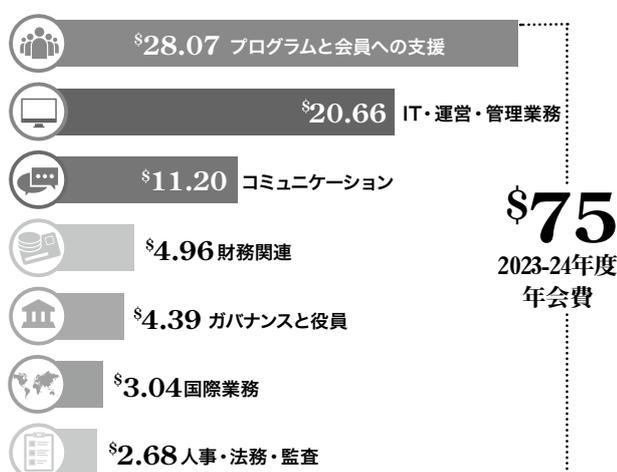
59

(368万ドル)

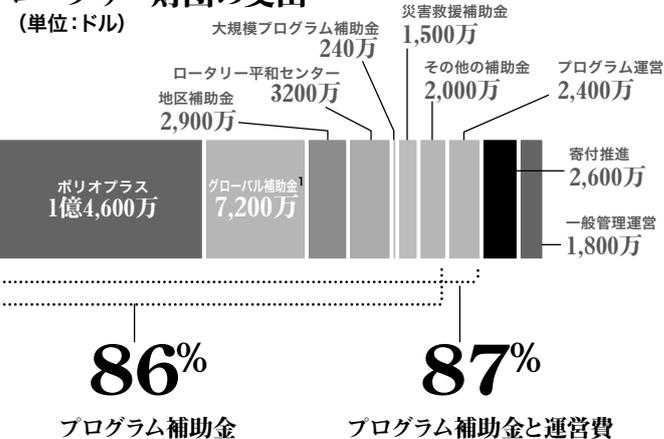
(2024年7月1日現在)

2023-2024年度のRI財務報告

会費はどのように使われるか



ロータリー財団の支出



*返金その他調整後

国際ロータリー 収支報告

2023年会計年度と2024年会計年度 (6月期、単位1000米ドル)

収入	会計年度累計	
	2023年実績	2024年実績
会費	\$ 84,427	\$ 88,303
投資純益	1,248	4,383
支援業務その他の活動	34,930	36,968
収入合計	\$ 120,605	\$ 129,654
支出		
運営費	\$ 87,820	\$ 93,796
支援業務その他の活動	32,706	33,337
戦略的準備金	2,421	1,252
支出合計	\$ 122,947	\$ 128,385
為替差損	\$ 464	\$ (3,025)
純資産の増加	\$ (2,806)	\$ (1,756)
純資産 (期首)	\$ 159,256	\$ 156,450
純資産 (期末)	\$ 156,450	\$ 154,694

ロータリー財団 収支報告

2023年会計年度と2024年会計年度 (6月期、単位1000米ドル)

収入	会計年度累計	
	2023年実績	2024年実績
寄付 ²	\$ 366,503	\$ 351,664
投資純益	58,078	110,356
補助金その他の活動	2,497	5,110
収入合計	\$ 427,078	\$ 467,130
支出		
プログラム補助金	\$ 278,784	\$ 278,705
プログラム運営費	21,919	23,830
寄付推進	25,489	26,612
一般管理運営	17,355	18,076
支出合計	\$ 343,547	\$ 347,223
為替差損	\$ (4,025)	\$ (7,527)
誓約未収入金のための予備費	\$ (1,543)	\$ (1,927)
純資産の増加	\$ 77,963	\$ 110,453
純資産 (期首)	\$ 1,255,570	\$ 1,333,533
純資産 (期末)	\$ 1,333,533	\$ 1,443,986

*1 返金その他調整後

*2 米国会計基準に基づき、ロータリー財団は誓約と他基金（ポリオプラスなど）への繰入を寄付として報告していません。（財団の他のレポートとは異なる場合があります。）

多様性・公平さ・ インクルージョンへの ロータリーのコミットメント



ロータリーで私たちは、持続可能な良い変化を生むために人びとが手を取り合
って行動する世界というビジョンの実現には、多様性があり、公平で、インクルー
シブ (包摂的) な文化を培うことが不可欠であると理解しています。

私たちは多様性を重んじ、すべての背景、年齢、民族、人種、肌の色、障害、学習
スタイル、宗教、信条、社会経済的立場、文化、婚姻状況、使用言語、性別、性
的指向、ジェンダー自認だけでなく、異なるアイデア、考え、価値観、信念を持つ
人びとによる貢献を大切にします。

ロータリーへの入会、参加、リーダーシップの機会といった面で、歴史的に特定
のグループの人びとが障壁に直面していたという点を認識し、すべての人が成功
のためのリソース、機会、ネットワーク、支援への必要なアクセスを得られるよ
う、地域社会でのパートナーシップも含め、ロータリーのあらゆる側面で公平さ
を促進していくことに私たちは全力を注ぎます。

私たちは、すべての人が目に見える、または目に見えない本質的に独自の資質
を備えていると信じています。また、自分が大切にされているとすべての人が感
じ、帰属意識を持てるようなインクルーシブな文化を築くことに尽力します。

高潔性というロータリーの価値観に従い、DEI (多様性、公平さ、インクルージョ
ン) にいたる旅路において組織として自分たちがどこにいるのかを正直かつ透明
性をもって見据えるとともに、これからも学び、向上し続けていくことに全力を
尽くします。

ロータリー関係事務所一覧

国際ロータリー(R.I)世界本部	Rotary International. One Rotary Center 1560 Sherman Ave, Evanston, Illinois 60201-3698 U.S.A http://www.rotary.org/
国際ロータリー日本事務局	〒108-0073 港区三田1-4-28 三田国際ビル24F 業務時間 9:30 ~ 17:30(12:30 ~ 13:30昼休) ※土日祝祭日はお休みとなります。
【クラブ・地区支援室】 定款・細則、クラブ・地区運営 My Rotary アカウント登録	TEL 03-5439-5800 FAX 03-5439-0405 E-mail rijapan@rotary.org
【財団室】 財団への寄付、認証、補助金	TEL 03-5439-5805 FAX 03-5439-0405 E-mail rijpn.trf@rotary.org
【経理室】 人頭分担金・寄付等の入出金管理	TEL 03-5439-5803 FAX 03-5439-0405 E-mail rijpn.finance@rotary.org
【業務推進・IT室】 認証品発送、電子資料案内、 システム関連	TEL 03-5439-5802 FAX 03-5439-0405 E-mail rijpn.pi@rotary.org
公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会	〒105-0011 港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F TEL 03-3434-8681 FAX 03-3578-8281 http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
一般社団法人 ロータリーの友事務所	〒105-0011 港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4F TEL 03-3436-6651 FAX 03-3436-5956 http://www.rotary.or.jp/
ロータリー文庫	〒105-0013 港区浜松町2-7-16 第3小森谷ビル別館6階 TEL 03-3433-6456 FAX 03-3459-7506 E-mail : rotary-bunko@msj.biglobe.ne.jp http://www.rotary-bunko.gr.jp/
ガバナー会	〒105-0011 港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4F TEL 03-3433-6497 FAX 03-3433-7395
ロータリー・リーダーシップ研究会 (RLI) 日本支部	〒105-0011 港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F 国際ロータリー第2750地区事務所内 E-mail : rlijapan.mainoffice@gmail.com https://rli-japan.org/
国際ロータリー第2840地区 ガバナー事務所	〒371-0855 群馬県前橋市問屋町2-2 前橋問屋センター会館1F TEL 027-212-2840 FAX 027-212-2841 E-mail : takenaka@rid2840.jp http://www.rid2840.jp/

2025-2026年度 第2840地区 クラブ事務局 一覧

分区	クラブ名	住 所	T E L	F A X
1	前橋	〒371-0846 前橋市元総社町194 群馬銀行本店内	027-252-0532	027-254-0612
	前橋西	〒371-0855 前橋市問屋町1-10-5 TAGビル3F	027-288-0355	027-288-0047
	前橋東	〒371-0847 前橋市大友町1-2-11 ロイヤルチェスター前橋内	027-252-7907	027-252-7926
	前橋北	〒371-0017 前橋市日吉町1-8-1 前橋商工会議所4階	027-219-2080	027-219-2081
	前橋南	〒371-0017 前橋市日吉町1-8-1 前橋商工会議所4階	027-232-9228	027-289-5584
	前橋中央	〒371-0847 前橋市大友町1-2-11 ロイヤルチェスター前橋内	027-255-2207	027-255-2230
2 A	桐生	〒376-0035 桐生市仲町2-9-36 桐生倶楽部内	0277-45-1513	0277-45-1514
	桐生南	〒376-0013 桐生市広沢町1-2752	0277-52-5088	0277-52-5087
	桐生西	〒376-0013 桐生市広沢町1-2689 日本料理 うおせん内	0277-47-7061	0277-47-7062
	桐生赤城	〒376-0011 桐生市相生町3-560-7	0277-47-8251	0277-47-8252
2 B	伊勢崎	〒372-0014 伊勢崎市昭和町3827 伊勢崎プリオパレス内	0270-24-9966	0270-24-9968
	群馬境	〒370-0124 伊勢崎市境309 群馬銀行境支店2階	0270-74-4099	0270-74-4099
	伊勢崎中央	〒372-0031 伊勢崎市今泉町1-9-7 ニューいづみ内	0270-20-6000	0270-20-6001
	伊勢崎南	〒372-0042 伊勢崎市中央町20-17 アイオー信用金庫本店内	0270-30-5033	0270-21-9000
	伊勢崎東	〒372-0014 伊勢崎市昭和町3827 伊勢崎プリオパレス内	0270-30-3344	0270-30-3345
3	高崎	〒370-0815 高崎市柳川町70 ホテルグランビュー高崎内	027-327-2888	027-327-2887
	高崎南	〒370-0849 高崎市八島町222 ホテルメトロポリタン高崎6階	027-327-7711	027-325-3730
	高崎北	〒370-0815 高崎市柳川町70 ホテルグランビュー高崎内	027-330-6060	027-330-6061
	高崎東	〒370-0841 高崎市栄町22-30 エテルナ高崎内	027-386-4763	027-386-4766
	高崎シンフォニー	〒370-0813 高崎市本町144-1 光明不動産第7テナントビル2-202	027-328-3371	027-328-3372
	高崎セントラル	〒370-0815 高崎市柳川町70 ホテルグランビュー高崎内	027-310-7722	027-310-7733
4 A	太田	〒373-0851 太田市飯田町584 群馬銀行太田支店内	0276-46-5400	0276-46-5401
	太田西	〒373-0842 太田市細谷町1 ティアラグリーンパレス3階	0276-32-5552	0276-32-5552
	太田南	〒373-0851 太田市飯田町753 1階 (株)レゾンデートル内	090-3829-5689	0276-49-5801
	新田	〒370-0341 太田市新田金井町607 新田商工会内	0276-57-4499	0276-57-4459
	太田中央	〒373-0853 太田市浜町3-6 太田商工会議所会館4階	0276-48-8231	0276-48-8232
4 B	館林	〒374-8608 館林市本町1-6-32 館林信用金庫本店内	0276-72-8181	0276-72-8181
	大泉	〒370-0533 邑楽郡大泉町仙石2-26-1 仙石第一ビル2階	0276-63-2169	0276-63-2169
	館林東	〒374-0065 館林市西本町2-50 応声寺内	0276-76-7700	0276-76-7701
	館林ミレニアム	〒374-0029 館林市仲町5-38 NTT館林ビル3階	0276-71-2222	0276-71-2223
5	渋川	〒377-0008 渋川市渋川1695-10 群馬銀行渋川支店内	0279-23-7766	0279-23-7080
	沼田	〒378-0044 沼田市下之町888 テラス沼田7F	0278-24-1177	0278-24-0070
	中之条	〒377-0424 吾妻郡中之条町908-1 群馬銀行中之条支店内	0279-75-4418	0279-75-4418
	沼田中央	〒378-0045 沼田市材木町178-1 ホテルベラヴィータ内	0278-22-2100	—
	渋川みどり	〒377-0027 渋川市金井402-1 ゴルフプラザ渋川内	0279-24-8844	0279-24-9797
6	富岡	〒370-2316 富岡市富岡245-1 ホテルアミューズ富岡内	0274-63-0484	0274-62-5533
	藤岡	〒375-8506 藤岡市藤岡853-1 藤岡商工会議所2階	0274-22-6135	—
	安中	〒379-0133 安中市原市587-1 (株)並木2階	027-382-2000	027-382-6160
	藤岡北	〒370-1301 高崎市新町2270-12 高崎市新町商工会館内	0274-42-0930	0274-42-5413
	富岡中央	〒370-2316 富岡市富岡245-1 ホテルアミューズ富岡内	0274-62-5588	0274-62-5722
	碓氷安中	〒379-0133 安中市原市587-1 (株)並木2階	027-380-1322	027-380-1323
	藤岡南	〒375-8506 藤岡市藤岡853-1 藤岡商工会議所2階	0274-22-6135	—
	富岡かぶら	〒370-2316 富岡市富岡245-1 ホテルアミューズ富岡内	0274-62-3625	0274-62-3697

2025-2026年度 第2840地区 クラブ例会一覧

曜日	例会開始時間	クラブ名	例会場	備考
月曜日	12:10	高崎	ホテルグランビュウ高崎	
		前橋北	前橋商工会議所	
	12:30	桐生	桐生倶楽部	
		伊勢崎東	伊勢崎プリオパレス	
火曜日	12:10	前橋	群馬銀行本店 営業棟3階	月の最終週ロイヤルチェスター前橋
		中之条	群馬銀行中之条支店	月の最終週18:30(別会場)
	12:15	富岡かぶら	ホテルアミューズ富岡	
	12:20	渋川みどり	プレヴェール渋川	
	12:30	桐生赤城	桐生地場産業振興センター	
		伊勢崎南	プラザ・アリア	
		高崎南	ホテルメトロポリタン高崎	
		太田南	太田グランドホテル	
		沼田	ホテルベラヴィータ	
		安中	並木苑	
18:30	藤岡北	高崎市新町商工会館2階		
18:30	高崎セントラル	ホテルグランビュウ高崎		
水曜日	12:10	前橋南	前橋商工会議所	
		前橋中央	ロイヤルチェスター前橋2階	
		伊勢崎	伊勢崎プリオパレス	
		富岡	ホテルアミューズ富岡	
	12:30	桐生南	美喜仁館 桐生店	
		高崎北	ホテルグランビュウ高崎	
		太田西	ティアラグリーンパレス	
		新田	太田市新田商工会館2階	
		大泉	仙石第一ビル2階	
12:30	館林東	つかさ本店	第4週は18:30/第5週は休会	
木曜日	12:10	群馬境	群馬銀行境支店2階	
		伊勢崎中央	ニューいづみ	
		館林ミレニアム	つかさ本店	
		渋川	プレヴェール渋川	
	12:15	富岡中央	ホテルアミューズ富岡	
	12:20	前橋東	ロイヤルチェスター前橋2階	
	12:30	高崎東	エテルナ高崎	
		太田	ロイヤルチェスター太田	
沼田中央		ホテルベラヴィータ		
藤岡		藤岡商工会議所		
12:30	碓氷安中	並木苑		
金曜日	12:00	藤岡南	藤岡商工会議所	
	12:10	前橋西	ホテルサンダーソン	
		館林	ニューミヤコホテル館林	
	12:30	桐生西	日本料理 うおせん	
		高崎シンフォニー	マリエールウィル高崎	
12:30	太田中央	ダニエルハウス		

2025-2026 年度 国際ロータリー第 2840 地区

竹中隆ガバナー事務所

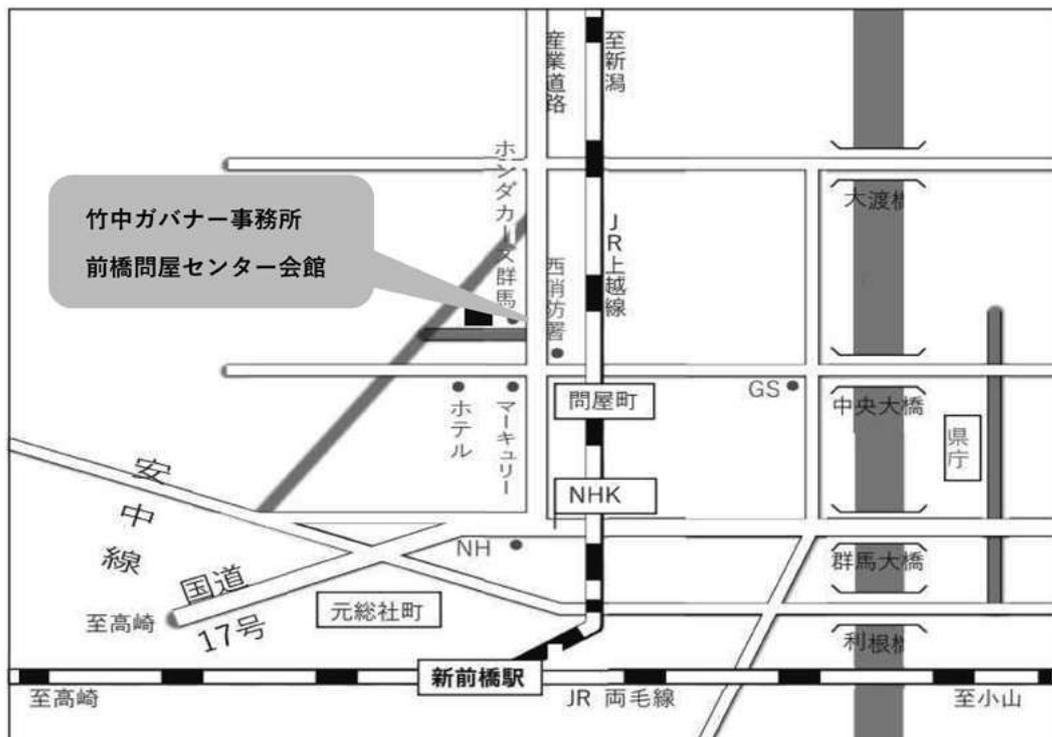
所在地：〒371-0855 群馬県前橋市問屋町 2-2
前橋問屋センター会館 1 階

TEL：027-212-2840 FAX：027-212-2841

E-mail：takenaka@rid2840.jp

開所時間：午前 10 時～午後 5 時（土・日・祝日は休み）

事務局員 入山 こず江
事務局員 佐藤 由紀恵



※お車でのお越しの際は、前橋問屋センター会館西側（しののめ信用金庫ATM 目印）駐車場の「スワン駐車場」の札が設置されていない場所にご駐車下さい。

竹中 隆 ガバナー事務所

〒371-0855 群馬県前橋市問屋町2-2 前橋問屋センター会館1F

TEL: 027-212-2840 FAX: 027-212-2841

E-mail: takenaka@rid2840.jp